

**令和6年度
視覚障害者用図書事業等委託費
（福祉機器開発普及等事業）
事業報告書**

1. 知的障害者の支援機器に係るニーズ情報の収集・提供の在り方に関する検討
2. 福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの運用

令和7年4月

公益財団法人テクノエイド協会

は じ め に

支援機器は、障害者（「児」を含む。）の自立を支援し、活動や参加を促すうえで重要な役割を担う。一方、社会の包摂性の進展は、障害者の生活に新たな多様性を生み出し、支援機器に対する利用者の要求も多様化、複雑化しているため、これら情勢を踏まえながら、支援機器開発及び普及促進に向けて取り組む必要がある。

近年、少子高齢化により人手不足が深刻化するなかで、知的障害者の高齢化や重度化は喫緊の課題となっている。また、障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（令和４年法律第５０号）（以下、「情報コミュニケーション法」。）や改正障害者差別解消法（令和５年４月１日）の施行後、知的障害者に対する情報やコミュニケーションの支援に関する声が挙がっており、これら課題や要望に対して、ロボットやＩＣＴ（情報通信技術）、ＡＩ（人工知能）などの技術が、支援機器の分野で活用することに期待が寄せられている。

そこで本事業では「知的障害」をテーマに、「障害者自立支援機器（以下「支援機器」。）」に係るニーズ情報の収集及び提供の在り方について検討した。

具体的には、知的障害者及び関連団体や施設等、支援者・家族等を対象にヒアリング調査及びアンケート調査を実施し、得られた情報を支援機器開発及び環境整備のための「ニーズ」として整理した。これらニーズは、当協会が運用する「福祉用具ニーズ情報収集・提供システム（※）」を活用して、知的障害者が必要としている支援機器開発及び環境整備等に関する情報収集・提供の方策について検討した。

本事業の成果は、知的障害者が日常生活上で抱えている潜在的な困りごとを支援機器開発及び環境調整のためのニーズとして顕在化することで、障害者が真に必要とする支援機器の開発及び普及促進に資するものである。

本報告書については、検討委員会における意見等を踏まえて、事務局の責において取り纏めたものであり、検討委員をはじめアンケート調査、ヒアリング調査にご協力頂いた方々に深く感謝する次第である。

合わせて、当協会では平成２２年４月から障害のある方等のニーズと福祉用具の開発や研究を行う方のシーズを繋げる「福祉用具ニーズ情報収集・提供システム」を運用しているところであるが、これまでに寄せられた主な意見を整理・分類、体系化したものを本報告書に掲載することとする。

（※）<https://www7.techno-aids.or.jp/>

なお、本事業は、厚生労働省の「令和６年度・視覚障害者用図書事業等委託費（福祉機器開発普及等事業）」から交付を受けて、実施したものである。

令和７年３月

公益財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 知的障害者の支援機器に係るニーズ情報の収集・提供の在り方に関する検討	1
1. 事業概要	1
(1) 事業の目的	1
(2) 事業の内容	1
(3) 検討会メンバー	2
(4) 実施スケジュール	3
(5) 検討会の開催	3
(6) アンケート調査の実施	4
(7) ヒアリング調査の実施	6
2. 事業結果	7
(1) アンケート調査の結果	7
(2) ヒアリング調査の結果	39
(3) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの活用方策について	41
(4) 次年度に向けた検討事項について	42
(5) 本調査研究のまとめ図	42
3. 別添資料	44
(1) 知的障害の概要	44
(2) 単純集計結果	48
(3) クロス集計結果	69
(4) ヒアリング調査結果	98
(5) アンケート調査用紙	101
(6) ヒアリング調査用紙	113
II. 福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの運用	115
1. 事業概要	115
(1) 事業の目的	115
(2) 主な実施内容	117
(3) ニーズの収集状況	117
(4) ニーズの集計・傾向	117
(5) 主な投稿内容について（令和6年度の新規投稿）	120
2. 別添資料	122
(1) 過去5年間における福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの投稿状況	122
(2) 過去5年間における福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの投稿内容	125

I . 知的障害者の支援機器に係るニーズ 情報の収集・提供の在り方に関する検 討

1. 事業概要

(1) 事業の目的

福祉機器ニーズの増大・多様化、科学技術の進歩による高度化に適切に対応し、真に身体障害者等の役に立つ福祉機器の開発普及等を推進するため、福祉機器に関する調査研究及び福祉機器のニーズと技術シーズの適切な情報連携の促進を行うことにより、身体障害者等の福祉の向上に資することを目的とする。

本事業では「知的障害」をテーマに、「障害者自立支援機器（以下「支援機器」。）」に係るニーズ情報の収集及び提供の在り方について検討する。

支援機器は、障害者（「児」を含む。）の自立を支援し、活動や参加を促すうえで重要な役割を担う。一方、社会の包摂性の進展は、障害者の生活に新たな多様性を生み出し、支援機器に対する利用者の要求も多様化、複雑化しているため、これら情勢を踏まえながら、支援機器開発及び普及促進に向けて取り組む必要がある。

近年、少子高齢化により人手不足が深刻化するなかで、知的障害者の高齢化や重度化は喫緊の課題となっている。また、障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律（令和4年法律第50号）（以下、「情報コミュニケーション法」。）や改正障害者差別解消法（令和5年4月1日）の施行後、知的障害者に対する情報やコミュニケーションの支援に関する声が挙がっており、これら課題や要望に対して、ロボットやICT（情報通信技術）、AI（人工知能）などの技術が、支援機器の分野で活用することに期待が寄せられている。

そこで本事業は、知的障害者及び関連団体や施設等、支援者・家族等を対象にヒアリング調査及びアンケート調査を実施し、得られた情報を支援機器開発及び環境整備のための「ニーズ」として整理する。これらニーズは、当協会が運用する「福祉用具ニーズ情報収集・提供システム（※）」を活用して、知的障害者が必要としている支援機器開発及び環境整備等に関する情報収集・提供の方策について提言することとした。

本事業の成果は、知的障害者が日常生活上で抱えている潜在的な困りごとを支援機器開発及び環境調整のためのニーズとして顕在化することで、障害者が真に必要なとする支援機器の開発及び普及促進に寄与する。

(2) 事業の内容

①検討会の設置

本事業を適切かつ円滑に実施するため、知的障害に関する有識者や関係団体、支援者、実務者、開発企業等から構成する検討会を当協会に設置した。

②ヒアリング調査及びアンケート調査の実施

知的障害者・支援者・家族及び施設・事業所等を対象にヒアリング調査やアンケート調査を行い、日常生活の困りごとや新たな開発や環境改善が求められる支援機器に係るニーズについて実態把握を行った。

③知的障害者支援において必要とされる支援機器の在り方に関する検討

上記の調査結果をもとに、知的障害者支援の現場において、真に必要とされる支援機器や環境改善が必要な事項等について、障害の程度から年代や目的別に整理した。

④福祉用具ニーズ情報収集・提供システムによる情報提供等の在り方に関する検討

上記の調査検討を踏まえ、福祉用具ニーズ情報収集・提供システムを活用した、知的障害者の支援機器に係るニーズ情報の継続的な収集・提供の在り方について検討した。

⑤報告書の作成

本事業の実施結果について、報告書に取り纏めた。

(3) 検討会メンバー

知的障害者の支援機器に係るニーズ情報の収集・提供の在り方に関する調査研究 検討委員
(敬称略)

氏 名	所 属
岩崎 好宏	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国身体障害者施設協議会
◎ 荻田 知則	愛媛大学 教育学部 (志エンボディ 合同会社)
金子 訓隆	株式会社マイクロブレイン
西 恵美	一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会
野崎 陽弘	特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会
増澤 高志	ASD (自閉スペクトラム症) 生活環境研究会
宮川 善章	世田谷区 障害福祉部 障害施策推進課
度会 哲賢	公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

◎座長

【オブザーバー】

氏 名	所 属
山根 和史	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室
松崎 貴之	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室
吉元 信治	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室
小畑 和博	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室
森 真理子	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室
和田 淳平	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室

中村 美緒	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室
米谷 あづみ	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室
平山 真子	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 企画課自立支援振興室

(4) 実施スケジュール

実施内容等	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 検討会の設置、開催			○							○
2. ヒアリング調査及びアンケート調査の実施 ①調査先及び調査内容等の検討 ②ヒアリング調査等の実施		■ ①	→			■ ②	→			
3. 知的障害者支援において必要とされる支援機器の在り方に関する検討 ③上記2.の結果を踏まえた情報及び課題の整理 ④知的障害者支援に置いて必要とされる機器・システム等の検討					■ ③、④	→				
4. ニーズ情報収集・提供システムによる情報提供等の在り方に関する検討 ⑤調査結果をもとに必要とされる機器・システム等の情報提供 ⑥ニーズ情報収集・提供を活用して情報提供等の在り方の検討						■ ⑤	→		■ ⑥	→
5. 報告書の作成										→

(5) 検討会の開催

①第1回検討会

日時：令和6年8月19日（月）14：00～15：30

会場：オンライン開催

内容：

【報告事項】

- 本事業の概要について
- 知的障害者の支援にかかわる現状報告
 - ・全国身体障害者施設協議会（社会福祉法人すぎのこ会）
 - ・愛媛大学 教育学部（志エンボディ合同会社）
 - ・マイクロブレイン
 - ・全国手をつなぐ育成会連合会（熊本市連合会）
 - ・令和5年度マッチング地域交流会の結果

【検討事項】

- アンケート調査の実施について
- ヒアリング調査の実施について
- ニーズ情報システムの活用方策について
- 今後のスケジュール

②第2回検討会

日時：令和7年3月7日（金）10：00～12：00

会場：オンライン開催

内容：

【報告事項】

- 本事業の概要について
- 知的障害者の支援にかかわる現状報告
 - ・ ASD（自閉スペクトラム症）生活環境研究会
 - ・ 世田谷区 障害福祉部 障害施策推進課
- 事業報告書（案）について
 - ・ 事業概要
 - ・ アンケート調査の結果
 - ・ ヒアリング調査の報告

【検討事項】

- ニーズ情報収集・提供システムの活用方策について
- 次年度に向けての課題

（6）アンケート調査の実施

①背景・目的

本調査は、知的障害者やその関係者（家族を含む。）を対象にアンケート調査を実施し、得られた情報をもとに支援機器開発及び環境整備のニーズとして整理するとともに、知的障害者が日常生活で抱える潜在的な困難を顕在化し、真に必要とされる支援機器の開発及び普及の促進を図ることを目的とするものである。

法律の整備や技術革新の進歩から、知的障害者に対する情報支援や意思決定支援に関するニーズは高まり、ロボットやICT、AIなどの技術が支援機器の分野でも大いに活用されることを期待しているところである。

本アンケート調査では、知的障害者の置かれている実態を把握するとともに、支援機器の利用状況から現状の課題、求められる環境改善や新たな支援機器の要望等について調査することとした。

②調査対象

知的障害者ご本人（ただし、代理による回答も差し支えない）。

検討委員の所属する機関・団体等を通じて紹介いただいた知的障害者、その他、関係団体等から紹介いただいた知的障害者を対象とした。

③調査方法

協会ホームページに本アンケート調査専用のページを設け、原則 Web による回答とした。（但し、紙による提出も可とした）

また、知的障害者ご本人又はご家族や施設・事務所の職員等の支援を受けながらご本人に回答していただくことを基本とした。ただし、ご本人の回答が困難な場合には、ご本人の立場から代理で回答することも差し支えないこととした。

【アンケート調査 Web ページ画面】

調査対象

知的に障害のあるご本人（ただし、代理による回答も差し支えありません。）

調査方法

知的に障害のあるご本人又は、ご家族や施設・事業所の職員等の支援を受けながらご本人が回答してください。
ただし、ご本人の回答が困難な場合には、ご本人の立場から代理で回答することも差し支えありません。

調査内容

調査内容は、以下に添付しております「知的障害者の支援機器に関するアンケート調査」の通りとなりますが、回答は可能な限り Web から行っていただきますよう、ご協力をお願いします。
ただし、紙による回答も差し支えありません。

[「知的障害者の支援機器に関するアンケート調査」](#)（ワード：517KB）

※こちらのワードのアンケートには、漢字にルビ（ふりがな）をつけています。

漢字にルビが必要な場合には、ワードのアンケートをダウンロードいただき、ご参照ください。

回答方法

「アンケートの回答はこちら」よりご入力をお願いいたします。スマートフォン又はタブレット端末からの回答も可能です。

アンケートの回答はこちら



スマートフォンはこちらから

④調査期間

令和6年9月～10月

⑤調査内容 ※3. 別添資料（2）アンケート用紙 参照

1. 基本情報

- ・年齢、性別、IQ、障害度、障害者手帳の保有と種類、障害名、最終学歴
- ・住まい、同居状況、家族構成
- ・就労の状況

2. 支援機器

- ・使用したことがある、使用している、使わなくなった支援機器とその理由

3. 携帯電話と PC

- ・携帯電話（スマートフォン）の保有、使用シーン、使用機能と頻度
- ・PC の保有、使用シーン、使用機能と頻度

4. 困りごと・不便な場面

- ・日常生活で困る・不便な「場面」と「内容」
- ・就労時で困る・不便な「場面」と「内容」
- ・余暇時で困る・不便な「場面」と「内容」

5. 環境改善や福祉用具への期待

- ・環境改善や支援機器を使って実現したい/出来るようになりたいこと
- ・求める環境改善や支援機器、ロボットや ICT、AI で期待すること、重視する特徴

6. その他

(7) ヒアリング調査の実施

①背景・目的

本ヒアリング調査では、知的障害者の置かれている実態を把握するとともに、支援機器の利用状況から現状の課題、求められる環境改善や新たな支援機器の要望等について調査することとした。

具体的には、知的障害者（児を含む）の置かれている日常生活の課題を把握するとともに、新たな開発や普及が求められる支援機器やシステム、環境改善等について、情報収集することとし、アンケート調査の結果を補完するものとして位置づける。

②調査対象

- ・ 検討委員からのご紹介いただいた知的障害者と関係者より数名
- ・ アンケート調査の結果を踏まえて抽出した知的障害者より数名

③調査方法

基本は対面で実施することとし、対象者の要望に応じてWeb会議システムを利用した。

④調査期間

令和7年1月～2月

⑤調査内容 ※3. 別添資料（3）ヒアリング用紙参照

基本情報はアンケート調査と同様とするも、具体的な内容については、アンケート調査の結果を踏まえて、ご意見や課題が多かった事項を中心に聞き取ることにした。

内容は以下のとおり。

1. 基本情報
2. 日常生活全般にかかること
3. 支援機器等の開発に係るニーズ、期待や思いについて
4. 情報収集、理解、文化芸術・レクリエーション等に関すること
5. お金の管理に関すること
6. 福祉用具・環境改善の開発改良に関すること
7. その他

2. 事業結果

(1) アンケート調査の結果

①アンケート結果

アンケート調査の主な結果を以下に記載する。単純集計の結果は、3. 別添資料の「単純集計結果」を参照のこと。

(表 3-1) アンケートの対象者（障害者本人）

No.	カテゴリー名	n	%
2	いいえ	483	80.6
1	はい	114	19.0
	不明	2	0.3
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者が本人かそうでないかを問う質問では、約 19%が本人の回答であった。

(表 3-2) 対象者と回答者の関係

No.	カテゴリー名	n	%
6	施設職員	304	62.9
1	母親	145	30.0
2	父親	17	3.5
5	学校の教員	7	1.4
3	兄、弟	1	0.2
4	姉、妹	1	0.2
7	その他	5	1.0
	不明	3	0.6
	非該当	116	
	全体	483	100.0

本人以外が回答する場合は、母親（30.0%）もしくは施設職員（62.9%）が多い結果となった。

(表 3-3) 対象者の回答方法

No.	カテゴリー名	n	%
3	支援者（代理人）が回答する	320	53.4
2	障害者本人と支援者で回答する	226	37.7
1	障害者本人が回答する	41	6.8
	不明	12	2.0
	全体	599	100.0

本人が回答するとした場合でも、回答方法は本人と支援者で回答（37.7%）と支援者（代理人）が回答（53.4%）で8割以上となった。

(表 3-4) 対象者の年齢

No.	カテゴリー名	n	%
2	10代	126	21.0
3	20代	108	18.0
5	40代	101	16.9
4	30代	91	15.2
6	50代	83	13.9
7	60代	39	6.5
1	10歳未満	25	4.2
8	70代以上	25	4.2
	不明	1	0.2
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者については、全ての年代で満遍なく回答が得られた。最も多い年代は10代（21.0%）で、次いで20代（18.0%）、40代（16.9%）と続いている。

(表 3-5) 対象者の障害支援区分

No.	カテゴリー名	n	%
6	区分6	168	28.0
5	区分5	90	15.0
4	区分4	80	13.4
3	区分3	41	6.8
2	区分2	27	4.5
1	区分1	9	1.5
7	非該当	37	6.2
8	わからない	140	23.4
	不明	7	1.2
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者については、全ての障害支援区分で満遍なく回答が得られたが、わからない（23.4%）とする回答者もいた。

(表 3-6) 対象者の障害の程度

No.	カテゴリー名	n	%
3	重度	209	34.9
2	中度	120	20.0
1	軽度	113	18.9
4	最重度	112	18.7
5	わからない	33	5.5
	不明	12	2.0
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者については、障害の程度でも満遍なく回答が得られたが、わからない（5.5%）とする回答者もいた。

(表 3-7) 障害者手帳の保有状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	手帳を持っている	560	93.5
2	手帳を持っていない	29	4.8
3	分からない	8	1.3
	不明	2	0.3
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者については、障害者手帳の保有者が9割以上であった。

(表 3-8) 療育手帳の保有状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	重度（A、A1、A2など）	326	58.2
2	その他（B、B1、B2、B3など）	203	36.3
3	わからない	16	2.9
	不明	15	2.7
	非該当	39	
	全体	560	100.0

本アンケートの回答者については、療育手帳の保有者からも満遍なく回答が得られた。

(表 3-9) 身体障害者手帳の保有状況

No.	カテゴリー名	n	%
1	1級	56	10.0
2	2級	15	2.7
3	3級	13	2.3
4	4級	10	1.8
6	6級	7	1.3
5	5級	2	0.4
7	わからない	93	16.6
	不明	364	65.0
	非該当	39	
	全体	560	100.0

本アンケートの回答者については、身体障害者手帳の1級が10.0%と最も多かった。また、わからない（16.6%）とする回答者もいた。不明（65.5%）との回答が6割を超えた。

(表 3-10) 精神障害者保健福祉手帳の保有状況

No.	カテゴリー名	n	%
2	2級	15	2.7
1	1級	8	1.4
3	3級	5	0.9
4	わからない	137	24.5
	不明	395	70.5
	非該当	39	
	全体	560	100.0

本アンケートの回答者については、精神障害者保健福祉手帳の保有者が5%以下であった。わからない（24.5%）と不明（70.5%）で9割を超える結果となった。

（表 3-11）障害名（これまでに判定又は診断されたもの）

No.	カテゴリー名	n	%
1	ASD（自閉スペクトラム症）	225	37.6
2	ADHD（注意欠如多動症）	38	6.3
7	ダウン症	38	6.3
3	LD（学習障害）	13	2.2
4	抑うつ	7	1.2
5	双極性障害（双極症）	4	0.7
6	全般性不安障害（全般不安症）	3	0.5
8	その他	125	20.9
9	わからない	104	17.4
	不明	126	21.0
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者については、ASD（自閉スペクトラム症）の障害が突出して多かった（37.6%）。それ以外の障害は10%以下となっており、その他（20.9%）も多い。また、わからない（17.4%）や不明（21.0%）の回答者も一定存在している。その他の自由記載では、精神遅滞等の回答もみられた。

（表 3-12）対象者の住まい

No.	カテゴリー名	n	%
1	一軒家	230	38.4
5	施設に入所している	170	28.4
3	グループホーム	105	17.5
2	マンション・アパート	86	14.4
4	病院に入院している	2	0.3
6	その他	13	2.2
	不明	2	0.3
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者の住まいは、「一軒家」が最も多く（38.4%）、「施設に入所している」が28.4%、「グループホーム」が17.5%と続いている。

(表 3-13) 対象者の同居人数

No.	カテゴリー名	n	%
3	3 人	128	40.8
4	4 人	93	29.6
2	2 人	35	11.1
5	5 人	30	9.6
6	6 人	13	4.1
1	ご回答者のみ	8	2.5
7	7 人	3	1.0
8	8 人	1	0.3
9	9 人	0	0.0
10	10 人以上	0	0.0
	不明	3	1.0
	非該当	285	
	全体	314	100.0

本アンケートの回答者との同居人数は、「3 人」が最も多く（40.8%）、次いで「4 人」（29.6%）、「2 人」（11.1%）となり、計 7 割以上を占めている。

(表 3-14) 対象者の同居者の状況

No.	カテゴリー名	n	%
4	父、母（親）	309	51.6
9	支援者・施設職員	185	30.9
6	兄弟・姉妹	137	22.9
5	自分のおじいさん、おばあさん	32	5.3
8	友人・知り合い	16	2.7
1	自分ひとりだけで暮らしている	13	2.2
7	その他親せき	7	1.2
2	夫や妻（配偶者）	6	1.0
3	子ども（子どもの妻や夫）	4	0.7
10	その他	139	23.2
	不明	6	1.0
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者との同居者は、「父、母（親）」で 5 割を超えた（51.6%）。「支援者・施設職員」（30.9%）、「兄弟・姉妹」（22.9%）との同居もみられた。

(表 3-15) 対象者の就労状況

No.	カテゴリー名	n	%
2	仕事をしていない	402	67.1
1	仕事をしている	196	32.7
	不明	1	0.2
	全体	599	100.0

本アンケートの回答者の就労状況は、「仕事をしていない」が 6 割を超えた（67.1%）。

(表 3-16) 仕事の内容

No.	カテゴリー名	n	%
3	障害のある方が通う施設で、ものを作ったり作業したりしている	178	90.8
2	パート・アルバイト・日雇いで働いている	11	5.6
1	正社員・正職員として働いている	9	4.6
4	家の仕事の手伝い（自営業）	2	1.0
5	その他	3	1.5
	不明	0	0.0
	非該当	403	
	全体	196	100.0

就労している回答者の就労形態は、「障害のある方が通う施設で、ものを作ったり作業したりしている」が9割を占めた（90.8%）。

(表 3-17) 仕事の種類

No.	カテゴリー名	n	%
5	製造・加工業	77	39.3
3	サービス業	10	5.1
2	販売業	8	4.1
1	事務職	2	1.0
4	運輸業	2	1.0
6	その他	100	51.0
	不明	11	5.6
	非該当	403	
	全体	196	100.0

就労している回答者の仕事の種類に関しては、「製造・加工業」が39.3%であった。また、その他も51.0%であり、様々な仕事に就いていることがわかった。その他の自由記載では、清掃、クリーニング、軽作業などが挙げられた。

(表 3-18) 通勤方法

No.	カテゴリー名	n	%
7	勤務先のバス等で通勤している	79	40.3
4	家族に送迎してもらっている	35	17.9
2	ひとりで歩いて通勤している	34	17.3
1	ひとりで公共交通機関を使用して通勤している	26	13.3
5	ひとりで自転車で通勤している	16	8.2
3	ひとりで車を運転して通勤している	4	2.0
8	家で働いているため通勤はしていない	2	1.0
6	誰かと一緒に公共交通機関を使用して通勤	0	0.0
9	その他	38	19.4
	不明	2	1.0
	非該当	403	
	全体	196	100.0

就労している回答者の通勤方法は、「勤務先のバス等で通勤している」が4割を占めた（40.3%）。次いで「その他」（19.4%）「家族に送迎してもらっている。」（17.9%）「ひと

りで歩いて通勤している」(17.3%)となっている。その他の自由記載を確認したところ、施設の送迎バスが送迎をしてくれる場合もあるという結果であった。

(表 3-19) 使ったことのある支援機器等

No.	カテゴリー名	n	%
8	車いす	113	18.9
21	パーテーション等視覚情報を調整するもの	110	18.4
22	イヤマフなど不快な音を調整するもの	84	14.0
20	視覚支援に関わる用具（スケジュール管理など）	83	13.9
18	火災警報器	73	12.2
7	頭部保護帽	61	10.2
6	歩行器・歩行車	46	7.7
2	装具	40	6.7
17	入浴関連用具	38	6.3
16	排泄関連用具	35	5.8
5	つえ	22	3.7
3	姿勢保持装置	21	3.5
11	特殊寝台（マットを含む）	18	3.0
4	補聴器	15	2.5
10	意思伝達装置（コミュニケーションエイド）	13	2.2
19	自動消火器	11	1.8
15	緊急通報装置	9	1.5
12	床ずれ防止用具	8	1.3
14	移動用リフト	8	1.3
9	電動車いす	5	0.8
13	体位変換器	5	0.8
1	義肢	2	0.3
23	その他	11	1.8
24	使ったことがない	265	44.2
	不明	11	1.8
	全体	599	100.0

使用したことがある支援機器、環境改善の機器は、車いすが最も多く（18.9%）「パーテーション等視覚情報を調整するもの」（18.4%）、「イヤマフなど不快な音を調整するもの」（14.0%）、「視覚支援に関わる用具（スケジュール管理など）」（13.9%）、「火災警報器」（12.2%）などが挙げられた。その他の自由記載では、GPS、膝当て（アンクルサポーター）、UD トーク、プレーリーくん、視覚カード、排泄予測デバイス等が挙げられた。

(表 3-20) 現在も使用している支援機器等

No.	カテゴリー名	n	%
8	車いす	84	26.0
21	パーテーション等視覚情報を調整するもの	80	24.8
20	視覚支援に関わる用具（スケジュール管理など）	77	23.8
18	火災警報器	72	22.3
22	イヤマフなど不快な音を調整するもの	68	21.1
7	頭部保護帽	52	16.1
16	排泄関連用具	34	10.5
6	歩行器・歩行車	32	9.9
2	装具	31	9.6
17	入浴関連用具	30	9.3
3	姿勢保持装置	20	6.2
11	特殊寝台（マットを含む）	15	4.6
4	補聴器	14	4.3
5	つえ	11	3.4
19	自動消火器	11	3.4
15	緊急通報装置	8	2.5
12	床ずれ防止用具	6	1.9
14	移動用リフト	6	1.9
10	意思伝達装置（コミュニケーションエイド）	5	1.5
13	体位変換器	5	1.5
9	電動車いす	4	1.2
1	義肢	0	0.0
23	その他	14	4.3
24	現在は使用していない	31	9.6
	不明	1	0.3
	非該当	276	
	全体	323	100.0

使用したことがある支援機器、環境改善の機器で、現在も使用しているものは、車いすが最も多く（26.0%）「パーテーション等視覚情報を調整するもの」（24.8%）、「視覚支援に関わる用具（スケジュール管理など）」（23.8%）、「火災警報器」（22.3%）、「イヤマフなど不快な音を調整するもの」（21.1%）であり、使用したことがある機器が継続的に使用されていることがわかる。

その他の事由記載では、メドマー、意思疎通用コミュニケーションメモ（おめめどう社製）、まもルール（通勤支援アプリ）、PECS・内窓（パニックや癇癢の防音の為）・OTODASU（カームダウンスペースとして）、ぶつかり防止クッション、音声時計、オリジナル点字小物、呼び出しブザーなどが挙げられた。

(表 3-21) 支援機器等に改良して欲しい点

No.	カテゴリー名	n	%
2	価格が高い	85	29.2
3	使い方や調整などの支援をしてくれる人がおらず、うまく使えないこと	33	11.3
1	使い方が難しい、分かりづらい	19	6.5
4	安全に使えない	11	3.8
5	その他	38	13.1
6	特にない	155	53.3
	不明	1	0.3
	非該当	308	
	全体	291	100.0

使用していた機器の改良して欲しい点は、「特にない」が53.3%で最も高かったが、「価格が高い」が29.2%、「使い方や調整などの支援をしてくれる人がおらず、うまく使えないこと」が11.3%となり、値下げや使用に関するサポートが求められていることがわかった。その他の自由記載では、外出時に使えない、支援者が必要、長時間の装着が難しい（蒸れる、出血、耳だれが出る）等が挙げられた。

(表 3-22) 使わなくなった支援機器等

No.	カテゴリー名	n	%
2	装具	15	5.2
7	頭部保護帽	15	5.2
8	車いす	15	5.2
22	イヤマフなど不快な音を調整するもの	14	4.8
5	つえ	11	3.8
21	パーテーション等視覚情報を調整するもの	10	3.4
1	義肢	9	3.1
6	歩行器・歩行車	9	3.1
20	視覚支援に関わる用具（スケジュール管理など）	7	2.4
11	特殊寝台（マットを含む）	4	1.4
12	床ずれ防止用具	4	1.4
16	排泄関連用具	4	1.4
9	電動車いす	2	0.7
13	体位変換器	2	0.7
17	入浴関連用具	2	0.7
18	火災警報器	2	0.7
4	補聴器	1	0.3
15	緊急通報装置	1	0.3
3	姿勢保持装置	0	0.0
10	意思伝達装置（コミュニケーションエイド）	0	0.0
14	移動用リフト	0	0.0
19	自動消火器	0	0.0
23	その他	3	1.0
24	使わなくなった機器はない	196	67.4
	不明	3	1.0
	非該当	308	
	全体	291	100.0

使用していた機器のうち、使わなくなった機器は、「装具」(5.2%)、「頭部保護帽」(5.2%)、「車いす」(5.2%)が高く、「イヤマフなど不快な音を調整するもの」(4.8%)や「つえ」(3.8%)も高かった。

(表 3-23) 支援機器等を使わなくなった理由

No.	カテゴリー名	n	%
4	あまり効果を感じられなかった	22	23.9
3	使うのがめんどくさかった	9	9.8
2	使うのが難しかった	7	7.6
5	使用時に必要な支援が受けられなかった	7	7.6
6	使用するために必要な周りの理解が得られなかった	4	4.3
1	販売中止になった	1	1.1
7	その他	58	63.0
	不明	1	1.1
	非該当	507	
	全体	92	100.0

使用していた機器を使わなくなった理由は、「あまり効果を感じられなかった」が 23.9%と突出して高かった。また、「使うのがめんどくさかった」(9.8%)や「使うのが難しかった」(7.6%)など、使い勝手が理由で使わなくなったとの回答もあった。その他の理由については、障害の状況が改善されたため不要になったなどが挙げられた。

(表 3-24) 携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）の保有状況

No.	カテゴリー名	n	%
3	携帯電話を持っていない	366	61.1
1	自分専用の携帯電話がある	194	32.4
2	誰かと共有している携帯電話	37	6.2
	不明	2	0.3
	全体	599	100.0

携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）の保有状況については、「携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）を持っていない」が 6 割（61.1%）、「自分専用の携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）がある」が 3 割（32.4%）であった。

(表 3-25) 携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）の利用シーン

No.	カテゴリー名	n	%
3	趣味で使う	165	71.4
2	プライベートで調べ物をするとき	87	37.7
1	仕事で使う	9	3.9
4	その他	75	32.5
	不明	3	1.3
	非該当	368	
	全体	599	100.0

自分専用、もしくは誰かと共有している携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）の使用目的は、「趣味で使う」が最も多く（71.4%）、次いで「プライベートで調べ物をするとき」が 37.7%であった。

その他の自由記載では、家族や施設との連絡手段との回答が多く挙げられた。

(表 3-55) 携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）の利用時に困ること

No.	カテゴリー名	n	%
3	トラブルが起きた時に対応できない	41	50.6
4	無料か有料かを判断しづらい	27	33.3
1	操作方法が難しい、分からない	12	14.8
2	使い方を支援してくれる人がいない	6	7.4
5	その他	12	14.8
6	特にない	19	23.5
	不明	2	2.5
	非該当	518	
	全体	81	100.0

携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）を使用している回答者のうち、使いづらい、不便に思う点は、「トラブルが起きた時に対応できない」が約半数（50.6%）であった。次いで、「無料か有料かを判断しづらい」（33.3%）、「操作方法が難しい、分からない」（14.8%）などの理由が挙げられた。

その他の自由記載では、長時間使い過ぎてしまう。新しいスマートフォンが欲しい時にどうすれば良いかわからないなどの回答が挙げられた。

(表 3-56) パソコンの利用時に不便に思うこと

No.	カテゴリー名	n	%
3	トラブルが起きた時に対応できない	41	50.6
4	無料か有料かを判断しづらい	27	33.3
1	操作方法が難しい、分からない	16	19.8
2	使い方を支援してくれる人がいない	9	11.1
5	その他（具体的に書いてください）	7	8.6
6	特にない	22	27.2
	不明	1	1.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

パソコンを使用している回答者のうち、使いづらい、不便に思う点は、「トラブルが起きた時に対応できない」が約半数（50.6%）であった。次いで、「無料か有料かを判断しづらい」（33.3%）、「操作方法が難しい、分からない」（19.8%）などの理由が挙げられた。

その他の自由記載では、キーボードが使えない、文字が入力できないなどの回答が挙げられた。

(表 3-57) ふだんの生活で、不便だと思うこと

No.	カテゴリー名	n	%
12	人とコミュニケーションを取るとき	298	49.7
9	外出するとき	261	43.6
7	お金の管理をするとき	250	41.7
10	買い物をするとき	240	40.1
8	薬を管理するとき	181	30.2
4	お風呂・シャワーのとき	147	24.5
2	トイレに行くとき	134	22.4
11	家事をするとき	126	21.0
5	洗顔・歯磨きのとき	107	17.9
3	着替えをするとき	99	16.5
1	食事をするとき	98	16.4
6	起きるとき/寝るとき	66	11.0
13	その他	26	4.3
14	特にない	136	22.7
	不明	6	1.0
	全体	599	100.0

普段の生活で不便だと思うことは、「人とコミュニケーションを取るとき」が約半数（49.7%）で挙げられた。また、「外出するとき」（43.6%）、「お金の管理をするとき」（41.7%）、「買い物をするとき」（40.1%）も4割以上が不便を感じている。「お風呂・シャワーのとき」も2割強（24.5%）が不便を感じている。

その他の自由記載では、こだわりの強さに関する回答が複数挙げられた。また、生活全般で課題があるという漠然とした不便さを挙げる回答者もいた。

(表 3-58) 不便だと思う具体的な内容

No.	カテゴリー名	n	%
6	自分の言いたいことが伝わらない	323	53.9
1	お金の支払いが難しい	247	41.2
2	公共交通機関に乗るのが難しい	226	37.7
3	公共施設（役所・公民館・図書館）を使うのが難しい	195	32.6
5	周りの人の理解が少ない	155	25.9
7	トイレのタイミングが伝えられない、わからない	100	16.7
8	介助してくれる人がいない	42	7.0
9	生活費が足りない	35	5.8
4	医療費が多くかかる	33	5.5
10	その他	72	12.0
11	特にない	127	21.2
	不明	15	2.5
	全体	599	100.0

具体的に不便を感じるシーンは、「自分の言いたいことが伝わらない」が最も多く 53.9%であった。次いで「お金の支払いが難しい」が41.2%、「公共交通機関（バス・電車）に乗るのが難しい」が37.7%、「公共施設（役所・公民館・図書館）を使うのが難しい」が32.6%、「周りの人の理解が少ない」が25.9%であった。コミュニケーションやお金に関することで不便を感じていると考えられる。

その他の自由記載では、意志疎通が困難であることに加え、介助が必要なため、自由に行

動したり、一人で外出したりすることができない等の回答があった。

(表 3-59) 仕事で困ること

No.	カテゴリー名	n	%
1	自分に合ったお仕事がわからない	130	21.7
2	自分にとって働きやすいところがわからない	93	15.5
3	仕事をさがすとき	51	8.5
8	工作中	50	8.3
6	就労時の手続きのとき	47	7.8
5	面接をするとき	46	7.7
7	仕事に行くとき/帰るとき	44	7.3
9	仕事を变えたいとき	32	5.3
10	何か困ったときに相談できる場所がない	29	4.8
4	仕事を見つけたとき	22	3.7
11	その他	71	11.9
12	特にない	330	55.1
	不明	18	3.0
	全体	599	100.0

仕事について困ったと思うことは、「自分に合ったお仕事がわからない」(21.7%)、「自分にとって働きやすいところがわからない」(15.5%)、「仕事をさがすとき」(8.5%)などが高く、仕事に就く時点で高いハードルが存在していることがわかる。

(表 3-60) 仕事で困る具体的な内容

No.	カテゴリー名	n	%
4	コミュニケーションを取りづらい	146	24.4
1	書類の内容が分かりづらい	98	16.4
5	作業内容が分かりづらい	78	13.0
3	WEBミーティングの使い方がわからない	61	10.2
6	障害のことを理解した支援を受けることができない	59	9.8
2	相談相手がいらない	36	6.0
7	その他	47	7.8
8	特にない	332	55.4
	不明	25	4.2
	全体	599	100.0

仕事に関する困ったことは、「コミュニケーションを取りづらい」(24.4%)が最も高く、「書類の内容が分かりづらい」が16.4%、「作業内容が分かりづらい」が13.0%と続く。コミュニケーションや仕事の理解の面で困ると感じている状況がうかがえた。その他の自由記載では、意志疎通の面や、気になることがあると集中できない等の特性から困る等の回答も挙げられた。

(表 3-61) おたのしみの時間で困る・不便な「場面」

No.	カテゴリー名	n	%
1	旅行へ行くとき	218	36.4
3	地域の行事や活動に参加するとき	183	30.6
5	映画・コンサート・美術館・カラオケ等にいくとき	149	24.9
2	スポーツをするとき	106	17.7
4	テレビ・ビデオ・ゲーム等をするとき	88	14.7
6	友人などとの日程調整ができない	64	10.7
7	その他	57	9.5
8	特になし	254	42.4
	不明	17	2.8
	全体	599	100.0

おたのしみの時間で困る・不便な場面は、「旅行へ行くとき」が 36.4%で困る・不便な場面があるとの回答であった。また、「地域の行事や活動に参加するとき」(30.6%)や「映画・コンサート・美術館・カラオケ等にいくとき」(24.9%)も高く、外出先などで普段とは違う環境に置かれた場合に困る・不便と感じると考えられる。

その他の自由記載では、1人で外出が難しい、介助が必要、初めての場所(環境)が苦手、周囲とトラブルになる等の回答が挙げられた。

(表 3-62) 余暇時間で困る・不便な「内容」

No.	カテゴリー名	n	%
3	サービス・ルール等の内容が分かりづらい	215	35.9
6	障害のことを理解した支援を受けることができない	155	25.9
5	いろいろな情報を手に入れにくい	151	25.2
4	施設の設備の使い方がわからない	150	25.0
1	お店に入りづらい	130	21.7
2	支援してくれる人がいない	93	15.5
7	その他	45	7.5
8	特になし	235	39.2
	不明	15	2.5
	全体	599	100.0

余暇時の困る・不便な「内容」については、「サービス・ルール等の内容が分かりづらい」が 35.9%と最も高く、「障害のことを理解した支援を受けることができない」(25.9%)、「いろいろな情報を手に入れにくい」(25.2%)、「施設の設備の使い方がわからない」(25.0%)も 4人に1人が困る・不便な内容として挙げられた。

その他の自由記載では、多様な回答が挙げられたが、環境が変化することに対応出来ない等の理由が多く上げられた。

(表 3-63) 求めるサポート内容

No.	カテゴリー名	n	%
1	コミュニケーション	362	60.4
8	お金の管理	323	53.9
2	移動	295	49.2
7	時間の管理	202	33.7
6	スケジュール管理	178	29.7
3	食事	168	28.0
4	入浴支援	166	27.7
5	排泄	146	24.4
9	ICT機器の利用	127	21.2
10	その他	76	12.7
	不明	24	4.0
	全体	599	100.0

求めるサポートに関しては、「コミュニケーション」（60.4%）が6割と高かったが、「お金の管理」（53.9%）、「移動」（49.2%）「時間の管理」（33.7%）、「スケジュール管理」（29.7%）なども高く、困る・不便と感じる場面や内容を解消してくれるサポートが求められていると考えられる。

その他の自由記載では、周囲の理解や相談する相手等を求める意見があった。

(表 3-64) 環境改善や支援機器を使ってやりたいこと/出来るようになりたいこと

No.	カテゴリー名	n	%
4	落ち着いて生活や仕事がしたい	305	50.9
1	他の人といろいろな話をしてみたい	206	34.4
2	スムーズに移動したい	172	28.7
3	お金を管理したい	131	21.9
5	こんな仕事をしてみたい	13	2.2
6	その他	63	10.5
	不明	29	4.8
	全体	599	100.0

環境改善・支援機器でやりたいこと／できるようになりたいことは、「落ち着いて生活や仕事がしたい」が約半数（50.9%）と高かった。また、「他の人といろいろな話をしてみたい」が34.4%、「スムーズに移動したい」が28.7%、「お金を管理したい」が21.9%と、困る・不便な場面の解消を求めていることがわかる。

こんな仕事がしてみたいの内訳はお菓子作り、身体を使った仕事、ゲームに関する仕事、車の清掃などが挙げられた。また、その他の自由記載では、安心したい、穏やかに過ごしたい、介助が必要なことを1人でしたい、余暇活動を増やしたい等の回答が挙げられた。

(表 3-65) ロボットや ICT（情報通信技術）、AI（人工知能）の開発で求めること

No.	カテゴリー名	n	%
1	日常生活が便利になる	460	76.8
3	好きなことにもっと挑戦できる	215	35.9
2	働きやすくなる	106	17.7
4	その他	74	12.4
	不明	25	4.2
	全体	599	100.0

ロボットや ICT（情報通信技術）、AI（人工知能）の開発への期待は「日常生活が便利になる」が 76.8%と高かった。また、「好きなことにもっと挑戦できる」も 35.9%と高く、テクノロジーにより、挑戦しやすくなるとの期待が寄せられている。

その他の自由記載では、コミュニケーションや自分の意思を伝えられるようになることに期待する意見が挙げられた。

(表 3-66) 環境改善や福祉用具で重視する特徴

No.	カテゴリー名	n	%
1	操作が簡単になる	465	77.6
5	こわれにくい	295	49.2
4	安い	263	43.9
2	持ち運びしやすい大きさ	256	42.7
3	カッコいい	100	16.7
6	その他	48	8.0
	不明	27	4.5
	全体	599	100.0

環境改善や福祉用具において、重視する特徴は、「操作が簡単になる」が 77.6%と高く、使い勝手が重視されている結果となった。また、「こわれにくい」が 49.2%や「安い」が 43.9%、「持ち運びしやすい大きさ」も 42.7%といずれも 4 割以上が重視している項目であることがわかった。

その他の自由記載では、安全性等の回答に加え、購入前に機器を試することができるような仕組みを望むような声も寄せられた。

②クロス集計

アンケートの調査結果に対して、アンケートの対象者（障害者本人）における本人回答分、対象者と回答者の関係をグループ化（家族：父親、母親、兄・弟、姉・妹 職員：学校の教員、施設職員）、使ったことがある支援機器の数量（0 個、1 個、2-3 個、4 個以上）についてクロス集計を実施した。全ての結果については、「3. 別添資料（3）クロス集計結果」を参照のこと。

（表 3-68）対象者と回答者の関係

		合計	母親	父親	兄、弟	姉、妹	学校の教員	施設職員	その他	不明	非該当
	全体	483	145	17	1	1	7	304	5	3	116
		100.0	30.0	3.5	0.2	0.2	1.4	62.9	1.0	0.6	
F1 本人か、それ以外か	本人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	114
	それ以外か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F2 家族・職員	家族	164	145	17	1	1	-	-	-	-	-
		100.0	88.4	10.4	0.6	0.6	-	-	-	-	-
	職員	311	-	-	-	-	7	304	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	2.3	97.7	-	-	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	137	44	3	-	-	1	89	-	-	23
		100.0	32.1	2.2	-	-	0.7	65.0	-	-	-
	4個以上	60	17	-	-	-	3	40	-	-	4
		100.0	28.3	-	-	-	5.0	66.7	-	-	-

本人以外の回答者は、施設職員が 62.9%と高く、次いで母親が 30.0%となっている。使用している機器についても同様の割合で利用されていることがわかった。

（表 3-70）対象者の年齢

		合計	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
	全体	599	25	126	108	91	101	83	39	25	1
		100.0	4.2	21.0	18.0	15.2	16.9	13.9	6.5	4.2	0.2
F1 本人か、それ以外か	本人	114	2	31	20	15	19	16	5	5	1
		100.0	1.8	27.2	17.5	13.2	16.7	14.0	4.4	4.4	0.9
F2 家族・職員	家族	164	18	57	44	25	10	4	2	4	-
		100.0	11.0	34.8	26.8	15.2	6.1	2.4	1.2	2.4	-
	職員	311	5	38	43	48	70	62	29	16	-
		100.0	1.6	12.2	13.8	15.4	22.5	19.9	9.3	5.1	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	9	41	34	26	12	16	11	11	-
		100.0	5.6	25.6	21.3	16.3	7.5	10.0	6.9	6.9	-
	4個以上	64	1	12	9	7	16	9	5	5	-
		100.0	1.6	18.8	14.1	10.9	25.0	14.1	7.8	7.8	-

年代別では、10代で 2-3 個の支援機器を利用している回答者が多くみられた（25.6%）が、40代で 4 個以上の支援機器を使用している年代で最も多かった（25.0%）のは 40代であった。

(表 3-71) 対象者の障害支援区分

		合計	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	非該当	わからない	不明
	全体	599	9	27	41	80	90	168	37	140	7
		100.0	1.5	4.5	6.8	13.4	15.0	28.0	6.2	23.4	1.2
F1 本人か、それ以外か	本人	114	5	7	6	16	8	10	13	45	4
		100.0	4.4	6.1	5.3	14.0	7.0	8.8	11.4	39.5	3.5
F2 家族・職員	家族	164	2	11	12	23	14	28	5	67	2
		100.0	1.2	6.7	7.3	14.0	8.5	17.1	3.0	40.9	1.2
	職員	311	1	7	20	40	67	129	19	28	-
		100.0	0.3	2.3	6.4	12.9	21.5	41.5	6.1	9.0	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	1	2	12	17	19	69	16	23	1
		100.0	0.6	1.3	7.5	10.6	11.9	43.1	10.0	14.4	0.6
	4個以上	64	-	1	1	7	9	32	1	13	-
		100.0	-	1.6	1.6	10.9	14.1	50.0	1.6	20.3	-

(表 3-72) 対象者の障害の程度

		合計	軽度	中度	重度	最重度	わからない	不明
	全体	599	113	120	209	112	33	12
		100.0	18.9	20.0	34.9	18.7	5.5	2.0
F1 本人か、それ以外か	本人	114	59	27	15	2	8	3
		100.0	51.8	23.7	13.2	1.8	7.0	2.6
F2 家族・職員	家族	164	21	37	61	37	7	1
		100.0	12.8	22.6	37.2	22.6	4.3	0.6
	職員	311	32	53	129	72	17	8
		100.0	10.3	17.0	41.5	23.2	5.5	2.6
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	22	31	52	52	3	-
		100.0	13.8	19.4	32.5	32.5	1.9	-
	4個以上	64	4	9	28	18	5	-
		100.0	6.3	14.1	43.8	28.1	7.8	-

障害者区分や障害の程度のクロス集計では、「区分 6」や「重度」「最重度」における使ったことがある支援機器数が2-3個もしくは4個以上の割合が全体よりも高い傾向が見られた。

(表 3-74) 療育手帳の保有状況

		合計	重度 (A、A 1、A2 など)	その他 (B、B 1、B2、 B3など)	わからな い	不明	非該当
	全体	560	326	203	16	15	39
		100.0	58.2	36.3	2.9	2.7	
F1 本人か、 それ以外か	本人	104	16	79	7	2	10
		100.0	15.4	76.0	6.7	1.9	
F2 家族・職 員	家族	152	97	50	-	5	12
		100.0	63.8	32.9	-	3.3	
	職員	294	210	69	8	7	17
		100.0	71.4	23.5	2.7	2.4	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-
	2-3個	154	99	50	-	5	6
		100.0	64.3	32.5	-	3.2	
	4個以上	62	44	13	4	1	2
		100.0	71.0	21.0	6.5	1.6	

療育手帳の保有状況に関する集計においても、重度の対象者は、使ったことのある支援機器の数が「2～3 個」または「4 個以上」である割合が、全体と比較して高い傾向が見られました。

(表 3-78) 対象者の住まい

		合計	一軒家	施設に入 所してい る	グループ ホーム	マンショ ン・ア パート	病院に入 院してい る	その他	不明
	全体	599	230	170	105	86	2	13	2
		100.0	38.4	28.4	17.5	14.4	0.3	2.2	0.3
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	40	27	20	23	-	6	-
		100.0	35.1	23.7	17.5	20.2	-	5.3	-
F2 家族・職 員	家族	164	120	2	15	29	-	4	-
		100.0	73.2	1.2	9.1	17.7	-	2.4	-
	職員	311	63	141	69	33	2	3	1
		100.0	20.3	45.3	22.2	10.6	0.6	1.0	0.3
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	62	56	23	15	1	5	1
		100.0	38.8	35.0	14.4	9.4	0.6	3.1	0.6
	4個以上	64	18	33	6	7	1	-	-
		100.0	28.1	51.6	9.4	10.9	1.6	-	-

住まいでは、施設に入所している方の割合に対して、使用したことがある支援機器の数の割合が高く、施設入所者の方が支援機器を利用する機会が多いことが分かる。

(表 3-81) 対象者の就労状況

		合計	仕事を していない	仕事を している	不明
	全体	599	402	196	1
		100.0	67.1	32.7	0.2
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	60	54	-
		100.0	52.6	47.4	-
F2 家族・職 員	家族	164	111	53	-
		100.0	67.7	32.3	-
	職員	311	227	83	1
		100.0	73.0	26.7	0.3
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-
	2-3個	160	123	37	-
		100.0	76.9	23.1	-
	4個以上	64	54	10	-
		100.0	84.4	15.6	-

回答者が就労していない場合は、使用したことがある支援機器の数の割合が高い傾向が出ており、日常生活において支援機器を利用していることがうかがえる。

(表 3-84) 通勤方法

		合計	勤務先の バス等で 通勤して いる	家族に送 迎してもら っている	ひとりで 歩いて通 勤している	ひとりで公 共交通機 関を使用 して通勤 している	ひとりで 自転車 で通勤 している	ひとりで 車を運 転して 通勤 している	家で働い ているた め通勤は していな い	誰かと一 緒に公共 交通機 関を使 用して 通勤 している	その他	不明	非該当
	全体	196	79	35	34	26	16	4	2	-	38	2	403
		100.0	40.3	17.9	17.3	13.3	8.2	2.0	1.0	-	19.4	1.0	
F1 本人か、 それ以外か	本人	54	23	6	12	7	5	1	-	-	7	-	60
		100.0	42.6	11.1	22.2	13.0	9.3	1.9	-	-	13.0	-	
F2 家族・職 員	家族	53	27	9	5	11	5	-	-	-	5	-	111
		100.0	50.9	17.0	9.4	20.8	9.4	-	-	-	9.4	-	
	職員	83	26	18	17	7	5	3	2	-	25	2	228
		100.0	31.3	21.7	20.5	8.4	6.0	3.6	2.4	-	30.1	2.4	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	37	21	9	1	2	3	1	1	-	6	-	123
		100.0	56.8	24.3	2.7	5.4	8.1	2.7	2.7	-	16.2	-	
	4個以上	10	4	2	4	4	-	1	1	-	2	-	54
		100.0	40.0	20.0	40.0	40.0	-	10.0	10.0	-	20.0	-	

「勤務先のバス等で通勤している」「家族に送迎してもらっている」の回答者は、使用したことがある支援機器の数の割合が全体より高く、「ひとりで公共交通機関（バス・電車）を使用して通勤している」「ひとりで歩いて通勤している」の回答者は使用したことがある支援機器の数の割合が全体より低い。自立度の状況が表れていると考えられる。

(表 3-85) 使ったことのある支援機器等

		合計	車いす	パーテー ション等視 覚情報を調 整するもの	イヤマフな ど不快な音 を調整する もの	視覚支援 に関わる 用具	火災警報 器	頭部保護 帽	歩行者・ 歩行車	装具	入浴関連 用具	排泄関連 用具	つえ	姿勢保持 装置	特殊寝台 （マット を含む）	補聴器
	全体	599	113	110	84	83	73	61	46	40	38	35	22	21	18	15
		100.0	18.9	18.4	14.0	13.9	12.2	10.2	7.7	6.7	6.3	5.8	3.7	3.5	3.0	2.5
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	14	9	14	7	7	6	6	4	5	3	5	-	1	3
		100.0	12.3	7.9	12.3	6.1	6.1	5.3	5.3	3.5	4.4	2.6	4.4	-	0.9	2.6
F2 家族・職 員	家族	164	18	45	39	44	7	9	9	20	2	3	2	9	2	4
		100.0	11.0	27.4	23.8	26.8	4.3	5.5	5.5	12.2	1.2	1.8	1.2	5.5	1.2	2.4
	職員	311	81	56	30	32	58	46	31	16	31	29	15	12	15	8
		100.0	26.0	18.0	9.6	10.3	18.6	14.8	10.0	5.1	10.0	9.3	4.8	3.9	4.8	2.6
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	50	68	41	54	37	25	16	14	10	18	7	9	3	5
		100.0	31.3	42.5	25.6	33.8	23.1	15.6	10.0	8.8	6.3	11.3	4.4	5.6	1.9	3.1
	4個以上	64	47	27	24	18	25	30	29	20	27	16	14	11	15	4
		100.0	73.4	42.2	37.5	28.1	39.1	46.9	45.3	31.3	42.2	25.0	21.9	17.2	23.4	6.3

		合計	意思伝達装置 (コミュニケーション エンディ)	自動消火 器	緊急通報 装置	床ずれ防 止用具	移動用リ フト	電動車い す	体位変換 器	義肢	その他	使ったこ とがない	不明
	全体	599	13	11	9	8	8	5	5	2	11	265	11
		100.0	2.2	1.8	1.5	1.3	1.3	0.8	0.8	0.3	1.8	44.2	1.8
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	3	2	-	-	-	1	-	-	2	63	4
		100.0	2.6	1.8	-	-	-	0.9	-	-	1.8	55.3	3.5
F2 家族・職 員	家族	164	8	-	-	-	-	-	1	1	5	73	-
		100.0	4.9	-	-	-	-	-	0.6	0.6	3.0	44.5	-
	職員	311	2	9	9	8	8	4	4	1	4	122	6
		100.0	0.6	2.9	2.9	2.6	2.6	1.3	1.3	0.3	1.3	39.2	1.9
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	7	5	1	2	1	3	2	1	5	-	-
		100.0	4.4	3.1	0.6	1.3	0.6	1.9	1.3	0.6	3.1	-	-
	4個以上	64	6	6	8	6	7	2	3	-	3	-	-
		100.0	9.4	9.4	12.5	9.4	10.9	3.1	4.7	-	4.7	-	-

使ったことがある機器のクロス集計では、全体でみると低い傾向がある「歩行器・歩行車」「頭部保護帽」「特殊寝台」「排泄関連用具」「入浴関連用具」なども、複数4個以上の支援機器を利用している方に利用されていることがわかる。

(表 3-86) 現在も使用している支援機器等

		合計	車いす	パーテ ーション等視 覚情報を調 整するもの	視覚支援 に関わる 用具	火災警報 器	イヤマフな ど不快な音 を調整する もの	頭部保護 帽	排泄関連 用具	歩行器・ 歩行車	装具	入浴関連 用具	姿勢保持 装置	特殊寝台 (マット を含む。)	補聴器	つえ
	全体	323	84	80	77	72	68	52	34	32	31	30	20	15	14	11
		100.0	26.0	24.8	23.8	22.3	21.1	16.1	10.5	9.9	9.6	9.3	6.2	4.6	4.3	3.4
F1 本人か、 それ以外か	本人	47	6	6	6	6	11	3	3	4	4	5	-	1	4	3
		100.0	12.8	12.8	12.8	12.8	23.4	6.4	6.4	8.5	8.5	10.6	-	2.1	8.5	6.4
F2 家族・職 員	家族	91	15	28	41	6	27	7	3	5	15	1	9	1	3	1
		100.0	16.5	30.8	45.1	6.6	29.7	7.7	3.3	5.5	16.5	1.1	9.9	1.1	3.3	1.1
	職員	183	63	46	30	60	29	42	28	23	12	24	11	13	7	7
		100.0	34.4	25.1	16.4	32.8	15.8	23.0	15.3	12.6	6.6	13.1	6.0	7.1	3.8	3.8
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	32	53	49	36	31	20	20	11	6	9	7	4	6	4
		100.0	20.0	33.1	30.6	22.5	19.4	12.5	12.5	6.9	3.8	5.6	4.4	2.5	3.8	2.5
	4個以上	64	39	15	14	24	20	28	12	20	19	20	12	10	3	7
		100.0	60.9	23.4	21.9	37.5	31.3	43.8	18.8	31.3	29.7	31.3	18.8	15.6	4.7	10.9

		合計	自動消火 器	緊急通報 装置	床ずれ防 止用具	移動用リ フト	意思伝達装 置(コミュニ ケーション エンディ)	体位変換 器	電動車い す	義肢	その他	現在使 用してい ない	不明	非該当
	全体	323	11	8	6	6	5	5	4	-	14	31	1	276
		100.0	3.4	2.5	1.9	1.9	1.5	1.5	1.2	-	4.3	9.6	0.3	
F1 本人か、 それ以外か	本人	47	2	1	-	-	-	-	1	-	1	12	-	67
		100.0	4.3	2.1	-	-	-	-	2.1	-	2.1	25.5	-	
F2 家族・職 員	家族	91	-	-	-	-	3	1	-	-	7	11	1	73
		100.0	-	-	-	-	3.3	1.1	-	-	7.7	12.1	1.1	
	職員	183	9	7	6	6	2	4	3	-	6	7	-	128
		100.0	4.9	3.8	3.3	3.3	1.1	2.2	1.6	-	3.3	3.8	-	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	5	2	1	1	4	1	3	-	5	15	-	-
		100.0	3.1	1.3	0.6	0.6	2.5	0.6	1.9	-	3.1	9.4	-	-
	4個以上	64	5	6	5	5	-	4	1	-	6	-	-	-
		100.0	7.8	9.4	7.8	7.8	-	6.3	1.6	-	9.4	-	-	-

現在も使用している支援機器等のクロス集計においても、全体でみると低い傾向がある「頭部保護帽」「歩行器・歩行車」「装具」「入浴関連用具」「姿勢保持装置」なども、複数4個以上の支援機器を利用している方に利用されていることがわかる。

(表 3-87) 支援機器等に改良して欲しい点

		合計	価格が高い	使い方や調整などの支援をしてほしい	使い方が難しい、分かりづらい	安全に使用できない	その他	特になし	不明	非該当
	全体	291	85	33	19	11	38	155	1	308
		100.0	29.2	11.3	6.5	3.8	13.1	53.3	0.3	
F1 本人か、それ以外か	本人	35	13	2	2	1	3	19	-	79
		100.0	37.1	5.7	5.7	2.9	8.6	54.3	-	
F2 家族・職員	家族	79	28	16	4	4	20	29	-	85
		100.0	35.4	20.3	5.1	5.1	25.3	36.7	-	
	職員	176	44	15	13	6	15	106	1	135
		100.0	25.0	8.5	7.4	3.4	8.5	60.2	0.6	
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	145	36	14	8	5	24	80	-	15
		100.0	24.8	9.7	5.5	3.4	16.6	55.2	-	
	4個以上	64	33	11	8	3	9	22	-	-
		100.0	51.6	17.2	12.5	4.7	14.1	34.4	-	

改良して欲しい点について、支援機器を4個以上使っている方は全体に比べて価格が高いと回答する割合が高くなっており、支援機器が増えると金銭面での負担を感じる可以看出。

(表 3-121) 携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）の利用時に困ること

		合計	トラブルが起きた時に対応できない	無料か有料かを判断しづらい	操作方法が難しい、分からない	使い方を支援してくれる人がいない	その他	特になし	不明	非該当
	全体	81	41	27	12	6	12	19	2	518
		100.0	50.6	33.3	14.8	7.4	14.8	23.5	2.5	
F1 本人か、それ以外か	本人	25	7	7	2	-	1	11	1	89
		100.0	28.0	28.0	8.0	-	4.0	44.0	4.0	
F2 家族・職員	家族	43	30	18	6	3	8	7	-	121
		100.0	69.8	41.9	14.0	7.0	18.6	16.3	-	
	職員	11	4	2	4	3	3	-	-	300
		100.0	36.4	18.2	36.4	27.3	27.3	-	-	
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	15	8	4	3	2	1	-	140
		100.0	75.0	40.0	20.0	15.0	10.0	5.0	-	
	4個以上	8	5	3	1	1	5	-	-	56
		100.0	62.5	37.5	12.5	12.5	62.5	-	-	

携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）を使っていて、困ったこととして「トラブルが起きた時に対応できない」「無料か有料かを判断しづらい」と感じるのは、職員よりも家族の割合が高い傾向にある。

(表 3-122) パソコンの利用時に不便に思うこと

		合計	トラブル が起きた 時に対応 できない	無料か有 料かを判 断しづら い	操作方 法が難 しい、分 からない	使い方を 支援して くれる人 がいない	その他	特にない	不明	非該当
	全体	81	41	27	16	9	7	22	1	518
		100.0	50.6	33.3	19.8	11.1	8.6	27.2	1.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	9	5	3	1	4	8	1	89
		100.0	36.0	20.0	12.0	4.0	16.0	32.0	4.0	
F2 家族・職 員	家族	43	27	18	10	7	2	10	-	121
		100.0	62.8	41.9	23.3	16.3	4.7	23.3	-	
	職員	11	5	4	3	1	1	2	-	300
		100.0	45.5	36.4	27.3	9.1	9.1	18.2	-	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	14	7	7	4	-	2	-	140
		100.0	70.0	35.0	35.0	20.0	-	10.0	-	
	4個以上	8	3	3	2	1	2	1	-	56
		100.0	37.5	37.5	25.0	12.5	25.0	12.5	-	

パソコンを使用していて、使いづらかったり不便に思うことでも、「トラブルが起きた時に対応できない」「無料か有料かを判断しづらい」と感じるのは、家族が回答している場合の方が高かった。

(表 3-123) ふだんの生活で、不便だと思うこと

		合計	人とコミュ ニケーション を取りと る	外出する とき	お金の管 理をする とき	買い物を するとき	薬を管理 するとき	お風呂・ シャワー のとき	トイレに いくとき	家事をす るとき	洗顔・歯 磨きのと き	着替えを するとき	食事をす るとき	起きると き/寝ると き	その他	特にない	不明
	全体	599	298	261	250	240	181	147	134	126	107	99	98	66	26	136	6
		100.0	49.7	43.6	41.7	40.1	30.2	24.5	22.4	21.0	17.9	16.5	16.4	11.0	4.3	22.7	1.0
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	32	30	36	30	22	7	8	17	4	3	6	8	1	55	1
		100.0	28.1	26.3	31.6	26.3	19.3	6.1	7.0	14.9	3.5	2.6	5.3	7.0	0.9	48.2	0.9
F2 家族・職 員	家族	164	109	90	105	84	64	49	37	49	42	34	30	20	12	13	2
		100.0	66.5	54.9	64.0	51.2	39.0	29.9	22.6	29.9	25.6	20.7	18.3	12.2	7.3	7.9	1.2
	職員	311	151	137	104	121	91	90	88	58	61	61	62	38	13	67	1
		100.0	48.6	44.1	33.4	38.9	29.3	28.9	28.3	18.6	19.6	19.6	19.9	12.2	4.2	21.5	0.3
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	87	84	66	75	48	49	43	40	32	37	38	21	8	33	-
		100.0	54.4	52.5	41.3	46.9	30.0	30.6	26.9	25.0	20.0	23.1	23.8	13.1	5.0	20.6	-
	4個以上	64	34	35	25	30	21	19	24	9	14	18	20	12	4	8	-
		100.0	53.1	54.7	39.1	46.9	32.8	29.7	37.5	14.1	21.9	28.1	31.3	18.8	6.3	12.5	-

普段の生活において、「お金の管理をするとき」「薬を管理するとき」などで、職員よりも家族が不安を感じていることがわかる。

(表 3-124) 不便だと思う具体的な内容

		合計	自分の言 いたいこ とが伝わ らない	お金の支 払いが難 しい	公共交通機 関（バス・ 電車）に 乗るのが 難しい	公共施設 （役所・公 民館・図 書館）を 使うのが 難しい	周りの人 の理解が 少ない	トイレの タイミング が伝えら れない、わ からない	介助して くれる人 がいない	生活費が 足りない	医療費が 多くかか る	その他	特にない	不明
	全体	599	323	247	226	195	155	100	42	35	33	72	127	15
		100.0	53.9	41.2	37.7	32.6	25.9	16.7	7.0	5.8	5.5	12.0	21.2	2.5
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	29	30	23	17	16	4	5	7	4	12	50	5
		100.0	25.4	26.3	20.2	14.9	14.0	3.5	4.4	6.1	3.5	10.5	43.9	4.4
F2 家族・職 員	家族	164	118	89	82	77	64	29	18	12	6	21	12	4
		100.0	72.0	54.3	50.0	47.0	39.0	17.7	11.0	7.3	3.7	12.8	7.3	2.4
	職員	311	170	123	116	97	73	67	18	16	22	39	64	4
		100.0	54.7	39.5	37.3	31.2	23.5	21.5	5.8	5.1	7.1	12.5	20.6	1.3
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	93	63	60	55	45	38	15	11	9	26	32	1
		100.0	58.1	39.4	37.5	34.4	28.1	23.8	9.4	6.9	5.6	16.3	20.0	0.6
	4個以上	64	39	28	26	19	20	18	8	3	8	8	9	-
		100.0	60.9	43.8	40.6	29.7	31.3	28.1	12.5	4.7	12.5	12.5	14.1	-

具体的な内容では、「お金の支払いが難しい」「公共交通機関（バス・電車）に乗るのが難しい」「公共施設（役所・公民館・図書館）を使うのが難しい」「自分の言いたいことが伝

わからない」などの項目において、家族がより困と感じていることがわかる。

(表 3-126) 仕事で困る具体的な内容

		合計	コミュニケーションを取りづらい	書類の内容が分かりづらい	作業内容が分かりづらい	WEBミーティングの使い方が分からない	障害のことを理解した支援を受けることができない	相談相手がいらない	その他	特にな	不明
	全体	599	146	98	78	61	59	36	47	332	25
		100.0	24.4	16.4	13.0	10.2	9.8	6.0	7.8	55.4	4.2
F1 本人か、それ以外か	本人	114	22	16	8	8	11	9	6	66	8
		100.0	19.3	14.0	7.0	7.0	9.6	7.9	5.3	57.9	7.0
F2 家族・職員	家族	164	62	35	25	20	22	15	21	65	8
		100.0	37.8	21.3	15.2	12.2	13.4	9.1	12.8	39.6	4.9
	職員	311	56	43	43	31	25	12	19	200	6
		100.0	18.0	13.8	13.8	10.0	8.0	3.9	6.1	64.3	1.9
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	49	23	20	16	21	10	12	92	-
		100.0	30.6	14.4	12.5	10.0	13.1	6.3	7.5	57.5	-
	4個以上	64	13	9	7	8	9	3	7	35	1
		100.0	20.3	14.1	10.9	12.5	14.1	4.7	10.9	54.7	1.6

仕事の困った場面として、「コミュニケーションを取りづらい」と家族が強く感じていることがわかる。本人や職員が回答した場合は全体よりも低くなっており、家族からみてコミュニケーションの課題があるように見えているということがわかる。

(表 3-127) おたのしみの時間で困る・不便な「場面」

		合計	旅行へ行くとき	地域の行事や活動に参加するとき	映画・コンサート・美術館・カラオケ等に行くとき	スポーツをするとき	テレビ・ビデオ・ゲーム等をするとき	友人などとの日程調整ができない	その他	特にな	不明
	全体	599	218	183	149	106	88	64	57	254	17
		100.0	36.4	30.6	24.9	17.7	14.7	10.7	9.5	42.4	2.8
F1 本人か、それ以外か	本人	114	20	15	12	8	9	7	10	65	4
		100.0	17.5	13.2	10.5	7.0	7.9	6.1	8.8	57.0	3.5
F2 家族・職員	家族	164	78	67	62	42	27	28	20	46	7
		100.0	47.6	40.9	37.8	25.6	16.5	17.1	12.2	28.0	4.3
	職員	311	118	100	74	55	52	28	26	138	3
		100.0	37.9	32.2	23.8	17.7	16.7	9.0	8.4	44.4	1.0
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	81	65	49	37	27	28	15	51	-
		100.0	50.6	40.6	30.6	23.1	16.9	17.5	9.4	31.9	-
	4個以上	64	33	30	21	17	13	10	7	15	-
		100.0	51.6	46.9	32.8	26.6	20.3	15.6	10.9	23.4	-

おたのしみの時間で困る・不便な「場面」では「旅行へ行くとき」が高く、支援機器を「2-3個」「4個以上」使用したことがある回答者は不便を感じる場面に遭遇しているとみられる。「地域の行事や活動に参加するとき」や「映画・コンサート・美術館・カラオケ等に行くとき」についても同様の傾向がみられた。

(表 3-128) 余暇時で困る・不便な「内容」

		合計	サービス・ ルール等の 内容が分ら ない	障害のこ とを理解し た支援を 受けるこ とがで きない	いろい ろな情 報を手 に入れ にくい	施設 の設 備の 使い 方が わか らない	お店に 入り づら い	支援し てく れる 人 が い ない	その他	特にな い	不明
	全体	599	215	155	151	150	130	93	45	235	15
		100.0	35.9	25.9	25.2	25.0	21.7	15.5	7.5	39.2	2.5
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	24	11	13	11	7	9	5	69	4
		100.0	21.1	9.6	11.4	9.6	6.1	7.9	4.4	60.5	3.5
F2 家族・職 員	家族	164	86	76	61	62	51	42	12	37	5
		100.0	52.4	46.3	37.2	37.8	31.1	25.6	7.3	22.6	3.0
	職員	311	101	67	76	75	68	41	28	126	3
		100.0	32.5	21.5	24.4	24.1	21.9	13.2	9.0	40.5	1.0
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	63	62	47	51	48	36	13	52	1
		100.0	39.4	38.8	29.4	31.9	30.0	22.5	8.1	32.5	0.6
	4個以上	64	23	21	23	18	18	15	10	15	-
		100.0	35.9	32.8	35.9	28.1	28.1	23.4	15.6	23.4	-

余暇時で困る・不便な「内容」は「障害のことを理解した支援を受けることができない」「いろいろな情報を手に入れにくい」の項目において、家族が困る・不便と回答する割合が高く、「2-3 個」「4 個以上」支援機器をしようとしたことがある回答者も高い傾向が見られた。

(表 3-129) 求めるサポート内容

		合計	コミュ ニケー ション	お金の 管理	移動	時間の 管理	スケ ジュー ル管理	食事	入浴支 援	排泄	ICT機器 の利用	その他	不明
	全体	599	362	323	295	202	178	168	166	146	127	76	24
		100.0	60.4	53.9	49.2	33.7	29.7	28.0	27.7	24.4	21.2	12.7	4.0
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	36	56	35	25	14	11	10	8	17	27	6
		100.0	31.6	49.1	30.7	21.9	12.3	9.6	8.8	7.0	14.9	23.7	5.3
F2 家族・職 員	家族	164	120	109	93	71	69	42	41	38	46	22	4
		100.0	73.2	66.5	56.7	43.3	42.1	25.6	25.0	23.2	28.0	13.4	2.4
	職員	311	200	153	162	103	93	113	113	99	63	27	10
		100.0	64.3	49.2	52.1	33.1	29.9	36.3	36.3	31.8	20.3	8.7	3.2
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	102	93	92	63	67	53	55	49	51	18	1
		100.0	63.8	58.1	57.5	39.4	41.9	33.1	34.4	30.6	31.9	11.3	0.6
	4個以上	64	42	27	44	14	13	26	27	28	18	9	-
		100.0	65.6	42.2	68.8	21.9	20.3	40.6	42.2	43.8	28.1	14.1	-

求めるサポートについては「コミュニケーション」や「移動」などが高く、支援機器を複数使用したことがある回答者がより強い傾向がみられた。

(表 3-130) 環境改善や支援機器を使ってやりたいこと/出来るようになりたいこと

		合計	落ち着いて生活や仕事がしたい	他の人といろいろな話をしてみたい	スムーズに移動したい	お金を管理したい	こんな仕事をしてみたい	その他	不明
	全体	599	305	206	172	131	13	63	29
		100.0	50.9	34.4	28.7	21.9	2.2	10.5	4.8
F1 本人か、それ以外か	本人	114	45	34	19	25	4	20	7
		100.0	39.5	29.8	16.7	21.9	3.5	17.5	6.1
F2 家族・職員	家族	164	90	70	64	60	7	18	4
		100.0	54.9	42.7	39.0	36.6	4.3	11.0	2.4
	職員	311	170	99	87	43	1	25	15
		100.0	54.7	31.8	28.0	13.8	0.3	8.0	4.8
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	89	55	56	27	3	20	1
		100.0	55.6	34.4	35.0	16.9	1.9	12.5	0.6
	4個以上	64	35	25	35	14	1	9	-
		100.0	54.7	39.1	54.7	21.9	1.6	14.1	-

環境改善や支援機器を使ってやりたいこと/出来るようになりたいこととして、支援機器を4個以上使用したことがある回答者は、「スムーズに移動したい」と考える傾向が強く見られた。

(表 3-131) ロボットや ICT（情報通信技術）、AI（人工知能）の開発で求めること

		合計	日常生活が便利になる	好きなことにもっと挑戦できる	働きやすくなる	その他	不明
	全体	599	460	215	106	74	25
		100.0	76.8	35.9	17.7	12.4	4.2
F1 本人か、それ以外か	本人	114	69	29	19	20	7
		100.0	60.5	25.4	16.7	17.5	6.1
F2 家族・職員	家族	164	126	73	45	29	6
		100.0	76.8	44.5	27.4	17.7	3.7
	職員	311	258	112	40	23	10
		100.0	83.0	36.0	12.9	7.4	3.2
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	139	68	24	17	-
		100.0	86.9	42.5	15.0	10.6	-
	4個以上	64	55	38	13	5	-
		100.0	85.9	59.4	20.3	7.8	-

支援機器を「2-3 個」「4 個以上」使用したことがある回答者は、ロボットや ICT（情報通信技術）、AI（人工知能）の開発で「好きなことにもっと挑戦できる」と考える傾向が強いと考えられる。支援機器を組み合わせることで、色々なことができることを実感しており、テクノロジーに求める期待も高い可能性がある。

(表 3-132) 環境改善や福祉用具で重視する特徴

		合計	操作が簡単になる	こわれにくい	安い	持ち運びしやすい大きさ	かっこいい	その他	不明
	全体	599	465	295	263	256	100	48	27
		100.0	77.6	49.2	43.9	42.7	16.7	8.0	4.5
F1 本人か、それ以外か	本人	114	71	49	46	42	18	16	8
		100.0	62.3	43.0	40.4	36.8	15.8	14.0	7.0
F2 家族・職員	家族	164	130	100	90	92	30	15	6
		100.0	79.3	61.0	54.9	56.1	18.3	9.1	3.7
	職員	311	258	144	123	119	50	16	10
		100.0	83.0	46.3	39.5	38.3	16.1	5.1	3.2
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1個	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2-3個	160	136	105	90	87	38	10	0
		100.0	85.0	65.6	56.3	54.4	23.8	6.3	0.0
	4個以上	64	60	43	32	37	16	6	0
		100.0	93.8	67.2	50.0	57.8	25.0	9.4	0.0

環境改善や福祉用具において、重視する特徴として、「操作が簡単になる」「持ち運びしやすい大きさ」「安い」などが高く、支援機器を複数使用したことがある回答者がより重視している傾向がみられた。また、「操作が簡単になる」は職員が、「こわれにくい」は家族が重視していることがわかる。

以降は、使ったことのある支援機器等と障害支援区分、障害の程度、療育手帳の保有状況、身体障害者手帳の保有状況、住まい、同居者の状況とのクロス集計結果を記載する。

(表 3-133) 使ったことのある支援機器等×対象者の障害支援区分

	合計	車いす	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤホンなど不快な音を調整するもの	視覚支援に関わる用具	火災警報器	頭部保護帽	歩行器・歩行車	装具	入浴関連用具	排泄関連用具	つえ	姿勢保持装置	特殊寝台(マットを含む)	補聴器
	全体	599	113	110	84	83	73	61	46	40	38	35	22	21	18
		100.0	18.9	18.4	14.0	13.9	12.2	10.2	7.7	6.7	6.3	5.8	3.7	3.5	3.0
Q1-2-1 障害支援区分	区分 1	9	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	11.1	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-
	区分 2	27	-	2	5	4	2	-	-	1	-	-	1	-	-
		100.0	-	7.4	18.5	14.8	7.4	-	-	3.7	-	-	3.7	-	-
	区分 3	41	5	4	4	4	4	1	2	2	-	1	3	-	2
		100.0	12.2	9.8	9.8	9.8	9.8	2.4	4.9	4.9	-	2.4	7.3	-	4.9
	区分 4	80	10	16	13	6	7	7	8	3	3	2	6	-	1
		100.0	12.5	20.0	16.3	7.5	8.8	8.8	10.0	3.8	3.8	2.5	7.5	-	1.3
	区分 5	90	17	16	11	12	13	10	9	1	7	2	2	1	2
		100.0	18.9	17.8	12.2	13.3	14.4	11.1	10.0	1.1	7.8	2.2	2.2	1.1	2.2
	区分 6	168	60	46	24	27	30	34	16	21	27	16	7	11	11
		100.0	35.7	27.4	14.3	16.1	17.9	20.2	9.5	12.5	16.1	9.5	4.2	6.5	6.5
	非該当	37	2	6	6	4	14	2	1	-	-	10	-	1	-
		100.0	5.4	16.2	16.2	10.8	37.8	5.4	2.7	-	-	27.0	-	2.7	-
	わからない	140	19	19	20	24	3	6	10	12	1	4	3	8	2
		100.0	13.6	13.6	14.3	17.1	2.1	4.3	7.1	8.6	0.7	2.9	2.1	5.7	1.4

	合計	意思伝達装置(コミュニケーションエイド)	自動消火器	緊急通報装置	床ずれ防止用具	移動用リフト	電動車いす	体位変換器	義肢	その他	使ったことがない	不明
	全体	599	13	11	9	8	8	5	5	2	11	265
		100.0	2.2	1.8	1.5	1.3	1.3	0.8	0.8	0.3	1.8	44.2
Q1-2-1 障害支援区分	区分 1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77.8
	区分 2	27	1	-	-	-	-	-	-	-	1	17
		100.0	3.7	-	-	-	-	-	-	-	3.7	63.0
	区分 3	41	-	-	-	-	-	-	-	1	-	24
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	58.5
	区分 4	80	2	2	1	-	1	-	-	-	1	41
		100.0	2.5	2.5	1.3	-	1.3	-	-	-	1.3	51.3
	区分 5	90	1	-	1	-	1	-	1	-	1	45
		100.0	1.1	-	1.1	-	1.1	-	1.1	-	1.1	50.0
	区分 6	168	4	7	5	7	6	4	2	-	5	40
		100.0	2.4	4.2	3.0	4.2	3.6	2.4	1.2	-	3.0	23.8
	非該当	37	1	1	1	-	-	-	-	-	-	16
		100.0	2.7	2.7	2.7	-	-	-	-	-	-	43.2
	わからない	140	4	1	1	1	-	1	2	1	2	72
		100.0	2.9	0.7	0.7	0.7	-	0.7	1.4	0.7	1.4	51.4

(表 3-134) 使ったことがある支援機器等×対象者の障害の程度

		合計	車いす	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤマフなど不快な音を調整するもの	視覚支援に関わる用具	火災警報器	頭部保護帽	歩行器・歩行車	装具	入浴関連用具	排泄関連用具	つえ	姿勢保持装置	特殊寝台（マットを含む）	補聴器
Q1-2-2 障害の程度	全体	599 100.0	113 18.9	110 18.4	84 14.0	83 13.9	73 12.2	61 10.2	46 7.7	40 6.7	38 6.3	35 5.8	22 3.7	21 3.5	18 3.0	15 2.5
	軽度	113 100.0	8 7.1	9 8.0	18 15.9	10 8.8	16 14.2	4 3.5	6 5.3	2 1.8	2 1.8	8 7.1	2 1.8	-	2 1.8	4 3.5
	中度	120 100.0	18 15.0	19 15.8	17 14.2	13 10.8	9 7.5	4 3.3	11 9.2	4 3.3	5 4.2	5 4.2	10 8.3	1 0.8	1 0.8	3 2.5
	重度	209 100.0	44 21.1	47 22.5	28 13.4	35 16.7	28 13.4	29 13.9	14 6.7	15 7.2	13 6.2	11 5.3	5 2.4	5 2.4	6 2.9	6 2.9
	最重度	112 100.0	35 31.3	32 28.6	16 14.3	23 20.5	18 16.1	21 18.8	10 8.9	16 14.3	17 15.2	10 8.9	3 2.7	3 2.7	8 7.1	1 0.9
	わからない	33 100.0	8 24.2	3 9.1	4 12.1	2 6.1	2 6.1	3 9.1	5 15.2	3 9.1	3 3.0	1 3.0	1 6.1	2 3.0	1 3.0	1 3.0

		合計	意思伝達装置（コミュニケーションエイド）	自動消火器	緊急通報装置	床ずれ防止用具	移動用リフト	電動車いす	体位変換器	義肢	その他	使ったことがない	不明
Q1-2-2 障害の程度	全体	599 100.0	13 2.2	11 1.8	9 1.5	8 1.3	8 1.3	5 0.8	5 0.8	2 0.3	11 1.8	265 44.2	11 1.8
	軽度	113 100.0	1 0.9	2 1.8	1 0.9	-	-	-	-	-	1 0.9	65 57.5	1 0.9
	中度	120 100.0	6 5.0	2 1.7	-	1 0.8	1 0.8	-	-	-	2 1.7	60 50.0	3 2.5
	重度	209 100.0	5 2.4	3 1.4	3 1.4	1 0.5	4 1.9	1 0.5	1 0.5	1 0.5	5 2.4	90 43.1	3 1.4
	最重度	112 100.0	1 0.9	3 2.7	4 3.6	6 5.4	3 2.7	2 1.8	4 3.6	-	3 2.7	22 19.6	1 0.9
	わからない	33 100.0	-	1 3.0	1 3.0	-	-	2 6.1	-	-	1 3.0	20 60.6	-

(表 3-136) 使ったことがある支援機器等×療育手帳の保有状況

		合計	車いす	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤマフなど不快な音を調整するもの	視覚支援に関わる用具	火災警報器	頭部保護帽	歩行器・歩行車	装具	入浴関連用具	排泄関連用具	つえ	姿勢保持装置	特殊寝台（マットを含む）	補聴器
Q1-2-4 療育手帳	全体	599 100.0	113 18.9	110 18.4	84 14.0	83 13.9	73 12.2	61 10.2	46 7.7	40 6.7	38 6.3	35 5.8	22 3.7	21 3.5	18 3.0	15 2.5
	重度（A、A1、A2など）	326 100.0	78 23.9	77 23.6	44 13.5	57 17.5	47 14.4	47 14.4	23 7.1	31 9.5	28 8.6	19 5.8	8 2.5	8 5.5	12 3.7	7 2.1
	その他（B、B1、B2、B3など）	203 100.0	22 10.8	25 12.3	31 15.3	20 9.9	24 11.8	9 4.4	16 7.9	5 2.5	8 3.9	13 6.4	10 4.9	1 0.5	5 2.5	6 3.0
	わからない	16 100.0	4 25.0	1 6.3	-	1 6.3	-	2 12.5	3 18.8	1 6.3	1 6.3	2 12.5	1 6.3	-	1 6.3	-

		合計	意思伝達装置（コミュニケーションエイド）	自動消火器	緊急通報装置	床ずれ防止用具	移動用リフト	電動車いす	体位変換器	義肢	その他	使ったことがない	不明
Q1-2-4 療育手帳	全体	599 100.0	13 2.2	11 1.8	9 1.5	8 1.3	8 1.3	5 0.8	5 0.8	2 0.3	11 1.8	265 44.2	11 1.8
	重度（A、A1、A2など）	326 100.0	5 1.5	6 1.8	7 2.1	6 1.8	7 2.1	-	5 1.5	1 0.3	8 2.5	121 37.1	5 1.5
	その他（B、B1、B2、B3など）	203 100.0	7 3.4	4 2.0	1 0.5	1 0.5	1 0.5	-	-	-	3 1.5	107 52.7	4 2.0
	わからない	16 100.0	1 6.3	-	-	1 6.3	-	2 12.5	-	-	-	11 68.8	1 6.3

療育手帳では、重度（A、A1、A2など）の回答者は「車いす」「視覚支援に関わる用具（スケジュール管理など）」「パーテーション等視覚情報を調整するもの」が突出して高かった。一方、その他（B、B1、B2、B3など）は「補聴器」「つえ」「排泄関連用具」「イヤマフなど不快な音を調整するもの」で高い傾向がみられた。

(表 3-137) 使ったことがある支援機器等×身体障害者手帳の保有状況

	合計	車いす	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤマフなど不快な音を調整するもの	視覚支援に関わる用具	火災警報器	頭部保護帽	歩行器・歩行車	装具	入浴関連用具	排泄関連用具	つえ	姿勢保持装置	特殊寝台（マットを含む）	補聴器
全体	599	113	110	84	83	73	61	46	40	38	35	22	21	18	15
	100.0	18.9	18.4	14.0	13.9	12.2	10.2	7.7	6.7	6.3	5.8	3.7	3.5	3.0	2.5
01-2-4 身体障害者手帳	1級	56	39	3	1	2	4	16	14	13	6	1	15	5	2
	100.0	69.6	5.4	1.8	3.6	7.1	28.6	25.0	25.0	23.2	10.7	1.8	26.8	8.9	3.6
	2級	15	10	3	2	1	3	3	5	3	3	1	3	1	2
	100.0	66.7	20.0	13.3	6.7	20.0	20.0	33.3	20.0	20.0	6.7	20.0	2	6.7	13.3
	3級	13	7	3	3	4	3	3	4	4	1	2	2	1	1
	100.0	53.8	23.1	23.1	30.8	23.1	23.1	30.8	30.8	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7
	4級	10	3	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2
	100.0	30.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	20.0
	5級	2	2	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—
	100.0	100.0	—	—	—	—	50.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—
	6級	7	1	—	—	3	—	—	1	1	—	—	—	1	—
	100.0	14.3	—	—	42.9	—	—	—	14.3	14.3	—	—	—	14.3	—
	わからない	93	15	18	16	8	11	13	6	5	7	3	1	2	—
	100.0	16.1	19.4	17.2	8.6	11.8	14.0	6.5	5.4	7.5	5.4	3.2	1.1	2.2	—

	合計	意思伝達装置（コミュニケーションエイド）	自動消火器	緊急通報装置	床ずれ防止用具	移動用リフト	電動車いす	体位変換器	義肢	その他	使ったことがない	不明
全体	599	13	11	9	8	8	5	5	2	11	265	11
	100.0	2.2	1.8	1.5	1.3	1.3	0.8	0.8	0.3	1.8	44.2	1.8
01-2-4 身体障害者手帳	1級	56	1	1	3	2	3	4	2	2	8	—
	100.0	1.8	1.8	5.4	3.6	5.4	7.1	3.6	—	3.6	14.3	—
	2級	15	—	3	1	—	—	—	—	—	1	—
	100.0	—	20.0	6.7	6.7	—	—	—	—	—	6.7	—
	3級	13	—	1	1	—	—	—	1	—	2	—
	100.0	—	7.7	7.7	—	—	—	—	7.7	—	15.4	—
	4級	10	—	—	—	—	—	—	—	1	4	—
	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	10.0	40.0	—
	5級	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6級	7	—	—	—	1	—	1	—	—	3	—
	100.0	—	—	—	14.3	—	—	14.3	—	—	42.9	—
	わからない	93	1	2	3	2	1	—	—	2	45	—
	100.0	1.1	2.2	3.2	2.2	1.1	—	—	—	2.2	48.4	—

身体障害者手帳を持つ回答者では、「装具」「姿勢保持装置」「歩行器・歩行車」「車いす」「排泄関連用具」「入浴関連用具」などの使用経験が高い傾向がみられた。

(表 3-139) 使ったことがある支援機器等×対象者の住まい

	合計	車いす	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤマフなど不快な音を調整するもの	視覚支援に関わる用具	火災警報器	頭部保護帽	歩行器・歩行車	装具	入浴関連用具	排泄関連用具	つえ	姿勢保持装置	特殊寝台（マットを含む）	補聴器
全体	599	113	110	84	83	73	61	46	40	38	35	22	21	18	15
	100.0	18.9	18.4	14.0	13.9	12.2	10.2	7.7	6.7	6.3	5.8	3.7	3.5	3.0	2.5
01-3-1 住まい	一軒家	230	30	45	51	41	12	19	13	17	6	2	2	11	2
	100.0	13.0	19.6	22.2	17.8	5.2	8.3	5.7	7.4	2.6	0.9	0.9	4.8	0.9	2.6
	マンション・アパート	86	14	15	10	13	2	6	5	9	4	1	1	2	1
	100.0	16.3	17.4	11.6	15.1	2.3	7.0	5.8	10.5	4.7	1.2	1.2	2.3	2.3	1.2
	グループホーム	105	15	14	7	8	9	6	10	2	3	2	8	—	3
	100.0	14.3	13.3	6.7	7.6	8.6	5.7	9.5	1.9	2.9	1.9	7.6	—	2.9	2.9
	病院に入院している	2	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—
	100.0	50.0	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—
	施設に入所している	170	52	36	16	22	49	29	17	11	25	29	11	7	11
	100.0	30.6	21.2	9.4	12.9	28.8	17.1	10.0	6.5	14.7	17.1	6.5	4.1	6.5	2.4
	その他	13	2	1	3	2	1	1	1	1	—	1	—	—	1
	100.0	15.4	7.7	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	—	7.7	—	—	—	7.7

	合計	意思伝達装置（コミュニケーションエイド）	自動消火器	緊急通報装置	床ずれ防止用具	移動用リフト	電動車いす	体位変換器	義肢	その他	使ったことがない	不明
全体	599	13	11	9	8	8	5	5	2	11	265	11
	100.0	2.2	1.8	1.5	1.3	1.3	0.8	0.8	0.3	1.8	44.2	1.8
01-3-1 住まい	一軒家	230	8	1	—	1	3	2	1	5	104	5
	100.0	3.5	0.4	—	0.4	0.4	1.3	0.9	0.4	2.2	45.2	2.2
	マンション・アパート	86	3	—	—	1	1	—	1	5	43	2
	100.0	3.5	—	—	—	1.2	1.2	—	1.2	5.8	50.0	2.3
	グループホーム	105	1	1	2	1	1	—	—	—	61	4
	100.0	1.0	1.0	1.9	1.0	1.0	—	1.0	—	—	58.1	3.8
	病院に入院している	2	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
	100.0	—	—	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—
	施設に入所している	170	1	9	7	6	5	1	1	—	54	—
	100.0	0.6	5.3	4.1	3.5	2.9	0.6	0.6	—	—	31.8	—
	その他	13	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—
	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53.8	—

住まいと使ったことのある支援機器の関連でみると、「頭部保護帽」「歩行器・歩行車」

「車いす」「排泄関連用具」「入浴関連用具」「火災警報器」は施設に入所している回答者の割合が高く、「視覚支援に関わる用具（スケジュール管理など）」「パーテーション等視覚情報を調整するもの」「イヤマフなど不快な音を調整するもの」は一軒家に住む回答者の割合が高かった。

（表 3-141）使ったことがある支援機器等×同居者の状況

	合計	車いす	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤマフなど不快な音を調整するもの	視覚支援に関わる用具	火災警報器	頭部保護帽	歩行器・歩行車	装具	入浴関連用具	排泄関連用具	つえ	姿勢保持装置	特殊寝台（マットを含む）	補聴器
全体	599	113	110	84	83	73	61	46	40	38	35	22	21	18	15
	100.0	18.9	18.4	14.0	13.9	12.2	10.2	7.7	6.7	6.3	5.8	3.7	3.5	3.0	2.5
Q1-3-3 同居者	自分ひとりだけで暮らしている	13	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
	100.0	-	-	-	-	-	15.4	-	-	-	-	-	-	-	15.4
	夫や妻（配偶者）	6	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	子ども（子どもの妻や夫）	4	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-
	父、母（親）	309	45	63	63	55	13	25	20	25	11	3	5	13	4
	100.0	14.6	20.4	20.4	17.8	4.2	8.1	6.5	8.1	3.6	1.0	1.6	4.2	1.3	2.3
	自分のおじいさん、おばあさん	32	5	10	10	7	-	2	2	1	1	-	-	2	-
	100.0	15.6	31.3	31.3	21.9	-	6.3	6.3	3.1	3.1	3.1	-	6.3	-	9.4
	兄弟・姉妹	137	26	22	28	19	7	13	13	16	6	3	-	9	1
	100.0	19.0	16.1	20.4	13.9	5.1	9.5	9.5	11.7	4.4	2.2	-	6.6	0.7	2.2
	その他親せき	7	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3
	友人・知り合い	16	3	4	1	2	2	2	2	-	1	-	3	-	2
	100.0	18.8	25.0	6.3	12.5	12.5	12.5	12.5	-	6.3	-	18.8	-	6.3	12.5
	支援者・施設職員	185	50	42	19	26	40	30	19	12	24	16	14	7	6
	100.0	27.0	22.7	10.3	14.1	21.6	16.2	10.3	6.5	13.0	8.6	7.6	3.8	6.5	3.2
	その他	139	22	18	9	16	26	7	9	5	4	17	4	-	1
	100.0	15.8	12.9	6.5	11.5	18.7	5.0	6.5	3.6	2.9	12.2	2.9	-	2.9	0.7

	合計	意思伝達装置（コミュニケーションエイド）	自動消火器	緊急通報装置	床ずれ防止用具	移動用リフト	電動車いす	体位変換器	義肢	その他	使ったことがない	不明
全体	599	13	11	9	8	8	5	5	2	11	265	11
	100.0	2.2	1.8	1.5	1.3	1.3	0.8	0.8	0.3	1.8	44.2	1.8
Q1-3-3 同居者	自分ひとりだけで暮らしている	13	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76.9	-
	夫や妻（配偶者）	6	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-
	100.0	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	66.7	-
	子ども（子どもの妻や夫）	4	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-
	100.0	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-	50.0	-
	父、母（親）	309	10	2	1	2	3	2	1	11	139	7
	100.0	3.2	0.6	0.3	0.3	0.6	1.0	0.6	0.3	3.6	45.0	2.3
	自分のおじいさん、おばあさん	32	1	-	-	-	-	-	-	1	12	-
	100.0	3.1	-	-	-	-	-	-	-	3.1	37.5	-
	兄弟・姉妹	137	2	1	-	-	1	1	-	1	60	3
	100.0	1.5	0.7	-	-	-	0.7	0.7	-	0.7	43.8	2.2
	その他親せき	7	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9	-
	友人・知り合い	16	-	1	1	-	1	-	-	-	9	-
	100.0	-	6.3	6.3	-	6.3	-	-	-	-	56.3	-
	支援者・施設職員	185	2	10	8	6	6	2	-	-	69	1
	100.0	1.1	5.4	4.3	3.2	3.2	-	1.1	-	-	37.3	0.5
	その他	139	2	5	1	2	-	1	1	-	69	1
	100.0	1.4	3.6	0.7	1.4	-	0.7	0.7	-	-	49.6	0.7

同居者の種類の傾向では、「視覚支援に関わる用具（スケジュール管理など）」「パーテーション等視覚情報を調整するもの」「イヤマフなど不快な音を調整するもの」に関しては、父、母（親）や自分のおじいさん、おばあさん、兄弟・姉妹などの家族と過ごしている回答者の使用が多くみられた。

③まとめ

回答者属性

- 回答者のうち、障害者本人が回答した割合は約 19%にとどまり、約 8 割は家族や支援者が回答した。回答者の年代は 10 代から 60 代まで満遍なく分布しており、10 代が 21%、20 代が 18%、40 代が 16.9%と続いた。
- 障害種別は ASD(自閉スペクトラム症)が 37.6%と最も多く、その他にも様々な障害種別の方が回答した。障害者手帳の保有者は 9 割以上にのぼり、療育手帳の保有者も満遍なく回答していることがわかった。

支援機器等の利用状況

- これまで使用したことがある支援機器等は、車いす(18.9%)、パーテーション(18.4%)、イヤマフ(14%)、視覚支援用具(13.9%)、火災警報器(12.2%)など、多岐にわたった。
- 現在も使用している支援機器等は、車いす(26%)、パーテーション(24.8%)、視覚支援用具(23.8%)、火災警報器(22.3%)、イヤマフ(21.1%)などである。
- 支援機器等を使わなくなった理由としては、「効果を感じられなかった」(23.9%)、「使うのが面倒だった」(9.8%)、「使うのが難しかった」(7.6%)といった意見が挙げられた。
- 支援機器等の改良を希望する意見としては、「価格が高い」(29.2%)、「使い方の支援をしてくれる人がいない」(11.3%)といった声があった。

携帯電話・パソコンの利用状況

- 携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)を保有している人は 32.4%、パソコンを保有している人は 16.7%であった。
- 携帯電話の主な利用シーンは、「趣味」(27.5%)、「プライベートでの調べ物」(14.5%)などである。
- 携帯電話やパソコンの利用で困ることは、「トラブルが起きた時に対応できない」(50.6%)、「無料か有料かの判断が難しい」(33.3%)、「操作方法が難しい、わからない」(19.8%)などである。

日常生活・仕事・余暇における困りごと

- 日常生活で不便を感じることは、「人とコミュニケーションを取るとき」(49.7%)、「外出するとき」(41.7%)、「お金の管理をするとき」(43.6%)、「買い物をするとき」(40.1%)などが挙げられた。
- 仕事で困ることは、「自分に合った仕事が見つからない」(21.7%)、「自分にとって働きやすいところが見つからない」(15.5%)、「仕事を探すとき」(8.5%)など、仕事探しから就労まで、様々な困難があることがわかった。
- 余暇時間で困ることは、「旅行へ行くとき」(36.4%)、「地域の行事や活動に参加するとき」(30.6%)、「映画・コンサート・美術館・カラオケ等へ行くとき」(24.9%)など、非日常的な場面で困りごとが多いようである。

求めるサポート

- 回答者が求めるサポートとしては、「コミュニケーション」(60.4%)、「お金の管理」(53.9%)、「移動」(49.2%)などが上位を占めた。環境改善や支援機器によって「落ち着いて生活や仕事がしたい」(50.9%)、「他の人といろいろな話をしてみたい」(34.4%)、

- 「スムーズに移動したい」(28.7%)といったことを実現したいと考えている人が多い。
- ロボットや ICT(情報通信技術)、AI(人工知能)の開発には、「日常生活が便利になる」(76.8%)、「好きなことにもっと挑戦できる」(35.9%)といった期待が寄せられている。

クロス集計結果から

- 施設入所者は、在宅で生活している人に比べて、多くの支援機器等を利用している傾向が見られた。就労していない人は、就労している人に比べて、支援機器等の利用経験が多い傾向が見られた。
- 家族と同居している人は、コミュニケーション支援や感覚調整に役立つ支援機器等の利用が多い傾向が見られた。
- 療育手帳を保有している人は、特に車いす、視覚支援用具、パーテーションの利用経験が多い傾向が見られた。
- また、家族と職員では、家族の方が課題感を覚えやすい傾向がみられた。

調査結果から：

- 今回の調査結果から、障害のある方の日常生活、仕事、余暇活動における課題やニーズ、支援機器等の利用状況、そしてテクノロジーへの期待など、多岐にわたる情報を得ることができた。
- 特に、普段の生活や仕事、お楽しみ（余暇）の場面において、コミュニケーション支援、お金の管理、移動支援等に関するニーズが共通して高いことが挙げられた。外出先や仕事など、非日常におけるトラブル等に対応できる機器や技術が求められていることが明らかになった。
- 対象者の多くは、日常生活における様々な困りごとに対して、支援機器等を活用することで解決したいと考えており、ロボットや ICT、AI といったテクノロジーの進歩に高い期待が寄せられていることもわかった。
- 一方で、個人が抱える特性等については様々であることから、本人だけでなく、家族・職員（支援者）も含めて、具体的な利用シーンや外出する先などの場面から必要な機器や環境改善のサービス等が選択できると良い。
- 本調査で得られた共通課題に対して、ホスト側（公共交通機関や店舗、美術館、劇場等）で必要な支援機器やサポートを選べる仕組みがあると良い。

(2) ヒアリング調査の結果

ヒアリングによる最も大きな傾向としては、当事者が困らないように家族が生活面の補助や、行動制限等を行っていることに加えて、知的障害者の言われたことをそのまま受け入れる素直さの傾向から、障害者本人から具体的な困ったことについてあまり聴取できなかった。

一方で、当事者の生活や出生後の変遷から、同居人や支援者による生活支援が実施されているものの、障害者の自立支援が不足していることや制度的課題が浮き彫りとなった。

「移動」に象徴されるように、日常生活で当事者の自立が家族にとって必要不可欠な部分は訓練されており、一定自立してできるようになっている。一方で、「移動」以外の部分で訓練されている内容の幅は個人差が大きく、当事者の自立に向けた「訓練」に対してソフトとハード両面からの支援ニーズがあることが伺えた。個別のヒアリング結果については、「3. 別添資料のヒアリング調査結果」を参照のこと。

●日常生活全般

身体的介助の必要有無にもよるが、「移動」については知的障害の重さに関わらず訓練をすることで、特定の場所までの行き来は自律的にできることが伺われた。

起床から出勤までの準備についても、何度も繰り返すことで部分的に自律的に実施できるようになった例も見受けられる。(愛知県 30 代/女性)

●コミュニケーションや意思決定・支援

コミュニケーションの手法として、言語障害を持つことから文字表や筆談で対応している傾向があるものの、職場では基本口頭でのやり取りが主流であり、仕事の会話の中でそのようなツールの活用が受け入れられないといった声もあった。(どうしても必要な場合は絵で指示されることもあるとのこと)

●情報収集・理解、文化芸術・レクリエーション等に関すること

ヒアリング対象のほとんどは、人ごみを避けるなど工夫の上で、旅行やお出掛けをしている。障害者手帳を用いたサービスにより待たずに博物館やアミューズメント施設を楽しんでいる様子だが、1 件(埼玉県 18 歳/男性)以外は出かける際は必ず介助者が必要だという意見が聞かれ(どうすればよいか分からず全く動けなくなったり、突発的な行動を起こす可能性があるため)、人的介助の必要性が訴えられた。

●お金の管理

自分でお金の管理ができるのは、1 件(埼玉県 18 歳/男性)のみであった。

全体的な傾向として、知的障害の重さに関わらず硬貨や紙幣等の実物でお金とその金額を認識できるが、数字のみではお金の概念を理解できていない。このことから口座を開設しその中でお金を管理することが難しいと考えられる。また足し算や引き算の可否は、訓練の状況など個人差があった。

●福祉用具・環境改善の開発改良に関すること

福祉用具への期待よりも人的支援に対するニーズの方が強く示された。家族と一緒に住む状況から制度的にヘルパーを頼みにくいという地域もある。福祉用具に触れる機会も地域差が大きく、実際に福祉用具を試す機会がないため、福祉用具への期待感を持ちにくいと考えられる。ニーズとして自立支援の一環で福祉用具を用いた研修のようなものがあれば良いという声もあった。

また、（埼玉県 18 歳/男性）の例と（愛知県 30 代/女性）の例から家族のデジタルリテラシーも支援の在り方やニーズに影響していることが伺えた。

●その他

スマートフォンは使用しているが、通話などコミュニケーションツールとしての要素が共通しており、家族の見守り方針によりインターネットの使用範囲が異なる傾向が見受けられた。

(3) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの活用方策について

障害者の自立を支援し、家族・介護者の負担を軽減する「障害者自立支援機器（以下「支援機器」）」は、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害者の活動や参加を促す極めて重要な役割を果たすものであり、障害者等のニーズを的確に捉えた製品開発と普及の促進が求められる。

一方、障害の程度や置かれている環境等は様々であり、かつ障害の種別によって、自立生活に向けた課題（日常生活上のお困りごとなど）や支援機器に求められるニーズは、千差万別である。

加えて、少子高齢化の進行と人手不足が深刻化するなか、知的障害者の高齢化・重度化、ニーズの多様化・複雑化は喫緊の課題となっている。

こうした背景のもと、近年、ロボットやICT（情報通信技術）、AI（人工知能）などのテクノロジーを支援機器の分野で活用することに大きな期待が寄せられているところであるが、ハイテク・ローテクにかかわらず、障害当事者をはじめ家族・支援者が直面している課題、より具体的なニーズに合致した製品の開発と普及の促進が必要なことから、本事業ではとりわけ「知的障害者」をテーマに支援機器に関する実態把握を行うとともに、予てより当協会において運用している「福祉用具ニーズ情報収集・提供システム」の今後の在り方について検討することとした。

もって、障害者福祉の現場において、真に必要とされる支援機器等の開発・普及をより一層喚起することとする。

福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの活用方策等について

障害ある方や介護される方（家族や介護・リハビリ関係者など）から、福祉用具に関する要望やアイデア、日常の課題などの情報を収集し、実用的な福祉用具の研究開発に繋げることを目的としているもの。当協会にて、平成22年4月よりインターネットを活用して情報収集・提供を行っている。



(4) 次年度に向けた検討事項について

- 本調査研究では、近年、増加傾向にある「知的障害者」の置かれている実態を把握するとともに、支援機器の利用状況から現状の課題、求められる環境改善や新たな支援機器の要望等について調査することとした。
- 具体的には、当協会に知的障害者にかかる有識者等から構成する検討会を設置し、アンケート調査やヒアリング調査の実施を通じて、知的障害者（児を含む）の置かれている日常生活の課題を把握するとともに、新たな開発や普及が求められる支援機器やシステム、環境改善等について、情報収集することとした。
- 併せて、本研究では、当協会が運用している「福祉用具ニーズ情報・収集提供システム」の活用方策について、検討したところである。
- 本研究を終えて、知的障害者を対象とする調査の実施については、障害の程度から年齢まで幅広いことから、年齢や当事者のライフスタイル、在宅や施設・事業所、就労場面やレクリエーションなど、調査範囲を絞ってより深掘することも必要であると考ええる。
- また、今回の調査では、障害者本人のニーズを中心に調査したところであるが、家族・支援者等にも調査範囲を広げるとともに、教育現場や就労現場におけるニーズや課題の実態把握も必要と考えられる。
- 本調査の結果から、知的障害者が抱えている課題の解決策としては、これまでの支援機器に限らず環境改善を含む日常生活の工夫や、アプリケーション等の活用も課題解決の一つの手段として考えられるところであり、既存の支援機器の枠を超えて情報提供することが求められる。
- さらに、知的障害者の自立支援を促進する観点から、真に必要とされる支援機器や環境改善の開発と普及の将来予測を行うためにも、年齢や程度別の支援機器等の開発と普及、研究の状況等を記載したロードマップを作成することも必要ではないか。

(5) 本調査研究のまとめ図

次ページに記載

知的障害者に係るニーズ情報の収集・提供の在り方に関する調査研究

目的

- 知的障害者及び関係団体や施設等、支援者・家族等を対象にアンケート調査及びヒアリング調査を実施し、得られた情報を支援機器開発及び環境整備のための「ニーズ」として整理する。
- 当協会が運用する「福祉用具・情報収集・提供システム」を活用して、知的障害者が必要としている支援機器開発及び環境整備等に関する情報収集・提供の方策について提言する。
- 知的障害者が日常生活上で抱えている潜在的な困りごとを支援機器開発及び環境整備のためのニーズとして顕在化することで、障害者が真に必要な支援機器の開発及び普及促進に寄与する。

アンケート調査

（知的障害者ご本人又はご家族や施設・事務所の職員等の支援を受けた方がご本人に回答していただくことを基本とする）

基本情報

- ・ 回答者：599名
- ・ 障害者本人：114名（19.0%）
- ・ 家族や支援者：483名（80.6%）
- ・ 年代は10代から60代まで満遍なく分布
- ・ 知的障害に加え、ASD（自閉スペクトラム症）、ADHD（注意欠如多動症）等、合併

支援機器利用状況

- ・ 主な使用は「車いす（26%）」、「パーテーション（24.8%）」、「視覚支援用具（23.8%）」等
- ・ 使わなくなった理由は、「効果が感じられぬ（23.9%）」、「使用が難しい（7.6%）」等
- ・ 希望する意見として「価格が高い（29.2%）」、「使用にあたる支援者がいない（11.3%）」等

携帯電話・PC利用状況

- ・ 携帯電話（スマホ、タブレット）保有者（32.4%）、PC保有者（16.7%）
- ・ 利用シーンとして「趣味（27.5%）」、「調べ物（14.5%）」等
- ・ 困り事として「トラブル時の対応困難（50.6%）」、「有料・無料の判断困難（33.3%）」、「操作方法がわからない（19.8%）」等

日常生活・仕事・余暇困りごと

- ・ 不便さとして「知人コミュニケーション（40.7%）」、「外出（41.7%）」、「お金の管理（43.6%）」等
- ・ 就労では「自分に合った仕事内容（21.7%）」、「働きやすさ（15.5%）」、「仕事探し（8.5%）」等
- ・ 余暇時間では「旅行（36.4%）」、「地域の活動参加（30.6%）」、「映画・美術館等（24.9%）」等

求めるサポート

- ・ サポートとして「コミュニケーション（60.4%）」、「お金の管理（53.9%）」、「移動（49.2%）」等
- ・ 支援機器や環境改善によって「落ち着いた生活・仕事（50.9%）」、「他人との会話（34.4%）」、「スムーズな移動（28.9%）」等を希望
- ・ ロボットやICT、AIの開発に「日常生活の向上（76.8%）」、「好きなことへの挑戦（35.9%）」に期待

その他

- ・ 施設入所者はより多くの支援機器を利用している。
- ・ 就労していない者がより支援機器利用経験が多い。
- ・ 家族と同居者している者はコミュニケーション支援や感覚調整に役立つ支援機器の利用が多い。
- ・ 家族と職員を比較すると家族の方が課題を感じやすい。

・ コミュニケーション支援、お金の管理、移動支援等に関するニーズが共通して高い。

- ・ 非日常におけるトラブル等に対応できる機器や技術が求められている。
- ・ ロボットやICT、AIといったテクノロジーの進歩に高い期待が寄せられている。
- ・ 障害程度が「重度」「最重度」の場合、複数の支援機器を使用する傾向にある。
- ・ 具体的な利用シーンや外出先等の場面に応じて、必要な機器及び環境改善等のサービスを選択できると良い。
- ・ ホスト側（公共交通機関や店舗、美術館、劇場等）に必要な支援機器やサポートを選べる仕組みがあると良い。

ヒアリング調査

（検討委員より紹介いただいた知的障害者と関係者、アンケート調査結果を踏まえて抽出した知的障害者にヒアリングを実施）

日常生活全般

- ・ 「移動」について、知的障害の重さに関わらず訓練をすること、特定の場所までの行き来は自律的にできる可能性がある。（起床から出勤までの準備も同様）

コミュニケーションや意思決定・支援

- ・ コミュニケーションの手法として、言語障害を持つこととから文字表や筆談で対応している傾向があるものの、職場では口頭でのやり取りが主流である。
- ・ 就労時の会話の中で機器ツールが活用されていない。必要な場合は給て指示されることもある

情報収集・理解、文化芸術、レクリエーション等に関すること

- ・ 人混みを避ける工夫をして、旅行や外出をしている。
- ・ 障害者手帳を用いたサービスを活用して、博物館やミュージアム施設を楽しんでいる。
- ・ 一方で、外出の際に突発的な行動を起こす可能性がある。人混みの必要性的訴えがある。

お金の管理

- ・ 知的障害の重さに関わらず障害や紙幣等の実物でお金とその金額を認識できるが、数字のみではお金の概念を理解できていない。
- ・ 口座を開設し、お金を管理するのは困難。
- ・ 足し算、引き算の可否は訓練状況など個人差あり。

福祉用具・環境改善の開発改良に関すること

- ・ 福祉用具に触れる機会も地域差が大きく、実際に試す機会がないため、福祉用具への期待感を持ちにくい。
- ・ 家族のデジタルリテラシーも支援の在り方やニーズに影響している。

その他

- ・ スマートフォンにおいて通話等のコミュニケーションツールとしての要素は共通しているが、家族の見守り方針によりインターネットの使用範囲が異なる傾向。

- ・ 当事者が困らないように、家族が生活面での補助や行動制限等を行っていることに加え、当事者が言われたことをそのまま受け入れる素直な傾向があるため、当事者から具体的な困りごとの聴取ができなかった。
- ・ 一方で、当事者の生活や出生後の変遷から同居人や支援者による生活支援が実施されているものの、障害者の自立支援不足や制度的課題が浮き彫りとなった。

次年度に向けた検討事項について

- ・ 障害の程度や年齢が幅広いため、年齢や当事者のライフスタイル、在宅・施設・事業所、就労場面やレクリエーションなどを考慮し、調査範囲を絞り、より深掘りすることも必要である。
- ・ 調査範囲は障害者本人のニーズだけでなく、家族や支援者を含め、教育現場や就労現場でのニーズや課題の実態把握も求められる。
- ・ 課題解決策として、環境改善を含む日常生活の工夫など、既存の支援機器の枠を超えた情報提供が求められる。
- ・ 年齢や障害の程度別に支援機器の開発と言及、研究の状況を記載したロードマップの作成も検討すべきである。

3. 別添資料

(1) 知的障害の概要

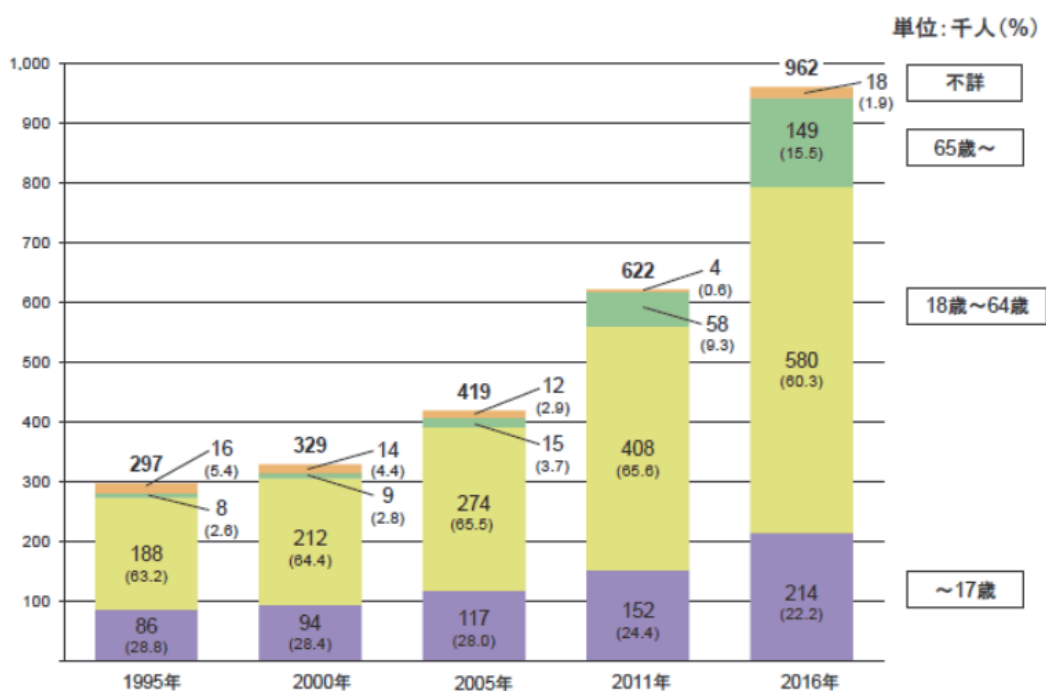
(年齢別知的障害者の推移)

在宅の知的障害者 96 万 2 千人の年齢階層別の内訳をみると、18 歳未満 21 万 4 千人 (22.2%)、18 歳以上 65 歳未満 58 万人 (60.3%)、65 歳以上 14 万 9 千人 (15.5%) となっている。身体障害者と比べて 18 歳未満の割合が高い一方で、65 歳以上の割合が低い点に特徴がある (図表 3)。

知的障害者の推移をみると、2011 年と比較して約 34 万人増加している。以前に比べ、知的障害に対する認知度が高くなり、療育手帳取得者の増加が要因の一つと考えられる (図表 3)。

(※) 身体障害者、知的障害者については、総務省「人口推計」2016 年 10 月 1 日 (確定値)

■ 図表 3 年齢階層別障害者数の推移 (知的障害児・者 (在宅))



注: 四捨五入で人数を出しているため、合計が一致しない場合がある。

資料: 厚生労働省「知的障害児 (者) 基礎調査」(~2005 年)、厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」(2011・2016 年)

内閣府等のホームページ等からの引用

https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r05hakusho/zenbun/siryo_01.html

(性別の障害者数)

「平成 28 年生活のしづらさなどに関する調査」において、知的障害者数 (療育手帳所持者数) を性別にみると、65 歳未満では男性が 49 万 7 千人 (62.5%)、女性が 29 万 5 千人

(37.1%)、65 歳以上では男性が 8 万 9 千人 (53.0%)、女性が 7 万 3 千人 (43.5%) となっている (図表 5)。

■図表5 障害者手帳所持者数等、性・障害種別等別

(65歳未満)(単位:千人)

性	総数		障害者手帳所持者		障害者手帳の種類(複数回答)						手帳非所持でかつ 自立支援給付等を 受けている者	
					身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健 福祉手帳			
総 数	2,382	(100.0%)	2,237	(100.0%)	1,082	(100.0%)	795	(100.0%)	594	(100.0%)	145	(100.0%)
男 性	1,359	57.1%	1,280	57.2%	593	54.8%	497	62.5%	307	51.7%	79	54.5%
女 性	1,014	42.6%	950	42.5%	486	44.9%	295	37.1%	282	47.5%	64	44.1%
不 詳	9	0.4%	8	0.4%	3	0.3%	3	0.4%	5	0.8%	1	0.7%

(65歳以上及び年齢不詳)

性	総数		障害者手帳所持者		障害者手帳の種類(複数回答)						手帳非所持でかつ 自立支援給付等を 受けている者	
					身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健 福祉手帳			
総 数	3,550	(100.0%)	3,358	(100.0%)	3,205	(100.0%)	168	(100.0%)	247	(100.0%)	193	(100.0%)
男 性	1,756	49.5%	1,691	50.4%	1,627	50.8%	89	53.0%	106	42.9%	64	33.2%
女 性	1,772	49.9%	1,645	49.0%	1,565	48.8%	73	43.5%	130	52.6%	127	65.8%
不 詳	23	0.6%	21	0.6%	13	0.4%	5	3.0%	11	4.5%	1	0.5%

注:四捨五入で人数を出しているため、合計が一致しない場合がある。

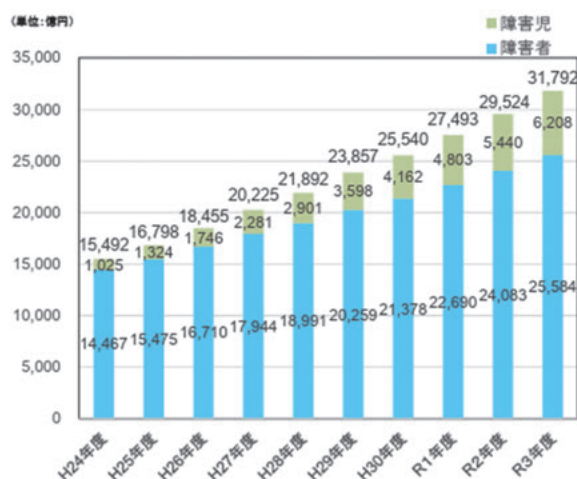
資料:厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」(2016年)

(障害福祉サービス等における総費用等)

障害福祉サービス等における総費用額及び1人当たりの費用月額の推移

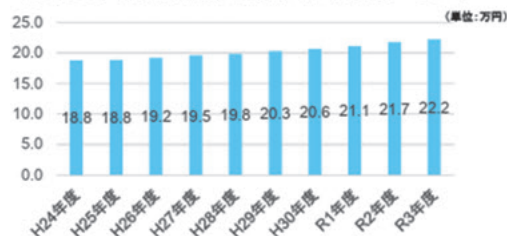
- 障害福祉サービス等における総費用額は増加傾向にあり、令和2年度から令和3年度の伸び率は、全体で7.7%、障害者サービスで6.2%、障害児サービスで14.1%となっている。
- また、一人当たりの費用月額をみると、障害者サービス、障害児サービスともに増加傾向にある。

○総費用額の推移

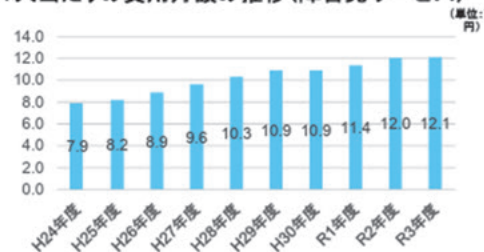


※【出典】国民健康保険団体連合会データ

○1人当たりの費用月額の推移(障害者サービス)



○1人当たりの費用月額の推移(障害児サービス)



※ 一人当たりの費用額には計画相談支援、地域相談支援、障害児相談支援は含まない。

障害福祉サービス等の体系 (介護給付・訓練等給付)

サービス内容			利用者数	施設・事業所数
訪問系	居宅介護	自宅、入浴、排せつ、食事の介護等を行う	198,067	21,757
	重度訪問介護	重度の肢体不自由等又は重度の知的障害若しくは精神障害により行動上著しい困難を有する者であつて常に介護を必要とする人に、自宅、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援、入浴時の支援等を総合的に提供する	12,192	7,499
	同行援護	視覚障害により、移動に著しい困難を有する人が外出する時、必要な情報提供や介護を行う	25,332	5,678
	行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う	13,184	2,026
	重度障害者等包括支援	介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に提供する	45	10
	短期入所	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含めた施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う	45,113	5,281
日中活動系	療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行う	21,010	258
	生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する	298,119	12,363
	施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う	124,432	2,560
居住支援系	自立生活援助	一人暮らしに必要な理解力・生活力等を補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行う	1,270	295
	共同生活援助	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談、入浴、排せつ、食事の介護、日常生活上の援助を行う	168,318	12,400
訓練等給付	自立訓練(機能訓練)	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の維持、向上のために必要な訓練を行う	2,238	189
	自立訓練(生活訓練)	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の維持、向上のために必要な支援、訓練を行う	14,150	1,315
	就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う	35,415	2,977
	就労継続支援(A型)	一般企業等での就労が困難な人に、雇用して就労の機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う	83,302	4,377
	就労継続支援(B型)	一般企業等での就労が困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う	323,786	16,068
	就労定着支援	一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行う	15,191	1,530

(注) 1.表中の「○」は「障害者」、「●」は「障害児」であり、利用できるサービスにマークを付している。 2.利用者数及び施設・事業所数は、令和5年1月サービス提供分(国保連データ)

障害福祉サービス等の体系（障害児支援、相談支援に係る給付）

		サービス内容	利用者数	施設・事業所数
障害児支援系	障害児支援に係る給付	児童発達支援	167,712	11,004
		医療型児童発達支援	1,730	88
		放課後等デイサービス	309,961	19,638
訪問系	障害児支援に係る給付	居宅訪問型児童発達支援	336	115
		保育所等訪問支援	15,649	1,512
入所系	障害児支援に係る給付	福祉型障害児入所施設	1,320	180
		医療型障害児入所施設	1,750	198
相談支援系	相談支援に係る給付	計画相談支援	213,753	9,805
		障害児相談支援	71,609	6,045
		地域移行支援	566	320
		地域定着支援	4,092	563

※ 障害児支援は、個別に利用の要否を判断（支援区分を認定する仕組みとなっていない）※ 相談支援は、支援区分によらず利用の要否を判断（支援区分を利用要件としていない）
 (注) 1. 表中の「●」は「障害児」、「○」は「障害児」であり、利用できるサービスにマークを付している。 2. 利用者数及び施設・事業所数は、令和 5 年 1 月サービス提供分（国保連データ）

出典：厚生労働省障害福祉行政の最近の動向（令和 6 年度報酬改定を中心に）令和 5 年 9 月 8 日

（２）単純集計結果

（表 3-1） F1 はじめに、アンケートの回答者についてお伺いいたします。 あなたは、障害者本人ですか。...（S A）

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	114	19.0
2	いいえ	483	80.6
	不明	2	0.3
	全体	599	100.0

（表 3-2） F2 前の問いで「いいえ」を選択された方にお尋ねします。あなたは、アンケートの対象者の方との関係を教えてください。...（S A）

No.	カテゴリー名	n	%
1	母親	145	30.0
2	父親	17	3.5
3	兄、弟	1	0.2
4	姉、妹	1	0.2
5	学校の教員	7	1.4
6	施設職員	304	62.9
7	その他	5	1.0
	不明	3	0.6
	非該当	116	
	全体	483	100.0

（表 3-3） F3 アンケートの回答方法を教えてください。...（S A）

No.	カテゴリー名	n	%
1	障害者本人が回答する	41	6.8
2	障害者本人と支援者で回答する	226	37.7
3	支援者（代理人）が回答する	320	53.4
	不明	12	2.0
	全体	599	100.0

（表 3-4） Q1-1 あなたは何歳ですか。...（S A）

No.	カテゴリー名	n	%
1	10歳未満	25	4.2
2	10代	126	21.0
3	20代	108	18.0
4	30代	91	15.2
5	40代	101	16.9
6	50代	83	13.9
7	60代	39	6.5
8	70代以上	25	4.2
	不明	1	0.2
	全体	599	100.0

(表 3-5) Q1-2-1 あなたの障害支援区分を教えてください。…(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	区分 1	9	1.5
2	区分 2	27	4.5
3	区分 3	41	6.8
4	区分 4	80	13.4
5	区分 5	90	15.0
6	区分 6	168	28.0
7	非該当	37	6.2
8	わからない	140	23.4
	不明	7	1.2
	全体	599	100.0

(表 3-6) Q1-2-2 あなたの障害の程度を教えてください。…(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	軽度	113	18.9
2	中度	120	20.0
3	重度	209	34.9
4	最重度	112	18.7
5	わからない	33	5.5
	不明	12	2.0
	全体	599	100.0

(表 3-7) Q1-2-3 あなたは障害者手帳を持っていますか。…(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	手帳を持っている	560	93.5
2	手帳を持っていない	29	4.8
3	分からない	8	1.3
	不明	2	0.3
	全体	599	100.0

(表 3-8) Q1-2-4 療育手帳…(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重度 (A、A 1、A 2 など)	326	58.2
2	その他 (B、B 1、B 2、B 3 など)	203	36.3
3	わからない	16	2.9
	不明	15	2.7
	非該当	39	
	全体	560	100.0

(表 3-9) Q1-2-4 身体障害者手帳... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1 級	56	10.0
2	2 級	15	2.7
3	3 級	13	2.3
4	4 級	10	1.8
5	5 級	2	0.4
6	6 級	7	1.3
7	わからない	93	16.6
	不明	364	65.0
	非該当	39	
	全体	560	100.0

(表 3-10) Q1-2-4 精神障害者保健福祉手帳... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1 級	8	1.4
2	2 級	15	2.7
3	3 級	5	0.9
4	わからない	137	24.5
	不明	395	70.5
	非該当	39	
	全体	560	100.0

(表 3-11) Q1-2-5 あなたが2種類以上の障害を持つ場合は、その障害名（これまでに判定又は診断されたもの）を教えてください。（当てはまるものを全て選んでください）... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ASD（自閉スペクトラム症）	225	37.6
2	ADHD（注意欠如多動症）	38	6.3
3	LD（学習障害）	13	2.2
4	抑うつ	7	1.2
5	双極性障害（双極症）	4	0.7
6	全般性不安障害（全般不安症）	3	0.5
7	ダウン症	38	6.3
8	その他	125	20.9
9	わからない	104	17.4
	不明	126	21.0
	全体	599	100.0

(表 3-12) Q1-3-1 あなたがいま、住んでいるお家について教えてください。... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	一軒家	230	38.4
2	マンション・アパート	86	14.4
3	グループホーム	105	17.5
4	病院に入院している	2	0.3
5	施設に入所している	170	28.4
6	その他	13	2.2
	不明	2	0.3
	全体	599	100.0

(表 3-13) Q1-3-2 あなたのお家には、あなたを含め何人で住んでいますか。... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ご回答者のみ	8	2.5
2	2人	35	11.1
3	3人	128	40.8
4	4人	93	29.6
5	5人	30	9.6
6	6人	13	4.1
7	7人	3	1.0
8	8人	1	0.3
9	9人	0	0.0
10	10人以上	0	0.0
	不明	3	1.0
	非該当	285	
	全体	314	100.0

(表 3-14) Q1-3-3 あなたのお家に一緒に住んでいる人は誰ですか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	自分ひとりだけで暮らしている	13	2.2
2	夫や妻（配偶者）	6	1.0
3	子ども（子どもの妻や夫）	4	0.7
4	父、母（親）	309	51.6
5	自分のおじいさん、おばあさん	32	5.3
6	兄弟・姉妹	137	22.9
7	その他親せき	7	1.2
8	友人・知り合い	16	2.7
9	支援者・施設職員	185	30.9
10	その他	139	23.2
	不明	6	1.0
	全体	599	100.0

(表 3-15) Q1-4-1 あなたは仕事をしていますか。... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	仕事をしています	196	32.7
2	仕事をしていない	402	67.1
	不明	1	0.2
	全体	599	100.0

(表 3-16) Q1-4-2 あなたはどんな仕事をしていますか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	正社員・正職員として働いている	9	4.6
2	パート・アルバイト・日雇いで働いている	11	5.6
3	障害のある方が通う施設で、ものを作ったり作業したりしている	178	90.8
4	家の仕事の手伝い（自営業）	2	1.0
5	その他	3	1.5
	不明	0	0.0
	非該当	403	
	全体	196	100.0

(表 3-17) Q1-4-3 どのような仕事ですか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	事務職	2	1.0
2	販売業	8	4.1
3	サービス業	10	5.1
4	運輸業	2	1.0
5	製造・加工業	77	39.3
6	その他	100	51.0
	不明	11	5.6
	非該当	403	
	全体	196	100.0

(表 3-18) Q1-4-4 あなたはどのような方法で通勤していますか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりで公共交通機関を使用して通勤している	26	13.3
2	ひとりで歩いて通勤している	34	17.3
3	ひとりで車を運転して通勤している	4	2.0
4	家族に送迎してもらっている	35	17.9
5	ひとりで自転車で通勤している	16	8.2
6	誰かと一緒に公共交通機関を使用して通勤	0	0.0
7	勤務先のバス等で通勤している	79	40.3
8	家で働いているため通勤はしていない	2	1.0
9	その他	38	19.4
	不明	2	1.0
	非該当	403	
	全体	196	100.0

(表 3-19) Q2-1 あなたが使ったことのある支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるものを教えてください。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	義肢	2	0.3
2	装具	40	6.7
3	姿勢保持装置	21	3.5
4	補聴器	15	2.5
5	つえ	22	3.7
6	歩行器・歩行車	46	7.7
7	頭部保護帽	61	10.2
8	車いす	113	18.9
9	電動車いす	5	0.8
10	意思伝達装置 (コミュニケーションエイド)	13	2.2
11	特殊寝台 (マットを含む)	18	3.0
12	床ずれ防止用具	8	1.3
13	体位変換器	5	0.8
14	移動用リフト	8	1.3
15	緊急通報装置	9	1.5
16	排泄関連用具	35	5.8
17	入浴関連用具	38	6.3
18	火災警報器	73	12.2
19	自動消火器	11	1.8
20	視覚支援に関わる用具 (スケジュール管理など)	83	13.9
21	パーテーション等視覚情報を調整するもの	110	18.4
22	イヤマフなど不快な音を調整するもの	84	14.0
23	その他	11	1.8
24	使ったことがない	265	44.2
	不明	11	1.8
	全体	599	100.0

(表 3-20) Q2-2 問 2-1 で答えた支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるもので、現在も使用しているものを教えてください。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	義肢	0	0.0
2	装具	31	9.6
3	姿勢保持装置	20	6.2
4	補聴器	14	4.3
5	つえ	11	3.4
6	歩行器・歩行車	32	9.9
7	頭部保護帽	52	16.1
8	車いす	84	26.0
9	電動車いす	4	1.2
10	意思伝達装置 (コミュニケーションエイド)	5	1.5
11	特殊寝台 (マットを含む)	15	4.6
12	床ずれ防止用具	6	1.9
13	体位変換器	5	1.5
14	移動用リフト	6	1.9
15	緊急通報装置	8	2.5
16	排泄関連用具	34	10.5
17	入浴関連用具	30	9.3
18	火災警報器	72	22.3
19	自動消火器	11	3.4
20	視覚支援に関わる用具 (スケジュール管理など)	77	23.8
21	パーテーション等視覚情報を調整するもの	80	24.8
22	イヤマフなど不快な音を調整するもの	68	21.1
23	その他	14	4.3
24	現在は使用していない	31	9.6
	不明	1	0.3
	非該当	276	
	全体	323	100.0

(表 3-21) Q2-3 現在使用している支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるものに対して、改良して欲しい点はありますか。(当てはまるものを全て選んでください)... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	使い方が難しい、分かりづらい	19	6.5
2	価格が高い	85	29.2
3	使い方や調整などの支援をしてくれる人がおらず、うまく使えないこと	33	11.3
4	安全に使えない	11	3.8
5	その他	38	13.1
6	特になし	155	53.3
	不明	1	0.3
	非該当	308	
	全体	291	100.0

(表 3-22) Q2-4 問 2-1 で答えた支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるもので、使わなくなったものがあれば教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	義肢	9	3.1
2	装具	15	5.2
3	姿勢保持装置	0	0.0
4	補聴器	1	0.3
5	つえ	11	3.8
6	歩行器・歩行車	9	3.1
7	頭部保護帽	15	5.2
8	車いす	15	5.2
9	電動車いす	2	0.7
10	意思伝達装置 (コミュニケーションエイド)	0	0.0
11	特殊寝台 (マットを含む)	4	1.4
12	床ずれ防止用具	4	1.4
13	体位変換器	2	0.7
14	移動用リフト	0	0.0
15	緊急通報装置	1	0.3
16	排泄関連用具	4	1.4
17	入浴関連用具	2	0.7
18	火災警報器	2	0.7
19	自動消火器	0	0.0
20	視覚支援に関わる用具 (スケジュール管理など)	7	2.4
21	パーテーション等視覚情報を調整するもの	10	3.4
22	イヤマフなど不快な音を調整するもの	14	4.8
23	その他	3	1.0
24	使わなくなった機器はない	196	67.4
	不明	3	1.0
	非該当	308	
	全体	291	100.0

(表 3-23) Q2-5 使わなくなった理由を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	販売中止になった	1	1.1
2	使うのが難しかった	7	7.6
3	使うのがめんどくさかった	9	9.8
4	あまり効果を感じられなかった	22	23.9
5	使用時に必要な支援が受けられなかった	7	7.6
6	使用するために必要な周りの理解が得られなかった	4	4.3
7	その他	58	63.0
	不明	1	1.1
	非該当	507	
	全体	92	100.0

(表 3-24) Q3-1-1 あなたは携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)を持っていますか。... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	自分専用の携帯電話がある	194	32.4
2	誰かと共有している携帯電話	37	6.2
3	携帯電話を持っていない	366	61.1
	不明	2	0.3
	全体	599	100.0

(表 3-25) Q3-1-2 携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)を使うのはどのような時ですか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	仕事で使う	9	3.9
2	プライベートで調べ物をするとき	87	37.7
3	趣味で使う	165	71.4
4	その他	75	32.5
	不明	3	1.3
	非該当	368	
	全体	599	100.0

(表 3-26) Q3-1-3 電話... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	14	6.1
2	1日に数回	27	11.7
3	1日に1回程度	14	6.1
4	数日に1回程度	36	15.6
5	あまり使わない	130	56.3
	不明	10	4.3
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-27) Q3-1-3 メール... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	5	2.2
2	1日に数回	16	6.9
3	1日に1回程度	4	1.7
4	数日に1回程度	10	4.3
5	あまり使わない	180	77.9
	不明	16	6.9
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-28) Q3-1-3 LINE やYouTube、インスタグラム... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	82	35.5
2	1日に数回	34	14.7
3	1日に1回程度	11	4.8
4	数日に1回程度	14	6.1
5	あまり使わない	79	34.2
	不明	11	4.8
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-29) Q3-1-3 ゲーム... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	41	17.7
2	1日に数回	32	13.9
3	1日に1回程度	8	3.5
4	数日に1回程度	16	6.9
5	あまり使わない	117	50.6
	不明	17	7.4
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-30) Q3-1-3 地図... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	5	2.2
2	1日に数回	9	3.9
3	1日に1回程度	3	1.3
4	数日に1回程度	30	13.0
5	あまり使わない	167	72.3
	不明	17	7.4
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-31) Q3-1-3 カメラ・ムービー… (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	15	6.5
2	1日に数回	21	9.1
3	1日に1回程度	8	3.5
4	数日に1回程度	64	27.7
5	あまり使わない	106	45.9
	不明	17	7.4
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-32) Q3-1-3 時計… (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	29	12.6
2	1日に数回	40	17.3
3	1日に1回程度	14	6.1
4	数日に1回程度	6	2.6
5	あまり使わない	123	53.2
	不明	19	8.2
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-33) Q3-1-3 アラーム (タイマー) … (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	13	5.6
2	1日に数回	15	6.5
3	1日に1回程度	28	12.1
4	数日に1回程度	8	3.5
5	あまり使わない	150	64.9
	不明	17	7.4
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-34) Q3-1-3 スケジュール… (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	7	3.0
2	1日に数回	10	4.3
3	1日に1回程度	4	1.7
4	数日に1回程度	6	2.6
5	あまり使わない	185	80.1
	不明	19	8.2
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-35) Q3-1-3 インターネット（検索）... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	60	26.0
2	1日に数回	46	19.9
3	1日に1回程度	10	4.3
4	数日に1回程度	8	3.5
5	あまり使わない	92	39.8
	不明	15	6.5
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-36) Q3-1-3 計算機... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	7	3.0
2	1日に数回	7	3.0
3	1日に1回程度	5	2.2
4	数日に1回程度	23	10.0
5	あまり使わない	172	74.5
	不明	17	7.4
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-37) Q3-1-3 音楽再生... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	48	20.8
2	1日に数回	26	11.3
3	1日に1回程度	12	5.2
4	数日に1回程度	12	5.2
5	あまり使わない	118	51.1
	不明	15	6.5
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-38) Q3-1-3 メモ... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	9	3.9
2	1日に数回	6	2.6
3	1日に1回程度	4	1.7
4	数日に1回程度	11	4.8
5	あまり使わない	184	79.7
	不明	17	7.4
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-39) Q3-1-3 ボイスメモ（録音）...（S A）

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	2	0.9
2	1日に数回	2	0.9
3	1日に1回程度	1	0.4
4	数日に1回程度	7	3.0
5	あまり使わない	201	87.0
	不明	18	7.8
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-40) Q3-1-3 テレビ電話...（S A）

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	3	1.3
2	1日に数回	3	1.3
3	1日に1回程度	3	1.3
4	数日に1回程度	16	6.9
5	あまり使わない	188	81.4
	不明	18	7.8
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-41) Q3-1-3 コミュニケーションエイド...（S A）

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	5	2.2
2	1日に数回	9	3.9
3	1日に1回程度	0	0.0
4	数日に1回程度	5	2.2
5	あまり使わない	194	84.0
	不明	18	7.8
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-42) Q3-1-3 その他...（S A）

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	8	3.5
2	1日に数回	7	3.0
3	1日に1回程度	2	0.9
4	数日に1回程度	5	2.2
5	あまり使わない	48	20.8
	不明	161	69.7
	非該当	368	
	全体	231	100.0

(表 3-43) Q3-2-1 あなたはパソコンを持っていますか。…(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	自分専用のパソコンを持っている	31	5.2
2	誰かと共有しているパソコンがある	50	8.3
3	パソコンを持っていない	511	85.3
	不明	7	1.2
	全体	599	100.0

(表 3-44) Q3-2-2 パソコンを使用するのはどのような時ですか。(当てはまるものを全て選んでください) …(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	仕事で使う	3	3.7
2	プライベートで調べ物をするとき	33	40.7
3	本を読む	1	1.2
4	本を読み上げてもらう	0	0.0
5	学習で使う	17	21.0
6	趣味で使う	58	71.6
7	その他	10	12.3
	不明	1	1.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-45) Q3-2-3 インターネット (検索) …(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	14	17.3
2	1日に数回	14	17.3
3	1日に1回程度	8	9.9
4	数日に1回程度	14	17.3
5	あまり使わない	27	33.3
	不明	4	4.9
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-46) Q3-2-3 メール…(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	0	0.0
2	1日に数回	0	0.0
3	1日に1回程度	2	2.5
4	数日に1回程度	0	0.0
5	あまり使わない	74	91.4
	不明	5	6.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-47) Q3-2-3 LINE やYouTube、インスタグラム... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	14	17.3
2	1日に数回	7	8.6
3	1日に1回程度	5	6.2
4	数日に1回程度	6	7.4
5	あまり使わない	46	56.8
	不明	3	3.7
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-48) Q3-2-3 オンラインミーティング... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	0	0.0
2	1日に数回	0	0.0
3	1日に1回程度	1	1.2
4	数日に1回程度	3	3.7
5	あまり使わない	72	88.9
	不明	5	6.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-49) Q3-2-3 ゲーム... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	6	7.4
2	1日に数回	7	8.6
3	1日に1回程度	1	1.2
4	数日に1回程度	9	11.1
5	あまり使わない	54	66.7
	不明	4	4.9
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-50) Q3-2-3 ワード・エクセル・パワーポイント... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	1	1.2
2	1日に数回	3	3.7
3	1日に1回程度	4	4.9
4	数日に1回程度	11	13.6
5	あまり使わない	57	70.4
	不明	5	6.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-51) Q3-2-3 電子図書...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	0	0.0
2	1日に数回	1	1.2
3	1日に1回程度	1	1.2
4	数日に1回程度	3	3.7
5	あまり使わない	71	87.7
	不明	5	6.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-52) Q3-2-3 読み上げ機能...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	1	1.2
2	1日に数回	0	0.0
3	1日に1回程度	1	1.2
4	数日に1回程度	1	1.2
5	あまり使わない	73	90.1
	不明	5	6.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-53) Q3-2-3 その他...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1日に何度も	3	3.7
2	1日に数回	0	0.0
3	1日に1回程度	0	0.0
4	数日に1回程度	1	1.2
5	あまり使わない	16	19.8
	不明	61	75.3
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-54) Q3-2-4 1日のうち何時間ぐらいパソコンを使っていますか。...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1時間未満	41	50.6
2	1時間以上～4時間未満	30	37.0
3	4時間以上～7時間未満	6	7.4
4	7時間以上～10時間未満	3	3.7
5	10時間以上	0	0.0
	不明	1	1.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-55) Q3-3-1 携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）を使っていて、困ったことはありませんか。（当てはまるものを全て選んでください）... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	操作方法が難しい、分からない	12	14.8
2	使い方を支援してくれる人がいない	6	7.4
3	トラブルが起きた時に対応できない	41	50.6
4	無料か有料かを判断しづらい	27	33.3
5	その他（具体的に書いてください）	12	14.8
6	特にない	19	23.5
	不明	2	2.5
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-56) Q3-3-2 パソコンを使用していて、使いづらかったり不便に思うことはありませんか。（当てはまるものを全て選んでください）... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	操作方法が難しい、分からない	16	19.8
2	使い方を支援してくれる人がいない	9	11.1
3	トラブルが起きた時に対応できない	41	50.6
4	無料か有料かを判断しづらい	27	33.3
5	その他（具体的に書いてください）	7	8.6
6	特にない	22	27.2
	不明	1	1.2
	非該当	518	
	全体	81	100.0

(表 3-57) Q4-1-1 ふだんの生活で、不便だと思うことはありませんか。（当てはまるものを全て選んでください）... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	食事をするとき	98	16.4
2	トイレに行くとき	134	22.4
3	着替えをするとき	99	16.5
4	お風呂・シャワーのとき	147	24.5
5	洗顔・歯磨きのとき	107	17.9
6	起きるとき/寝るとき	66	11.0
7	お金の管理をするとき	250	41.7
8	薬を管理するとき	181	30.2
9	外出するとき	261	43.6
10	買い物をするとき	240	40.1
11	家事をするとき	126	21.0
12	人とコミュニケーションを取るとき	298	49.7
13	その他	26	4.3
14	特にない	136	22.7
	不明	6	1.0
	全体	599	100.0

(表 3-58) Q4-1-2 それは、具体的にどのようなことですか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	お金の支払いが難しい	247	41.2
2	公共交通機関に乗るのが難しい	226	37.7
3	公共施設(役所・公民館・図書館)を使うのが難しい	195	32.6
4	医療費が多くかかる	33	5.5
5	周りの人の理解が少ない	155	25.9
6	自分の言いたいことが伝わらない	323	53.9
7	トイレのタイミングが伝えられない、わからない	100	16.7
8	介助してくれる人がいない	42	7.0
9	生活費が足りない	35	5.8
10	その他	72	12.0
11	特にない	127	21.2
	不明	15	2.5
	全体	599	100.0

(表 3-59) Q4-2-1 仕事について、困ったと思ったことはありますか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	自分に合ったお仕事がわからない	130	21.7
2	自分にとって働きやすいところがわからない	93	15.5
3	仕事をさがすとき	51	8.5
4	仕事を見つけたとき	22	3.7
5	面接をするとき	46	7.7
6	就労時の手続きのとき	47	7.8
7	仕事に行くとき/帰るとき	44	7.3
8	工作中	50	8.3
9	仕事を変えたいとき	32	5.3
10	何か困ったときに相談できる場所がない	29	4.8
11	その他	71	11.9
12	特にない	330	55.1
	不明	18	3.0
	全体	599	100.0

(表 3-60) Q4-2-2 困ったと思ったのはどんなことでしたか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	書類の内容が分かりづらい	98	16.4
2	相談相手がいらない	36	6.0
3	WEBミーティングの使い方が分からない	61	10.2
4	コミュニケーションを取りづらい	146	24.4
5	作業内容が分かりづらい	78	13.0
6	障害のことを理解した支援を受けることができない	59	9.8
7	その他	47	7.8
8	特にない	332	55.4
	不明	25	4.2
	全体	599	100.0

(表 3-61) Q4-3-1 おたのしみの時間で困る・不便な「場面」はありますか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	旅行へ行くとき	218	36.4
2	スポーツをするとき	106	17.7
3	地域の行事や活動に参加するとき	183	30.6
4	テレビ・ビデオ・ゲーム等をするとき	88	14.7
5	映画・コンサート・美術館・カラオケ等にいくとき	149	24.9
6	友人などとの日程調整ができない	64	10.7
7	その他	57	9.5
8	特にない	254	42.4
	不明	17	2.8
	全体	599	100.0

(表 3-62) Q4-3-2 余暇で困る・不便な「内容」はありますか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	お店に入りづらい	130	21.7
2	支援してくれる人がいない	93	15.5
3	サービス・ルール等の内容が分かりづらい	215	35.9
4	施設の設備の使い方がわからない	150	25.0
5	いろいろな情報を手に入れにくい	151	25.2
6	障害のことを理解した支援を受けることができない	155	25.9
7	その他	45	7.5
8	特にない	235	39.2
	不明	15	2.5
	全体	599	100.0

(表 3-63) Q5-1 どのような助けがあればいいと思いますか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	コミュニケーション	362	60.4
2	移動	295	49.2
3	食事	168	28.0
4	入浴支援	166	27.7
5	排泄	146	24.4
6	スケジュール管理	178	29.7
7	時間の管理	202	33.7
8	お金の管理	323	53.9
9	ICT機器の利用	127	21.2
10	その他	76	12.7
	不明	24	4.0
	全体	599	100.0

(表 3-64) Q5-2-1 環境改善や支援機器を使ってやりたいこと/出来るようになりたいことはありますか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	他の人といろいろな話をしてみたい	206	34.4
2	スムーズに移動したい	172	28.7
3	お金を管理したい	131	21.9
4	落ち着いて生活や仕事がしたい	305	50.9
5	こんな仕事をしてみたい	13	2.2
6	その他	63	10.5
	不明	29	4.8
	全体	599	100.0

(表 3-65) Q5-2-3 ロボットや ICT (情報通信技術)、AI (人工知能) の開発がもっと進んだらどうなってほしいですか。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	日常生活が便利になる	460	76.8
2	働きやすくなる	106	17.7
3	好きなことにもっと挑戦できる	215	35.9
4	その他	74	12.4
	不明	25	4.2
	全体	599	100.0

(表 3-66) Q5-2-4 環境改善や福祉用具において、重視する特徴は何でしょう。(当てはまるものを全て選んでください) ... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	操作が簡単になる	465	77.6
2	持ち運びしやすい大きさ	256	42.7
3	かっこいい	100	16.7
4	安い	263	43.9
5	こわれにくい	295	49.2
6	その他	48	8.0
	不明	27	4.5
	全体	599	100.0

(3) クロス集計結果

対象者を本人、家族（父親、母親、兄・弟、姉・妹）、職員（学校の職員、施設職員）でグループ化、使ったことがある支援機器の数量（0個、1個、2-3個、4個以上）で実施。

(表 3-67) F1 はじめに、アンケートの回答者についてお伺いいたします。あなたは、障害者本人ですか。

		合計	はい	いいえ	不明
	全体	599	114	483	2
		100.0	19.0	80.6	0.3
F1 本人か、それ以外か	本人	114	114	-	-
		100.0	100.0	-	-
F2 家族・職員	家族	164	-	164	-
		100.0	-	100.0	-
	職員	311	-	311	-
		100.0	-	100.0	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-
	2-3個	160	23	137	-
		100.0	14.4	85.6	-
	4個以上	64	4	60	-
		100.0	6.3	93.8	-

(表 3-68) F2 前の問いで「いいえ」を選択された方にお尋ねします。あなたは、アンケートの対象者の方との関係を教えてください。

		合計	母親	父親	兄・弟	姉・妹	学校の職員	施設職員	その他	不明	非該当
	全体	483	145	17	1	1	7	304	5	3	116
		100.0	30.0	3.5	0.2	0.2	1.4	62.9	1.0	0.6	-
F1 本人か、それ以外か	本人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	114
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
F2 家族・職員	家族	164	145	17	1	1	-	-	-	-	-
		100.0	88.4	10.4	0.6	0.6	-	-	-	-	-
	職員	311	-	-	-	-	7	304	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	2.3	97.7	-	-	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	137	44	3	-	-	1	89	-	-	23
		100.0	32.1	2.2	-	-	0.7	65.0	-	-	-
	4個以上	60	17	-	-	-	3	40	-	-	4
		100.0	28.3	-	-	-	5.0	66.7	-	-	-

(表 3-69) F3 アンケートの回答方法を教えてください。

		合計	障害者本人が回答する	障害者本人と支援者で回答する	支援者（代理人）が回答する	不明
	全体	599	41	226	320	12
		100.0	6.8	37.7	53.4	2.0
F1 本人か、それ以外か	本人	114	34	71	4	5
		100.0	29.8	62.3	3.5	4.4
F2 家族・職員	家族	164	6	87	69	2
		100.0	3.7	53.0	42.1	1.2
	職員	311	1	67	241	2
		100.0	0.3	21.5	77.5	0.6
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-
	2-3個	160	7	55	97	1
		100.0	4.4	34.4	60.6	0.6
	4個以上	64	1	18	45	-
		100.0	1.6	28.1	70.3	-

(表 3-70) Q1-1 あなたは何歳ですか。

	合計	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
	全体	599	25	126	108	91	101	83	39	25
		100.0	4.2	21.0	18.0	15.2	16.9	13.9	6.5	4.2
F1 本人か、それ以外か	本人	114	2	31	20	15	19	16	5	5
		100.0	1.8	27.2	17.5	13.2	16.7	14.0	4.4	4.4
F2 家族・職員	家族	164	18	57	44	25	10	4	2	4
		100.0	11.0	34.8	26.8	15.2	6.1	2.4	1.2	2.4
	職員	311	5	38	43	48	70	62	29	16
		100.0	1.6	12.2	13.8	15.4	22.5	19.9	9.3	5.1
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	9	41	34	26	12	16	11	11
		100.0	5.6	25.6	21.3	16.3	7.5	10.0	6.9	6.9
	4個以上	64	1	12	9	7	16	9	5	5
		100.0	1.6	18.8	14.1	10.9	25.0	14.1	7.8	7.8

(表 3-71) Q1-2-1 あなたの障害支援区分を教えてください。

	合計	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	非該当	わからない	不明
	全体	599	9	27	41	80	90	168	37	140
		100.0	1.5	4.5	6.8	13.4	15.0	28.0	6.2	23.4
F1 本人か、それ以外か	本人	114	5	7	6	16	8	10	13	45
		100.0	4.4	6.1	5.3	14.0	7.0	8.8	11.4	39.5
F2 家族・職員	家族	164	2	11	12	23	14	28	5	67
		100.0	1.2	6.7	7.3	14.0	8.5	17.1	3.0	40.9
	職員	311	1	7	20	40	67	129	19	28
		100.0	0.3	2.3	6.4	12.9	21.5	41.5	6.1	9.0
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	1	2	12	17	19	69	16	23
		100.0	0.6	1.3	7.5	10.6	11.9	43.1	10.0	14.4
	4個以上	64	-	1	1	7	9	32	1	13
		100.0	-	1.6	1.6	10.9	14.1	50.0	1.6	20.3

(表 3-72) Q1-2-2 あなたの障害の程度を教えてください。

		合計	軽度	中度	重度	最重度	わからない	不明
	全体	599	113	120	209	112	33	12
		100.0	18.9	20.0	34.9	18.7	5.5	2.0
F1 本人か、それ以外か	本人	114	59	27	15	2	8	3
		100.0	51.8	23.7	13.2	1.8	7.0	2.6
F2 家族・職員	家族	164	21	37	61	37	7	1
		100.0	12.8	22.6	37.2	22.6	4.3	0.6
	職員	311	32	53	129	72	17	8
		100.0	10.3	17.0	41.5	23.2	5.5	2.6
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	22	31	52	52	3	-
		100.0	13.8	19.4	32.5	32.5	1.9	-
	4個以上	64	4	9	28	18	5	-
		100.0	6.3	14.1	43.8	28.1	7.8	-

(表 3-73) Q1-2-3 あなたは障害者手帳を持っていますか。

		合計	手帳を持っています	手帳を持っていない	分からない	不明
	全体	599	560	29	8	2
		100.0	93.5	4.8	1.3	0.3
F1 本人か、それ以外か	本人	114	104	6	2	2
		100.0	91.2	5.3	1.8	1.8
F2 家族・職員	家族	164	152	11	1	-
		100.0	92.7	6.7	0.6	-
	職員	311	294	12	5	-
		100.0	94.5	3.9	1.6	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-
	2-3個	160	154	4	2	-
		100.0	96.3	2.5	1.3	-
	4個以上	64	62	2	-	-
		100.0	96.9	3.1	-	-

(表 3-74) Q1-2-4 療育手帳

		合計	重度 (A、A1、A2 など)	その他 (B、B1、B2、B3)	わからない	不明	非該当
	全体	560	326	203	16	15	39
		100.0	58.2	36.3	2.9	2.7	-
F1 本人か、それ以外か	本人	104	16	79	7	2	10
		100.0	15.4	76.0	6.7	1.9	-
F2 家族・職員	家族	152	97	50	-	5	12
		100.0	63.8	32.9	-	3.3	-
	職員	294	210	69	8	7	17
		100.0	71.4	23.5	2.7	2.4	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-
	2-3個	154	99	50	-	5	6
		100.0	64.3	32.5	-	3.2	-
	4個以上	62	44	13	4	1	2
		100.0	71.0	21.0	6.5	1.6	-

(表 3-75) Q1-2-4 身体障害者手帳

		合計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	わから ない	不明	非該当
	全体	560	56	15	13	10	2	7	93	364	39
		100.0	10.0	2.7	2.3	1.8	0.4	1.3	16.6	65.0	
F1 本人か、 それ以外か	本人	104	6	3	1	-	-	-	14	80	10
		100.0	5.8	2.9	1.0	-	-	-	13.5	76.9	
F2 家族・職 員	家族	152	10	5	4	4	1	3	19	106	12
		100.0	6.6	3.3	2.6	2.6	0.7	2.0	12.5	69.7	
	職員	294	39	7	8	6	1	4	60	169	17
		100.0	13.3	2.4	2.7	2.0	0.3	1.4	20.4	57.5	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	154	23	5	7	4	2	1	18	94	6
		100.0	14.9	3.2	4.5	2.6	1.3	0.6	11.7	61.0	
	4個以上	62	16	5	3	2	-	1	11	24	2
		100.0	25.8	8.1	4.8	3.2	-	1.6	17.7	38.7	

(表 3-76) Q1-2-4 精神障害者保健福祉手帳

		合計	1 級	2 級	3 級	わから ない	不明	非該当
	全体	560	8	15	5	137	395	39
		100.0	1.4	2.7	0.9	24.5	70.5	
F1 本人か、 それ以外か	本人	104	1	6	4	15	78	10
		100.0	1.0	5.8	3.8	14.4	75.0	
F2 家族・職 員	家族	152	4	6	-	32	110	12
		100.0	2.6	3.9	-	21.1	72.4	
	職員	294	3	3	1	88	199	17
		100.0	1.0	1.0	0.3	29.9	67.7	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	154	1	5	-	40	108	6
		100.0	0.6	3.2	-	26.0	70.1	
	4個以上	62	2	4	-	17	39	2
		100.0	3.2	6.5	-	27.4	62.9	

(表 3-77) Q1-2-5 あなたが2種類以上の障害を持つ場合は、その障害名（これまでに判定又は診断されたもの）を教えてください。（当てはまるものを全て選んでください）

		合計	ASD（自 閉スペク トラム 症）	ADHD（注 意欠如多 動症）	LD（学習 障害）	抑うつ	双極性障 害（双極 症）	全般的性不 安障害（全 般不安症）	ダウン症	その他	わから ない	不明
	全体	599	225	38	13	7	4	3	38	125	104	126
		100.0	37.6	6.3	2.2	1.2	0.7	0.5	6.3	20.9	17.4	21.0
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	32	11	1	2	-	1	2	17	34	31
		100.0	28.1	9.6	0.9	1.8	-	0.9	1.8	14.9	29.8	27.2
F2 家族・職 員	家族	164	95	11	9	1	1	1	17	40	11	16
		100.0	57.9	6.7	5.5	0.6	0.6	0.6	10.4	24.4	6.7	9.8
	職員	311	98	16	3	4	3	1	18	66	58	73
		100.0	31.5	5.1	1.0	1.3	1.0	0.3	5.8	21.2	18.6	23.5
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	75	6	2	2	1	2	7	37	16	31
		100.0	46.9	3.8	1.3	1.3	0.6	1.3	4.4	23.1	10.0	19.4
	4個以上	64	24	5	2	2	1	1	7	18	11	12
		100.0	37.5	7.8	3.1	3.1	1.6	1.6	10.9	28.1	17.2	18.8

(表 3-78) Q1-3-1 あなたがいま、住んでいるお家について教えてください。

		合計	一軒家	マンション・アパート	グループホーム	病院に入 院してい る	施設に入 所してい る	その他	不明
	全体	599	230	86	105	2	170	13	2
		100.0	38.4	14.4	17.5	0.3	28.4	2.2	0.3
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	40	23	20	-	27	6	-
		100.0	35.1	20.2	17.5	-	23.7	5.3	-
F2 家族・職 員	家族	164	120	29	15	-	2	4	-
		100.0	73.2	17.7	9.1	-	1.2	2.4	-
	職員	311	63	33	69	2	141	3	1
		100.0	20.3	10.6	22.2	0.6	45.3	1.0	0.3
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	62	15	23	1	56	5	1
		100.0	38.8	9.4	14.4	0.6	35.0	3.1	0.6
	4個以上	64	18	7	6	1	33	-	-
		100.0	28.1	10.9	9.4	1.6	51.6	-	-

(表 3-79) Q1-3-2 あなたのお家には、あなたを含め何人で住んでいますか。

		合計	ご回答者の み	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以 上	不明	非該当
	全体	314	8	35	128	93	30	13	3	1	-	-	3	285
		100.0	2.5	11.1	40.8	29.6	9.6	4.1	1.0	0.3	-	-	1.0	-
F1 本人か、 それ以外か	本人	63	6	7	23	15	8	2	-	1	-	-	1	51
		100.0	9.5	11.1	36.5	23.8	12.7	3.2	-	1.6	-	-	1.6	-
F2 家族・職 員	家族	149	-	14	57	55	12	9	2	-	-	-	-	15
		100.0	-	9.4	38.3	36.9	8.1	6.0	1.3	-	-	-	-	-
	職員	94	1	14	45	21	8	2	1	-	-	-	2	217
		100.0	1.1	14.9	47.9	22.3	8.5	2.1	1.1	-	-	-	2.1	-
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	76	-	5	32	27	8	3	1	-	-	-	-	84
		100.0	-	6.6	42.1	35.5	10.5	3.9	1.3	-	-	-	-	-
	4個以上	25	-	3	11	7	-	4	-	-	-	-	-	39
		100.0	-	12.0	44.0	28.0	-	16.0	-	-	-	-	-	-

(表 3-80) Q1-3-3 あなたのお家に一緒に住んでいる人は誰ですか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	自分ひと りだけで 暮らして いる	夫や妻 (配偶 者)	子ども (子ども の妻や 夫)	父、母 (親)	自分のお じいさん、おば あさん	兄弟・姉 妹	その他親 せき	友人・知 り合い	支援者・ 施設職員	その他	不明
	全体	599	13	6	4	309	32	137	7	16	185	139	6
		100.0	2.2	1.0	0.7	51.6	5.3	22.9	1.2	2.7	30.9	23.2	1.0
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	9	2	1	52	7	30	2	2	25	34	2
		100.0	7.9	1.8	0.9	45.6	6.1	26.3	1.8	1.8	21.9	29.8	1.8
F2 家族・職 員	家族	164	1	2	1	147	18	72	2	2	10	8	1
		100.0	0.6	1.2	0.6	89.6	11.0	43.9	1.2	1.2	6.1	4.9	0.6
	職員	311	2	1	1	102	5	33	2	12	150	96	3
		100.0	0.6	0.3	0.3	32.8	1.6	10.6	0.6	3.9	48.2	30.9	1.0
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	1	1	2	78	11	34	2	4	50	46	-
		100.0	0.6	0.6	1.3	48.8	6.9	21.3	1.3	2.5	31.3	28.8	-
	4個以上	64	-	-	-	27	2	11	-	2	34	7	-
		100.0	-	-	-	42.2	3.1	17.2	-	3.1	53.1	10.9	-

(表 3-81) Q1-4-1 あなたは仕事をしていますか。

		合計	仕事を している	仕事を していない	不明
	全体	599	196	402	1
		100.0	32.7	67.1	0.2
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	54	60	-
		100.0	47.4	52.6	-
F2 家族・職 員	家族	164	53	111	-
		100.0	32.3	67.7	-
	職員	311	83	227	1
		100.0	26.7	73.0	0.3
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-
	2-3個	160	37	123	-
		100.0	23.1	76.9	-
	4個以上	64	10	54	-
		100.0	15.6	84.4	-

(表 3-82) Q1-4-2 あなたはどんな仕事をしていますか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	正社員・ 正職員と して働い ている	パート・ア ルバイト・ 日雇いで働 いている	障害のある 方が通う施 設で、もの を作ったり 作業したり	家の仕事 の手伝い (自営 業)	その他	不明	非該当
	全体	196	9	11	178	2	3	-	403
		100.0	4.6	5.6	90.8	1.0	1.5	-	-
F1 本人か、 それ以外か	本人	54	2	2	51	2	1	-	60
		100.0	3.7	3.7	94.4	3.7	1.9	-	-
F2 家族・職 員	家族	53	3	4	47	-	-	-	111
		100.0	5.7	7.5	88.7	-	-	-	-
	職員	83	4	4	75	-	2	-	228
		100.0	4.8	4.8	90.4	-	2.4	-	-
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	37	2	-	36	1	-	-	123
		100.0	5.4	-	97.3	2.7	-	-	-
	4個以上	10	2	1	7	-	1	-	54
		100.0	20.0	10.0	70.0	-	10.0	-	-

(表 3-83) Q1-4-3 どのような仕事ですか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	事務職	販売業	サービ ス業	運輸業	製造・加 工業	その他	不明	非該当
	全体	196	2	8	10	2	77	100	11	403
		100.0	1.0	4.1	5.1	1.0	39.3	51.0	5.6	-
F1 本人か、 それ以外か	本人	54	1	3	2	1	23	28	3	60
		100.0	1.9	5.6	3.7	1.9	42.6	51.9	5.6	-
F2 家族・職 員	家族	53	1	2	4	1	23	24	2	111
		100.0	1.9	3.8	7.5	1.9	43.4	45.3	3.8	-
	職員	83	-	3	4	-	28	45	6	228
		100.0	-	3.6	4.8	-	33.7	54.2	7.2	-
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	37	1	2	1	1	14	21	2	123
		100.0	2.7	5.4	2.7	2.7	37.8	56.8	5.4	-
	4個以上	10	1	1	2	1	6	2	-	54
		100.0	10.0	10.0	20.0	10.0	60.0	20.0	-	-

(表 3-84) Q1-4-4 あなたはどのような方法で通勤していますか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	ひとりで公共交通機関を使用して通勤している	ひとりで歩いて通勤している	ひとりで車を運転して通勤している	家族に送迎してもらっている	ひとりで自転車通勤している	誰かと一緒に公共交通機関を使用して通勤している	勤務先のバス等で通勤している	家で働いているため通勤はしていない	その他	不明	非該当
	全体	196	26	34	4	35	16	-	79	2	38	2	403
		100.0	13.3	17.3	2.0	17.9	8.2	-	40.3	1.0	19.4	1.0	
F1 本人か、それ以外か	本人	54	7	12	1	6	5	-	23	-	7	-	60
		100.0	13.0	22.2	1.9	11.1	9.3	-	42.6	-	13.0	-	
F2 家族・職員	家族	53	11	5	-	9	5	-	27	-	5	-	111
		100.0	20.8	9.4	-	17.0	9.4	-	50.9	-	9.4	-	
	職員	83	7	17	3	18	5	-	26	2	25	2	228
		100.0	8.4	20.5	3.6	21.7	6.0	-	31.3	2.4	30.1	2.4	
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	37	2	1	1	9	3	-	21	1	6	-	123
		100.0	5.4	2.7	2.7	24.3	8.1	-	56.8	2.7	16.2	-	
	4個以上	10	4	4	1	2	-	-	4	1	2	-	54
		100.0	40.0	40.0	10.0	20.0	-	-	40.0	10.0	20.0	-	

(表 3-85) Q2-1 あなたが使ったことのある支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるものを教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置(コミュニケーションエンディ)	特殊寝台(マットを含む)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
	全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
		100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
F1 本人か、それ以外か	本人	114	-	4	-	3	5	6	6	14	1	3	1	-	-	-
		100.0	-	3.5	-	2.6	4.4	5.3	5.3	12.3	0.9	2.6	0.9	-	-	-
F2 家族・職員	家族	164	1	20	9	4	2	9	9	18	-	8	2	-	1	-
		100.0	0.6	12.2	5.5	2.4	1.2	5.5	5.5	11.0	-	4.9	1.2	-	0.6	-
	職員	311	1	16	12	8	15	31	46	81	4	2	15	8	4	8
		100.0	0.3	5.1	3.9	2.6	4.8	10.0	14.8	26.0	1.3	0.6	4.8	2.6	1.3	2.6
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	1	14	9	5	7	16	25	50	3	7	3	2	2	1
		100.0	0.6	8.8	5.6	3.1	4.4	10.0	15.6	31.3	1.9	4.4	1.9	1.3	1.3	0.6
	4個以上	64	-	20	11	4	14	29	30	47	2	6	15	6	3	7
		100.0	-	31.3	17.2	6.3	21.9	45.3	46.9	73.4	3.1	9.4	23.4	9.4	4.7	10.9

		合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	バーナー・シェン等視覚情報を調整するもの	イヤホンなど不快感を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
	全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
		100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.9	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
F1 本人か、それ以外か	本人	114	-	3	5	7	2	7	9	14	2	63	4
		100.0	-	2.6	4.4	6.1	1.8	6.1	7.9	12.3	1.8	55.3	3.5
F2 家族・職員	家族	164	-	3	2	7	-	44	45	39	5	73	-
		100.0	-	1.8	1.2	4.3	-	26.8	27.4	23.8	3.0	44.5	-
	職員	311	9	29	31	58	9	32	56	30	4	122	6
		100.0	2.9	9.3	10.0	18.6	2.9	10.3	18.0	9.6	1.3	39.2	1.9
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	1	18	10	37	5	54	68	41	5	-	-
		100.0	0.6	11.3	6.3	23.1	3.1	33.8	42.5	25.6	3.1	-	-
	4個以上	64	8	16	27	25	6	18	27	24	3	-	-
		100.0	12.5	25.0	42.2	39.1	9.4	28.1	42.2	37.5	4.7	-	-

(表 3-86) Q2-2 問 2-1 で答えた支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるもので、現在も使用しているものを教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置(コミュニケーションエンド)	特殊寝台(マットを含む。)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
	全体	323	-	31	20	14	11	32	52	84	4	5	15	6	5	6
		100.0	-	9.6	6.2	4.3	3.4	9.9	16.1	26.0	1.2	1.5	4.6	1.9	1.5	1.9
F1 本人か、それ以外か	本人	47	-	4	-	4	3	4	3	6	1	-	1	-	-	-
		100.0	-	8.5	-	8.5	6.4	8.5	6.4	12.8	2.1	-	2.1	-	-	-
F2 家族・職員	家族	91	-	15	9	3	1	5	7	15	-	3	1	-	1	-
		100.0	-	16.5	9.9	3.3	1.1	5.5	7.7	16.5	-	3.3	1.1	-	1.1	-
	職員	183	-	12	11	7	7	23	42	63	3	2	13	6	4	6
		100.0	-	6.6	6.0	3.8	3.8	12.6	23.0	34.4	1.6	1.1	7.1	3.3	2.2	3.3
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	-	6	7	6	4	11	20	32	3	4	4	1	1	1
		100.0	-	3.8	4.4	3.8	2.5	6.9	12.5	20.0	1.9	2.5	2.5	0.6	0.6	0.6
	4個以上	64	-	19	12	3	7	20	28	39	1	-	10	5	4	5
		100.0	-	29.7	18.8	4.7	10.9	31.3	43.8	60.9	1.6	-	15.6	7.8	6.3	7.8

		合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤーマフなど不快な音を調整するもの	その他	現在は使っていない	不明	非該当
	全体	323	8	34	30	72	11	77	80	68	14	31	1	276
		100.0	2.5	10.5	9.3	22.3	3.4	23.8	24.8	21.1	4.3	9.6	0.3	-
F1 本人か、それ以外か	本人	47	1	3	5	6	2	6	6	11	1	12	-	67
		100.0	2.1	6.4	10.6	12.8	4.3	12.8	12.8	23.4	2.1	25.5	-	-
F2 家族・職員	家族	91	-	3	1	6	-	41	28	27	7	11	1	73
		100.0	-	3.3	1.1	6.6	-	45.1	30.8	29.7	7.7	12.1	1.1	-
	職員	183	7	28	24	60	9	30	46	29	6	7	-	128
		100.0	3.8	15.3	13.1	32.8	4.9	16.4	25.1	15.8	3.3	3.8	-	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	2	20	9	36	5	49	53	31	5	15	-	-
		100.0	1.3	12.5	5.6	22.5	3.1	30.6	33.1	19.4	3.1	9.4	-	-
	4個以上	64	6	12	20	24	5	14	15	20	6	-	-	-
		100.0	9.4	18.8	31.3	37.5	7.8	21.9	23.4	31.3	9.4	-	-	-

(表 3-87) Q2-3 現在使用している支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるものに対して、改良して欲しい点がありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	使い方が難しい、分かりづらい	価格が高い	使い方や調整などの支援をしてくれ	安全に使用できない	その他	特にな	不明	非該当
	全体	291	19	85	33	11	38	155	1	308
		100.0	6.5	29.2	11.3	3.8	13.1	53.3	0.3	-
F1 本人か、それ以外か	本人	35	2	13	2	1	3	19	-	79
		100.0	5.7	37.1	5.7	2.9	8.6	54.3	-	-
F2 家族・職員	家族	79	4	28	16	4	20	29	-	85
		100.0	5.1	35.4	20.3	5.1	25.3	36.7	-	-
	職員	176	13	44	15	6	15	106	1	135
		100.0	7.4	25.0	8.5	3.4	8.5	60.2	0.6	-
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	145	8	36	14	5	24	80	-	15
		100.0	5.5	24.8	9.7	3.4	16.6	55.2	-	-
	4個以上	64	8	33	11	3	9	22	-	-
		100.0	12.5	51.6	17.2	4.7	14.1	34.4	-	-

(表 3-88) Q2-4 問 2-1 で答えた支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるもので、使わなくなったものがあれば教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置(コミュニケーションエンディ)	特殊寝台(マットを含む。)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
	全体	291	9	15	-	1	11	9	15	15	2	-	4	4	2	-
		100.0	3.1	5.2	-	0.3	3.8	3.1	5.2	5.2	0.7	-	1.4	1.4	0.7	-
F1	本人か、それ以外か	35	4	2	-	-	3	1	3	2	1	-	-	1	-	-
		100.0	11.4	5.7	-	-	8.6	2.9	8.6	5.7	2.9	-	-	2.9	-	-
F2	家族・職員	79	5	7	-	1	1	3	-	1	-	-	-	1	-	-
	家族	100.0	6.3	8.9	-	1.3	1.3	3.8	-	1.3	-	-	-	1.3	-	-
	職員	176	-	6	-	-	7	5	12	12	1	-	4	2	2	-
		100.0	-	3.4	-	-	4.0	2.8	6.8	6.8	0.6	-	2.3	1.1	1.1	-
Q2-1	使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	145	3	6	-	1	2	3	8	7	2	-	1	1	1	-
		100.0	2.1	4.1	-	0.7	1.4	2.1	5.5	4.8	1.4	-	0.7	0.7	0.7	-
	4個以上	64	6	5	-	-	7	6	5	7	-	-	2	1	1	-
		100.0	9.4	7.8	-	-	10.9	9.4	7.8	10.9	-	-	3.1	1.6	1.6	-

		合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤホンなど不快な音を調整するもの	その他	使わなくなった機器はない	不明	非該当
	全体	291	1	4	2	2	-	7	10	14	3	196	3	308
		100.0	0.3	1.4	0.7	0.7	-	2.4	3.4	4.8	1.0	67.4	1.0	-
F1	本人か、それ以外か	35	-	-	1	1	-	-	1	2	-	21	-	79
		100.0	-	-	2.9	2.9	-	-	2.9	5.7	-	60.0	-	-
F2	家族・職員	79	-	1	-	1	-	5	6	7	2	48	1	85
	家族	100.0	-	1.3	-	1.3	-	6.3	7.6	8.9	2.5	60.8	1.3	-
	職員	176	1	3	1	-	-	2	3	5	1	126	2	135
		100.0	0.6	1.7	0.6	-	-	1.1	1.7	2.8	0.6	71.6	1.1	-
Q2-1	使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	145	1	-	1	2	-	4	7	5	2	100	-	15
		100.0	0.7	-	0.7	1.4	-	2.8	4.8	3.4	1.4	69.0	-	-
	4個以上	64	-	4	1	-	-	2	3	4	-	30	-	-
		100.0	-	6.3	1.6	-	-	3.1	4.7	6.3	-	46.9	-	-

(表 3-89) Q2-5 使わなくなった理由を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	販売中止になった	使うのが難しかった	使うのがめんどくさかった	あまり効果を感じられなかった	使用時に必要な支援が受けられなかった	使用するために必要な周りの理解が得られなかった	その他	不明	非該当
	全体	92	1	7	9	22	7	4	58	1	507
		100.0	1.1	7.6	9.8	23.9	7.6	4.3	63.0	1.1	-
F1	本人か、それ以外か	14	1	-	3	2	-	2	8	-	100
		100.0	7.1	-	21.4	14.3	-	14.3	57.1	-	-
F2	家族・職員	30	-	1	1	6	5	1	22	-	134
	家族	100.0	-	3.3	3.3	20.0	16.7	3.3	73.3	-	-
	職員	48	-	6	5	14	2	1	28	1	263
		100.0	-	12.5	10.4	29.2	4.2	2.1	58.3	2.1	-
Q2-1	使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	45	-	3	5	8	4	1	29	1	115
		100.0	-	6.7	11.1	17.8	8.9	2.2	64.4	2.2	-
	4個以上	34	-	2	2	7	2	3	25	-	30
		100.0	-	5.9	5.9	20.6	5.9	8.8	73.5	-	-

(表 3-90) Q3-1-1 あなたは携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）を持っていますか。

		合計	自分専用の携帯電話がある	誰かと共有している携帯電話	携帯電話を持っていない	不明
	全体	599	194	37	366	2
		100.0	32.4	6.2	61.1	0.3
F1 本人か、それ以外か	本人	114	61	7	46	-
		100.0	53.5	6.1	40.4	-
F2 家族・職員	家族	164	82	19	63	-
		100.0	50.0	11.6	38.4	-
	職員	311	47	11	252	1
		100.0	15.1	3.5	81.0	0.3
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-
	2-3個	160	41	14	105	-
		100.0	25.6	8.8	65.6	-
	4個以上	64	16	8	40	-
		100.0	25.0	12.5	62.5	-

(表 3-91) Q3-1-2 携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）を使うのはどのような時ですか。（当てはまるものを全て選んでください）

		合計	仕事で使う	プライベートで調べ物をするとき	趣味で使う	その他	不明	非該当
	全体	231	9	87	165	75	3	368
		100.0	3.9	37.7	71.4	32.5	1.3	
F1 本人か、それ以外か	本人	68	4	25	47	20	3	46
		100.0	5.9	36.8	69.1	29.4	4.4	
F2 家族・職員	家族	101	2	37	77	35	0	63
		100.0	2.0	36.6	76.2	34.7	0.0	
	職員	58	3	23	39	18	0	253
		100.0	5.2	39.7	67.2	31.0	0.0	
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	0	0	0	0	0	0	0
	1個	0	0	0	0	0	0	0
	2-3個	55	1	22	43	23	0	105
		100.0	1.8	40.0	78.2	41.8	0.0	
	4個以上	24	0	9	20	12	0	40
		100.0	0.0	37.5	83.3	50.0	0.0	

(表 3-92) Q3-1-3 電話

		合計	1日に何度も	1日に数回	1日に1回程度	数日に1回程度	あまり使わない	不明	非該当
	全体	231	14	27	14	36	130	10	368
		100.0	6.1	11.7	6.1	15.6	56.3	4.3	
F1 本人か、それ以外か	本人	68	2	9	11	16	29	1	46
		100.0	2.9	13.2	16.2	23.5	42.6	1.5	
F2 家族・職員	家族	101	2	9	1	13	74	2	63
		100.0	2.0	8.9	1.0	12.9	73.3	2.0	
	職員	58	9	9	2	7	25	6	253
		100.0	15.5	15.5	3.4	12.1	43.1	10.3	
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	1	4	2	6	40	2	105
		100.0	1.8	7.3	3.6	10.9	72.7	3.6	
	4個以上	24	1	3	-	4	16	-	40
		100.0	4.2	12.5	-	16.7	66.7	-	

(表 3-93) Q3-1-3 メール

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	5	16	4	10	180	16	368
		100.0	2.2	6.9	1.7	4.3	77.9	6.9	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	1	7	3	4	48	5	46
		100.0	1.5	10.3	4.4	5.9	70.6	7.4	
F2 家族・職 員	家族	101	1	1	-	5	91	3	63
		100.0	1.0	1.0	-	5.0	90.1	3.0	
	職員	58	3	7	1	1	39	7	253
		100.0	5.2	12.1	1.7	1.7	67.2	12.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	1	2	1	1	47	3	105
		100.0	1.8	3.6	1.8	1.8	85.5	5.5	
	4個以上	24	-	2	-	-	22	-	40
		100.0	-	8.3	-	-	91.7	-	

(表 3-94) Q3-1-3 LINE やYouTube、Instagram

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	82	34	11	14	79	11	368
		100.0	35.5	14.7	4.8	6.1	34.2	4.8	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	22	10	3	9	20	4	46
		100.0	32.4	14.7	4.4	13.2	29.4	5.9	
F2 家族・職 員	家族	101	43	17	2	4	33	2	63
		100.0	42.6	16.8	2.0	4.0	32.7	2.0	
	職員	58	15	7	6	1	25	4	253
		100.0	25.9	12.1	10.3	1.7	43.1	6.9	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	20	8	4	5	17	1	105
		100.0	36.4	14.5	7.3	9.1	30.9	1.8	
	4個以上	24	9	2	1	-	12	-	40
		100.0	37.5	8.3	4.2	-	50.0	-	

(表 3-95) Q3-1-3 ゲーム

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	41	32	8	16	117	17	368
		100.0	17.7	13.9	3.5	6.9	50.6	7.4	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	11	8	3	6	34	6	46
		100.0	16.2	11.8	4.4	8.8	50.0	8.8	
F2 家族・職 員	家族	101	21	13	3	7	54	3	63
		100.0	20.8	12.9	3.0	6.9	53.5	3.0	
	職員	58	9	10	2	3	27	7	253
		100.0	15.5	17.2	3.4	5.2	46.6	12.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	9	8	-	6	29	3	105
		100.0	16.4	14.5	-	10.9	52.7	5.5	
	4個以上	24	6	3	-	2	13	-	40
		100.0	25.0	12.5	-	8.3	54.2	-	

(表 3-96) Q3-1-3 地図

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	5	9	3	30	167	17	368
		100.0	2.2	3.9	1.3	13.0	72.3	7.4	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	2	4	-	12	45	5	46
		100.0	2.9	5.9	-	17.6	66.2	7.4	
F2 家族・職 員	家族	101	3	4	2	10	79	3	63
		100.0	3.0	4.0	2.0	9.9	78.2	3.0	
	職員	58	-	1	1	7	41	8	253
		100.0	-	1.7	1.7	12.1	70.7	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	2	1	2	8	39	3	105
		100.0	3.6	1.8	3.6	14.5	70.9	5.5	
	4個以上	24	-	2	1	4	17	-	40
		100.0	-	8.3	4.2	16.7	70.8	-	

(表 3-97) Q3-1-3 カメラ・ムービー

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	15	21	8	64	106	17	368
		100.0	6.5	9.1	3.5	27.7	45.9	7.4	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	4	9	2	25	23	5	46
		100.0	5.9	13.2	2.9	36.8	33.8	7.4	
F2 家族・職 員	家族	101	8	8	5	29	48	3	63
		100.0	7.9	7.9	5.0	28.7	47.5	3.0	
	職員	58	3	3	1	10	33	8	253
		100.0	5.2	5.2	1.7	17.2	56.9	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	5	4	2	15	26	3	105
		100.0	9.1	7.3	3.6	27.3	47.3	5.5	
	4個以上	24	-	3	1	8	12	-	40
		100.0	-	12.5	4.2	33.3	50.0	-	

(表 3-98) Q3-1-3 時計

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	29	40	14	6	123	19	368
		100.0	12.6	17.3	6.1	2.6	53.2	8.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	12	14	8	2	25	7	46
		100.0	17.6	20.6	11.8	2.9	36.8	10.3	
F2 家族・職 員	家族	101	11	15	4	2	66	3	63
		100.0	10.9	14.9	4.0	2.0	65.3	3.0	
	職員	58	6	9	2	2	31	8	253
		100.0	10.3	15.5	3.4	3.4	53.4	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	7	6	3	-	36	3	105
		100.0	12.7	10.9	5.5	-	65.5	5.5	
	4個以上	24	2	3	-	-	19	-	40
		100.0	8.3	12.5	-	-	79.2	-	

(表 3-99) Q3-1-3 アラーム (タイマー)

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	13	15	28	8	150	17	368
		100.0	5.6	6.5	12.1	3.5	64.9	7.4	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	4	4	13	1	41	5	46
		100.0	5.9	5.9	19.1	1.5	60.3	7.4	
F2 家族・職 員	家族	101	6	8	12	4	68	3	63
		100.0	5.9	7.9	11.9	4.0	67.3	3.0	
	職員	58	3	3	3	2	39	8	253
		100.0	5.2	5.2	5.2	3.4	67.2	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	-	7	5	-	40	3	105
		100.0	-	12.7	9.1	-	72.7	5.5	
	4個以上	24	2	3	1	3	15	-	40
		100.0	8.3	12.5	4.2	12.5	62.5	-	

(表 3-100) Q3-1-3 スケジュール

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	7	10	4	6	185	19	368
		100.0	3.0	4.3	1.7	2.6	80.1	8.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	-	4	-	3	54	7	46
		100.0	-	5.9	-	4.4	79.4	10.3	
F2 家族・職 員	家族	101	6	3	3	2	84	3	63
		100.0	5.9	3.0	3.0	2.0	83.2	3.0	
	職員	58	1	3	1	1	44	8	253
		100.0	1.7	5.2	1.7	1.7	75.9	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	3	3	1	3	42	3	105
		100.0	5.5	5.5	1.8	5.5	76.4	5.5	
	4個以上	24	1	2	1	1	19	-	40
		100.0	4.2	8.3	4.2	4.2	79.2	-	

(表 3-101) Q3-1-3 インターネット (検索)

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	60	46	10	8	92	15	368
		100.0	26.0	19.9	4.3	3.5	39.8	6.5	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	19	11	2	3	28	5	46
		100.0	27.9	16.2	2.9	4.4	41.2	7.4	
F2 家族・職 員	家族	101	26	21	5	4	42	3	63
		100.0	25.7	20.8	5.0	4.0	41.6	3.0	
	職員	58	14	13	3	1	21	6	253
		100.0	24.1	22.4	5.2	1.7	36.2	10.3	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	16	11	1	1	24	2	105
		100.0	29.1	20.0	1.8	1.8	43.6	3.6	
	4個以上	24	8	2	2	-	12	-	40
		100.0	33.3	8.3	8.3	-	50.0	-	

(表 3-102) Q3-1-3 計算機

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	7	7	5	23	172	17	368
		100.0	3.0	3.0	2.2	10.0	74.5	7.4	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	2	5	2	12	42	5	46
		100.0	2.9	7.4	2.9	17.6	61.8	7.4	
F2 家族・職 員	家族	101	3	1	3	6	85	3	63
		100.0	3.0	1.0	3.0	5.9	84.2	3.0	
	職員	58	1	1	-	4	44	8	253
		100.0	1.7	1.7	-	6.9	75.9	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	-	1	2	4	45	3	105
		100.0	-	1.8	3.6	7.3	81.8	5.5	
	4個以上	24	-	2	1	2	19	-	40
		100.0	-	8.3	4.2	8.3	79.2	-	

(表 3-103) Q3-1-3 音楽再生

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	48	26	12	12	118	15	368
		100.0	20.8	11.3	5.2	5.2	51.1	6.5	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	14	5	6	3	36	4	46
		100.0	20.6	7.4	8.8	4.4	52.9	5.9	
F2 家族・職 員	家族	101	24	15	4	7	48	3	63
		100.0	23.8	14.9	4.0	6.9	47.5	3.0	
	職員	58	9	5	2	2	33	7	253
		100.0	15.5	8.6	3.4	3.4	56.9	12.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	9	6	2	4	31	3	105
		100.0	16.4	10.9	3.6	7.3	56.4	5.5	
	4個以上	24	7	2	1	3	11	-	40
		100.0	29.2	8.3	4.2	12.5	45.8	-	

(表 3-104) Q3-1-3 メモ

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	9	6	4	11	184	17	368
		100.0	3.9	2.6	1.7	4.8	79.7	7.4	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	4	3	2	4	50	5	46
		100.0	5.9	4.4	2.9	5.9	73.5	7.4	
F2 家族・職 員	家族	101	4	2	2	4	86	3	63
		100.0	4.0	2.0	2.0	4.0	85.1	3.0	
	職員	58	1	1	-	3	45	8	253
		100.0	1.7	1.7	-	5.2	77.6	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	2	2	1	3	44	3	105
		100.0	3.6	3.6	1.8	5.5	80.0	5.5	
	4個以上	24	1	1	1	1	20	-	40
		100.0	4.2	4.2	4.2	4.2	83.3	-	

(表 3-105) Q3-1-3 ボイスメモ (録音)

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	2	2	1	7	201	18	368
		100.0	0.9	0.9	0.4	3.0	87.0	7.8	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	-	1	1	4	56	6	46
		100.0	-	1.5	1.5	5.9	82.4	8.8	
F2 家族・職 員	家族	101	1	-	-	2	95	3	63
		100.0	1.0	-	-	2.0	94.1	3.0	
	職員	58	1	1	-	1	47	8	253
		100.0	1.7	1.7	-	1.7	81.0	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	1	1	1	2	47	3	105
		100.0	1.8	1.8	1.8	3.6	85.5	5.5	
	4個以上	24	1	1	-	1	21	-	40
		100.0	4.2	4.2	-	4.2	87.5	-	

(表 3-106) Q3-1-3 テレビ電話

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	3	3	3	16	188	18	368
		100.0	1.3	1.3	1.3	6.9	81.4	7.8	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	-	1	2	8	51	6	46
		100.0	-	1.5	2.9	11.8	75.0	8.8	
F2 家族・職 員	家族	101	2	1	-	5	90	3	63
		100.0	2.0	1.0	-	5.0	89.1	3.0	
	職員	58	1	-	1	2	46	8	253
		100.0	1.7	-	1.7	3.4	79.3	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	2	1	1	3	45	3	105
		100.0	3.6	1.8	1.8	5.5	81.8	5.5	
	4個以上	24	-	-	-	4	20	-	40
		100.0	-	-	-	16.7	83.3	-	

(表 3-107) Q3-1-3 コミュニケーションエイド

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	5	9	-	5	194	18	368
		100.0	2.2	3.9	-	2.2	84.0	7.8	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	1	2	-	2	57	6	46
		100.0	1.5	2.9	-	2.9	83.8	8.8	
F2 家族・職 員	家族	101	3	5	-	3	87	3	63
		100.0	3.0	5.0	-	3.0	86.1	3.0	
	職員	58	1	1	-	-	48	8	253
		100.0	1.7	1.7	-	-	82.8	13.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	55	2	3	-	2	45	3	105
		100.0	3.6	5.5	-	3.6	81.8	5.5	
	4個以上	24	2	2	-	1	19	-	40
		100.0	8.3	8.3	-	4.2	79.2	-	

(表 3-108) Q3-1-3 その他

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	231	8	7	2	5	48	161	368
		100.0	3.5	3.0	0.9	2.2	20.8	69.7	
F1 本人か、 それ以外か	本人	68	2	1	—	1	16	48	46
		100.0	2.9	1.5	—	1.5	23.5	70.6	
F2 家族・職 員	家族	101	2	4	2	2	19	72	63
		100.0	2.0	4.0	2.0	2.0	18.8	71.3	
	職員	58	4	2	—	2	12	38	253
		100.0	6.9	3.4	—	3.4	20.7	65.5	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	—	—	—	—	—	—	—	—
	1個	—	—	—	—	—	—	—	—
	2-3個	55	2	1	1	2	7	42	105
		100.0	3.6	1.8	1.8	3.6	12.7	76.4	
	4個以上	24	—	1	—	1	5	17	40
		100.0	—	4.2	—	4.2	20.8	70.8	

(表 3-109) Q3-2-1 あなたはパソコンを持っていますか。

		合計	自分専用 のパソコン を持っている	誰かと共 有してい るパソコン がある	パソコン を持って いない	不明
	全体	599	31	50	511	7
		100.0	5.2	8.3	85.3	1.2
F1 本人か、 それ以外か	本人	114	10	15	86	3
		100.0	8.8	13.2	75.4	2.6
F2 家族・職 員	家族	164	12	31	119	2
		100.0	7.3	18.9	72.6	1.2
	職員	311	8	3	298	2
		100.0	2.6	1.0	95.8	0.6
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	—	—	—	—	—
	1個	—	—	—	—	—
	2-3個	160	8	12	140	—
		100.0	5.0	7.5	87.5	—
	4個以上	64	4	4	56	—
		100.0	6.3	6.3	87.5	—

(表 3-110) Q3-2-2 パソコンを使用するのはどのような時ですか。（当てはまるものを全て選んでください）

		合計	仕事で使 う	ブライ ベートで 調べ物を するとき	本を読む	本を読み 上げても らう	学習で使 う	趣味で使 う	その他	不明	非該当
	全体	81	3	33	1	—	17	58	10	1	518
		100.0	3.7	40.7	1.2	—	21.0	71.6	12.3	1.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	1	9	—	—	5	18	3	1	89
		100.0	4.0	36.0	—	—	20.0	72.0	12.0	4.0	
F2 家族・職 員	家族	43	—	17	1	—	10	30	7	—	121
		100.0	—	39.5	2.3	—	23.3	69.8	16.3	—	
	職員	11	2	6	—	—	2	9	—	—	300
		100.0	18.2	54.5	—	—	18.2	81.8	—	—	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1個	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2-3個	20	1	14	—	—	6	17	1	—	140
		100.0	5.0	70.0	—	—	30.0	85.0	5.0	—	
	4個以上	8	1	3	—	—	1	4	2	—	56
		100.0	12.5	37.5	—	—	12.5	50.0	25.0	—	

(表 3-111) Q3-2-3 インターネット (検索)

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	14	14	8	14	27	4	518
		100.0	17.3	17.3	9.9	17.3	33.3	4.9	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	6	3	3	3	7	3	89
		100.0	24.0	12.0	12.0	12.0	28.0	12.0	
F2 家族・職 員	家族	43	6	9	4	7	17	-	121
		100.0	14.0	20.9	9.3	16.3	39.5	-	
	職員	11	2	2	1	3	3	-	300
		100.0	18.2	18.2	9.1	27.3	27.3	-	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	5	1	2	8	4	-	140
		100.0	25.0	5.0	10.0	40.0	20.0	-	
	4個以上	8	2	1	1	1	3	-	56
		100.0	25.0	12.5	12.5	12.5	37.5	-	

(表 3-112) Q3-2-3 メール

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	-	-	2	-	74	5	518
		100.0	-	-	2.5	-	91.4	6.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	-	-	-	-	22	3	89
		100.0	-	-	-	-	88.0	12.0	
F2 家族・職 員	家族	43	-	-	1	-	42	-	121
		100.0	-	-	2.3	-	97.7	-	
	職員	11	-	-	1	-	9	1	300
		100.0	-	-	9.1	-	81.8	9.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	-	-	-	-	19	1	140
		100.0	-	-	-	-	95.0	5.0	
	4個以上	8	-	-	1	-	7	-	56
		100.0	-	-	12.5	-	87.5	-	

(表 3-113) Q3-2-3 LINE やYouTube、Instagram

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	14	7	5	6	46	3	518
		100.0	17.3	8.6	6.2	7.4	56.8	3.7	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	5	-	3	1	14	2	89
		100.0	20.0	-	12.0	4.0	56.0	8.0	
F2 家族・職 員	家族	43	8	6	1	3	25	-	121
		100.0	18.6	14.0	2.3	7.0	58.1	-	
	職員	11	1	1	1	2	6	-	300
		100.0	9.1	9.1	9.1	18.2	54.5	-	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	5	1	1	3	10	-	140
		100.0	25.0	5.0	5.0	15.0	50.0	-	
	4個以上	8	1	1	1	-	5	-	56
		100.0	12.5	12.5	12.5	-	62.5	-	

(表 3-114) Q3-2-3 オンラインミーティング

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	-	-	1	3	72	5	518
		100.0	-	-	1.2	3.7	88.9	6.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	-	-	-	1	21	3	89
		100.0	-	-	-	4.0	84.0	12.0	
F2 家族・職 員	家族	43	-	-	-	2	41	-	121
		100.0	-	-	-	4.7	95.3	-	
	職員	11	-	-	1	-	9	1	300
		100.0	-	-	9.1	-	81.8	9.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	-	-	-	-	19	1	140
		100.0	-	-	-	-	95.0	5.0	
	4個以上	8	-	-	1	1	6	-	56
		100.0	-	-	12.5	12.5	75.0	-	

(表 3-115) Q3-2-3 ゲーム

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	6	7	1	9	54	4	518
		100.0	7.4	8.6	1.2	11.1	66.7	4.9	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	1	2	-	3	16	3	89
		100.0	4.0	8.0	-	12.0	64.0	12.0	
F2 家族・職 員	家族	43	4	4	-	6	29	-	121
		100.0	9.3	9.3	-	14.0	67.4	-	
	職員	11	-	1	1	-	8	1	300
		100.0	-	9.1	9.1	-	72.7	9.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	2	1	-	3	13	1	140
		100.0	10.0	5.0	-	15.0	65.0	5.0	
	4個以上	8	1	1	1	1	4	-	56
		100.0	12.5	12.5	12.5	12.5	50.0	-	

(表 3-116) Q3-2-3 ワード・エクセル・パワーポイント

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	1	3	4	11	57	5	518
		100.0	1.2	3.7	4.9	13.6	70.4	6.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	1	1	2	4	14	3	89
		100.0	4.0	4.0	8.0	16.0	56.0	12.0	
F2 家族・職 員	家族	43	-	2	1	7	33	-	121
		100.0	-	4.7	2.3	16.3	76.7	-	
	職員	11	-	-	1	-	9	1	300
		100.0	-	-	9.1	-	81.8	9.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	-	-	1	1	17	1	140
		100.0	-	-	5.0	5.0	85.0	5.0	
	4個以上	8	-	-	1	1	6	-	56
		100.0	-	-	12.5	12.5	75.0	-	

(表 3-117) Q3-2-3 電子図書

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	-	1	1	3	71	5	518
		100.0	-	1.2	1.2	3.7	87.7	6.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	-	-	-	-	22	3	89
		100.0	-	-	-	-	88.0	12.0	
F2 家族・職 員	家族	43	-	1	-	3	39	-	121
		100.0	-	2.3	-	7.0	90.7	-	
	職員	11	-	-	1	-	9	1	300
		100.0	-	-	9.1	-	81.8	9.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	-	-	-	-	19	1	140
		100.0	-	-	-	-	95.0	5.0	
	4個以上	8	-	-	1	1	6	-	56
		100.0	-	-	12.5	12.5	75.0	-	

(表 3-118) Q3-2-3 読み上げ機能

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	1	-	1	1	73	5	518
		100.0	1.2	-	1.2	1.2	90.1	6.2	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	1	-	-	-	21	3	89
		100.0	4.0	-	-	-	84.0	12.0	
F2 家族・職 員	家族	43	-	-	-	1	42	-	121
		100.0	-	-	-	2.3	97.7	-	
	職員	11	-	-	1	-	9	1	300
		100.0	-	-	9.1	-	81.8	9.1	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	-	-	-	-	19	1	140
		100.0	-	-	-	-	95.0	5.0	
	4個以上	8	-	-	1	1	7	-	56
		100.0	-	-	12.5	-	87.5	-	

(表 3-119) Q3-2-3 その他

		合計	1日に何 度も	1日に数 回	1日に1回 程度	数日に1 回程度	あまり使 わない	不明	非該当
	全体	81	3	-	-	1	16	61	518
		100.0	3.7	-	-	1.2	19.8	75.3	
F1 本人か、 それ以外か	本人	25	2	-	-	-	9	14	89
		100.0	8.0	-	-	-	36.0	56.0	
F2 家族・職 員	家族	43	-	-	-	1	6	36	121
		100.0	-	-	-	2.3	14.0	83.7	
	職員	11	1	-	-	-	1	9	300
		100.0	9.1	-	-	-	9.1	81.8	
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	-	-	-	-	2	18	140
		100.0	-	-	-	-	10.0	90.0	
	4個以上	8	-	-	-	-	1	7	56
		100.0	-	-	-	-	12.5	87.5	

(表 3-120) Q3-2-4 1日のうち何時間ぐらいパソコンを使っていますか。

		合計	1時間未満	1時間以上～4時間未満	4時間以上～7時間未満	7時間以上～10時間未満	10時間以上	不明	非該当
	全体	81	41	30	6	3	-	1	518
		100.0	50.6	37.0	7.4	3.7	-	1.2	
F1 本人か、それ以外か	本人	25	13	9	1	1	-	1	89
		100.0	52.0	36.0	4.0	4.0	-	4.0	
F2 家族・職員	家族	43	24	14	3	2	-	-	121
		100.0	55.8	32.6	7.0	4.7	-	-	
	職員	11	3	6	2	-	-	-	300
		100.0	27.3	54.5	18.2	-	-	-	
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	10	7	3	-	-	-	140
		100.0	50.0	35.0	15.0	-	-	-	
	4個以上	8	4	3	-	1	-	-	56
		100.0	50.0	37.5	-	12.5	-	-	

(表 3-121) Q3-3-1 携帯電話（スマートフォン・タブレットを含む）を使っていて、困ったことはありますか。（当てはまるものを全て選んでください）

		合計	操作方法が難しい、分からない	使い方を支援してくれる人がいない	トラブルが起きた時に対応できない	無料か有料かを判断しづらい	その他	特にない	不明	非該当
	全体	81	12	6	41	27	12	19	2	518
		100.0	14.8	7.4	50.6	33.3	14.8	23.5	2.5	
F1 本人か、それ以外か	本人	25	2	-	7	7	1	11	1	89
		100.0	8.0	-	28.0	28.0	4.0	44.0	4.0	
F2 家族・職員	家族	43	6	3	30	18	8	7	-	121
		100.0	14.0	7.0	69.8	41.9	18.6	16.3	-	
	職員	11	4	3	4	2	3	-	-	300
		100.0	36.4	27.3	36.4	18.2	27.3	-	-	
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	4	3	15	8	2	1	-	140
		100.0	20.0	15.0	75.0	40.0	10.0	5.0	-	
	4個以上	8	1	1	5	3	5	-	-	56
		100.0	12.5	12.5	62.5	37.5	62.5	-	-	

(表 3-122) Q3-3-2 パソコンを使用していて、使いづらかったり不便に思うことはありますか。（当てはまるものを全て選んでください）

		合計	操作方法が難しい、分からない	使い方を支援してくれる人がいない	トラブルが起きた時に対応できない	無料か有料かを判断しづらい	その他	特にない	不明	非該当
	全体	81	16	9	41	27	7	22	1	518
		100.0	19.8	11.1	50.6	33.3	8.6	27.2	1.2	
F1 本人か、それ以外か	本人	25	3	1	9	5	4	8	1	89
		100.0	12.0	4.0	36.0	20.0	16.0	32.0	4.0	
F2 家族・職員	家族	43	10	7	27	18	2	10	-	121
		100.0	23.3	16.3	62.8	41.9	4.7	23.3	-	
	職員	11	3	1	5	4	1	2	-	300
		100.0	27.3	9.1	45.5	36.4	9.1	18.2	-	
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	20	7	4	14	7	-	2	-	140
		100.0	35.0	20.0	70.0	35.0	-	10.0	-	
	4個以上	8	2	1	3	3	2	1	-	56
		100.0	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	-	

(表 3-123) Q4-1-1 ふだんの生活で、不便だと思うことはありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

	合計	食事をす るとき	トイレに いくとき	着替えを するとき	お風呂・ シャワー のとき	洗顔・歯 磨きのと き	起きると 寝るの とき	お金の管 理をする とき	薬を管理 するとき	外出する とき	買い物を するとき	家事をす るとき	人とコミュ ニケーション をとる時 き	その他	特にない	不明
全体	599	98	134	99	147	107	66	250	181	261	240	126	298	26	136	6
	100.0	16.4	22.4	16.5	24.5	17.9	11.0	41.7	30.2	43.6	40.1	21.0	49.7	4.3	22.7	1.0
F1 本人か、 それ以外か	114	6	8	3	7	4	8	36	22	30	30	17	32	1	55	1
	100.0	5.3	7.0	2.6	6.1	3.5	7.0	31.6	19.3	26.3	26.3	14.9	28.1	0.9	48.2	0.9
F2 家族・職 員	164	30	37	34	49	42	20	105	64	90	84	49	109	12	13	2
	100.0	18.3	22.6	20.7	29.9	25.6	12.2	64.0	39.0	54.9	51.2	29.9	66.5	7.3	7.9	1.2
	311	62	88	61	90	61	38	104	91	137	121	58	151	13	67	1
	100.0	19.9	28.3	19.6	28.9	19.6	12.2	33.4	29.3	44.1	38.9	18.6	48.6	4.2	21.5	0.3
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	38	43	37	49	32	66	48	84	75	40	87	8	33	-
	4個以上	64	20	24	18	19	14	25	21	35	30	9	34	4	8	-
	100.0	31.3	37.5	28.1	29.7	21.9	18.8	39.1	32.8	54.7	46.9	14.1	53.1	6.3	12.5	-

(表 3-124) Q4-1-2 それは、具体的にどのようなことですか。(当てはまるものを全て選んでください)

	合計	お金の支 払いが難 しい	公共交通機 関(バス・ 電車)に乗 るのが難し い	公共施設 (役所・公 民館・図書 館)を使う のが難しい	医療費が 多くかか る	周りの人 の理解が 少ない	自分の言 いたいこ とが伝わ らない	トイレのタ イミングが 伝えられ ない、わ からない	介助して くれる人 がいない	生活費が 足りない	その他	特にない	不明
全体	599	247	226	195	33	155	323	100	42	35	72	127	15
	100.0	41.2	37.7	32.6	5.5	25.9	53.9	16.7	7.0	5.8	12.0	21.2	2.5
F1 本人か、 それ以外か	114	30	23	17	4	16	29	4	5	7	12	50	5
	100.0	26.3	20.2	14.9	3.5	14.0	25.4	3.5	4.4	6.1	10.5	43.9	4.4
F2 家族・職 員	164	89	82	77	6	64	118	29	18	12	21	12	4
	100.0	54.3	50.0	47.0	3.7	39.0	72.0	17.7	11.0	7.3	12.8	7.3	2.4
	311	123	116	97	22	73	170	67	18	16	39	64	4
	100.0	39.5	37.3	31.2	7.1	23.5	54.7	21.5	5.8	5.1	12.5	20.6	1.3
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	63	60	55	9	45	93	38	15	26	32	1
	4個以上	64	28	26	19	8	20	39	18	8	3	9	-
	100.0	43.8	40.6	29.7	12.5	31.3	60.9	28.1	12.5	4.7	12.5	14.1	-

(表 3-125) Q4-2-1 仕事について、困ったと思ったことはありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

	合計	自分に合 った仕事 がわから ない	自分にと って働 きやす いところ がわから ない	仕事をさ がすとき	仕事を見 つけたと き	面接をす るとき	就労時の 手続きの とき	仕事に行 くとき/ 帰るとき	仕事中	仕事を 変えたい とき	何か困 ったとき に相談 できる場 所がない	その他	特にない	不明
全体	599	130	93	51	22	46	47	44	50	32	29	71	330	18
	100.0	21.7	15.5	8.5	3.7	7.7	7.8	7.3	8.3	5.3	4.8	11.9	55.1	3.0
F1 本人か、 それ以外か	114	19	16	10	2	8	7	7	9	3	3	7	64	5
	100.0	16.7	14.0	8.8	1.8	7.0	6.1	6.1	7.9	2.6	2.6	6.1	56.1	4.4
F2 家族・職 員	164	45	38	22	8	20	22	18	18	13	14	34	64	5
	100.0	27.4	23.2	13.4	4.9	12.2	13.4	11.0	11.0	7.9	8.5	20.7	39.0	3.0
	311	63	38	19	12	18	18	19	23	16	12	29	199	5
	100.0	20.3	12.2	6.1	3.9	5.8	5.8	6.1	7.4	5.1	3.9	9.3	64.0	1.6
Q2-1 使った ことのある支 援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	31	22	10	6	11	12	15	13	10	8	20	97
	4個以上	64	15	11	5	3	2	5	5	4	5	1	15	31
	100.0	23.4	17.2	7.8	4.7	3.1	7.8	7.8	6.3	7.8	1.6	23.4	48.4	-

(表 3-126) Q4-2-2 困ったと思ったのはどんなことでしたか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	書類の内容が分かりづらい	相談相手がいらない	WEBミーティングの使い方が分からない	コミュニケーションを取りづらい	作業内容が分かりづらい	障害のことを理解した支援を受けることができない	その他	特にない	不明
	全体	599	98	36	61	146	78	59	47	332	25
		100.0	16.4	6.0	10.2	24.4	13.0	9.8	7.8	55.4	4.2
F1 本人か、それ以外か	本人	114	16	9	8	22	8	11	6	66	8
		100.0	14.0	7.9	7.0	19.3	7.0	9.6	5.3	57.9	7.0
F2 家族・職員	家族	164	35	15	20	62	25	22	21	65	8
		100.0	21.3	9.1	12.2	37.8	15.2	13.4	12.8	39.6	4.9
	職員	311	43	12	31	56	43	25	19	200	6
		100.0	13.8	3.9	10.0	18.0	13.8	8.0	6.1	64.3	1.9
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	23	10	16	49	20	21	12	92	-
		100.0	14.4	6.3	10.0	30.6	12.5	13.1	7.5	57.5	-
	4個以上	64	9	3	8	13	7	9	7	35	1
		100.0	14.1	4.7	12.5	20.3	10.9	14.1	10.9	54.7	1.6

(表 3-127) Q4-3-1 おたのしみの時間で困る・不便な「場面」はありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	旅行へ行くとき	スポーツをするとき	地域の行事や活動に参加するとき	テレビ・ビデオ・ゲーム等をするとき	映画・コンサート・美術館・カラオケ等に行くとき	友人などとの日程調整ができない	その他	特にない	不明
	全体	599	218	106	183	88	149	64	57	254	17
		100.0	36.4	17.7	30.6	14.7	24.9	10.7	9.5	42.4	2.8
F1 本人か、それ以外か	本人	114	20	8	15	9	12	7	10	65	4
		100.0	17.5	7.0	13.2	7.9	10.5	6.1	8.8	57.0	3.5
F2 家族・職員	家族	164	78	42	67	27	62	28	20	46	7
		100.0	47.6	25.6	40.9	16.5	37.8	17.1	12.2	28.0	4.3
	職員	311	118	55	100	52	74	28	26	138	3
		100.0	37.9	17.7	32.2	16.7	23.8	9.0	8.4	44.4	1.0
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	81	37	65	27	49	28	15	51	-
		100.0	50.6	23.1	40.6	16.9	30.6	17.5	9.4	31.9	-
	4個以上	64	33	17	30	13	21	10	7	15	-
		100.0	51.6	26.6	46.9	20.3	32.8	15.6	10.9	23.4	-

(表 3-128) Q4-3-2 余暇で困る・不便な「内容」はありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	お店に入りづらい	支援してくれる人がいない	サービス・ルール等の内容が分かりづらい	施設の設備の使い方がわからない	いろいろな情報を手に入れるにくい	障害のことを理解した支援を受けることができない	その他	特にない	不明
	全体	599	130	93	215	150	151	155	45	235	15
		100.0	21.7	15.5	35.9	25.0	25.2	25.9	7.5	39.2	2.5
F1 本人か、それ以外か	本人	114	7	9	24	11	13	11	5	69	4
		100.0	6.1	7.9	21.1	9.6	11.4	9.6	4.4	60.5	3.5
F2 家族・職員	家族	164	51	42	86	62	61	76	12	37	5
		100.0	31.1	25.6	52.4	37.8	37.2	46.3	7.3	22.6	3.0
	職員	311	68	41	101	75	76	67	28	126	3
		100.0	21.9	13.2	32.5	24.1	24.4	21.5	9.0	40.5	1.0
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	48	36	63	51	47	62	13	52	1
		100.0	30.0	22.5	39.4	31.9	29.4	38.8	8.1	32.5	0.6
	4個以上	64	18	15	23	18	23	21	10	15	-
		100.0	28.1	23.4	35.9	28.1	35.9	32.8	15.6	23.4	-

(表 3-129) Q5-1 どのような助けがあればいいと思いますか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	コミュニケーション	移動	食事	入浴支援	排泄	スケジュール管理	時間の管理	お金の管理	ICT機器の利用	その他	不明
	全体	599	362	295	168	166	146	178	202	323	127	76	24
		100.0	60.4	49.2	28.0	27.7	24.4	29.7	33.7	53.9	21.2	12.7	4.0
F1 本人か、それ以外か	本人	114	36	35	11	10	8	14	25	56	17	27	6
		100.0	31.6	30.7	9.6	8.8	7.0	12.3	21.9	49.1	14.9	23.7	5.3
F2 家族・職員	家族	164	120	93	42	41	38	69	71	109	46	22	4
		100.0	73.2	56.7	25.6	25.0	23.2	42.1	43.3	66.5	28.0	13.4	2.4
	職員	311	200	162	113	113	99	93	103	153	63	27	10
		100.0	64.3	52.1	36.3	36.3	31.8	29.9	33.1	49.2	20.3	8.7	3.2
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	102	92	53	55	49	67	63	93	51	18	1
		100.0	63.8	57.5	33.1	34.4	30.6	41.9	39.4	58.1	31.9	11.3	0.6
	4個以上	64	42	44	26	27	28	13	14	27	18	9	-
		100.0	65.6	68.8	40.6	42.2	43.8	20.3	21.9	42.2	28.1	14.1	-

(表 3-130) Q5-2-1 環境改善や支援機器を使ってやりたいこと/出来るようになりたいことはありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	他の人といろいろな話をしてみたい	スムーズに移動したい	お金を管理したい	落ち着いた生活や仕事が出来たい	こんな仕事をしてみたい	その他	不明
	全体	599	206	172	131	305	13	63	29
		100.0	34.4	28.7	21.9	50.9	2.2	10.5	4.8
F1 本人か、それ以外か	本人	114	34	19	25	45	4	20	7
		100.0	29.8	16.7	21.9	39.5	3.5	17.5	6.1
F2 家族・職員	家族	164	70	64	60	90	7	18	4
		100.0	42.7	39.0	36.6	54.9	4.3	11.0	2.4
	職員	311	99	87	43	170	1	25	15
		100.0	31.8	28.0	13.8	54.7	0.3	8.0	4.8
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	55	56	27	89	3	20	1
		100.0	34.4	35.0	16.9	55.6	1.9	12.5	0.6
	4個以上	64	25	35	14	35	1	9	-
		100.0	39.1	54.7	21.9	54.7	1.6	14.1	-

(表 3-131) Q5-2-3 ロボットや ICT (情報通信技術)、AI (人工知能) の開発がもっと進んだらどうなってほしいですか。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	日常生活が便利になる	働きやすくなる	好きなことにもっと挑戦できる	その他	不明
	全体	599	460	106	215	74	25
		100.0	76.8	17.7	35.9	12.4	4.2
F1 本人か、それ以外か	本人	114	69	19	29	20	7
		100.0	60.5	16.7	25.4	17.5	6.1
F2 家族・職員	家族	164	126	45	73	29	6
		100.0	76.8	27.4	44.5	17.7	3.7
	職員	311	258	40	112	23	10
		100.0	83.0	12.9	36.0	7.4	3.2
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	-	-	-	-	-	-
	1個	-	-	-	-	-	-
	2-3個	160	139	24	68	17	-
		100.0	86.9	15.0	42.5	10.6	-
	4個以上	64	55	13	38	5	-
		100.0	85.9	20.3	59.4	7.8	-

(表 3-132) Q5-2-4 環境改善や福祉用具において、重視する特徴は何でしょう。(当てはまるものを全て選んでください)

		合計	操作が簡単になる	持ち運びしやすい大きさ	かっこいい	安い	こわれにくい	その他	不明
	全体	599	465	256	100	263	295	48	27
		100.0	77.6	42.7	16.7	43.9	49.2	8.0	4.5
F1 本人か、それ以外か	本人	114	71	42	18	46	49	16	8
		100.0	62.3	36.8	15.8	40.4	43.0	14.0	7.0
F2 家族・職員	家族	164	130	92	30	90	100	15	6
		100.0	79.3	56.1	18.3	54.9	61.0	9.1	3.7
	職員	311	258	119	50	123	144	16	10
		100.0	83.0	38.3	16.1	39.5	46.3	5.1	3.2
Q2-1 使ったことのある支援機器数	0個	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1個	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2-3個	160	136	87	38	90	105	10	0
		100.0	85.0	54.4	23.8	56.3	65.6	6.3	0.0
	4個以上	64	60	37	16	32	43	6	0
		100.0	93.8	57.8	25.0	50.0	67.2	9.4	0.0

(表 3-133) Q2-1 (支援機器等) × Q1-2-1 (障害支援区分)

	合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置(コミュニケーションエイド)	特殊寝台(マットを含む)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
	全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5
		100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8
Q1-2-1 障害支援区分	区分 1	9	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-
	区分 2	27	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
		100.0	-	3.7	-	-	3.7	-	-	-	-	3.7	-	-	-
	区分 3	41	1	2	-	1	3	2	1	5	-	-	2	-	-
		100.0	2.4	4.9	-	2.4	7.3	4.9	2.4	12.2	-	-	4.9	-	-
	区分 4	80	-	3	-	2	6	8	7	10	-	2	1	-	-
		100.0	-	3.8	-	2.5	7.5	10.0	8.8	12.5	-	2.5	1.3	-	1.3
	区分 5	90	-	1	1	1	2	9	10	17	-	1	2	-	1
		100.0	-	1.1	1.1	1.1	2.2	10.0	11.1	18.9	-	1.1	2.2	-	1.1
	区分 6	168	-	21	11	2	7	16	34	60	4	4	11	7	2
		100.0	-	12.5	6.5	1.2	4.2	9.5	20.2	35.7	2.4	2.4	6.5	4.2	1.2
	非該当	37	-	-	1	3	-	1	2	2	-	1	-	-	-
		100.0	-	-	2.7	8.1	-	2.7	5.4	5.4	-	2.7	-	-	-
	わからない	140	1	12	8	6	3	10	6	19	1	4	2	1	2
		100.0	0.7	8.6	5.7	4.3	2.1	7.1	4.3	13.6	0.7	2.9	1.4	0.7	1.4

	合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤホンなど不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
	全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	265	11
		100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.9	18.4	14.0	44.2	1.8
Q1-2-1 障害支援区分	区分 1	9	-	-	-	-	-	1	-	1	7	-
		100.0	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1	77.8	-
	区分 2	27	-	-	-	2	-	4	2	5	17	-
		100.0	-	-	-	7.4	-	14.8	7.4	18.5	63.0	-
	区分 3	41	-	1	-	4	-	4	4	4	24	1
		100.0	-	2.4	-	9.8	-	9.8	9.8	9.8	58.5	2.4
	区分 4	80	1	2	3	7	2	6	16	13	41	2
		100.0	1.3	2.5	3.8	8.8	2.5	7.5	20.0	16.3	51.3	2.5
	区分 5	90	1	2	7	13	-	12	16	11	45	2
		100.0	1.1	2.2	7.8	14.4	-	13.3	17.8	12.2	50.0	2.2
	区分 6	168	5	16	27	30	7	27	46	24	40	2
		100.0	3.0	9.5	16.1	17.9	4.2	16.1	27.4	14.3	23.8	1.2
	非該当	37	1	10	-	14	1	4	6	-	16	-
		100.0	2.7	27.0	-	37.8	2.7	10.8	16.2	-	43.2	-
	わからない	140	1	4	1	3	1	24	19	20	72	1
		100.0	0.7	2.9	0.7	2.1	0.7	17.1	13.6	14.3	51.4	0.7

(表 3-134) Q2-1 × Q1-2-2 (障害の程度)

		合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置 (コミュニケーションエイド)	特殊寝台 (マットを含む)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
	全体	599 100.0	2 0.3	40 6.7	21 3.5	15 2.5	22 3.7	46 7.7	61 10.2	113 18.9	5 0.8	13 2.2	18 3.0	8 1.3	5 0.8	8 1.3
Q1-2-2 障害の程度	軽度	113 100.0	- -	2 1.8	- -	4 3.5	2 1.8	6 5.3	4 3.5	8 7.1	- -	1 0.9	2 1.8	- -	- -	- -
	中度	120 100.0	- -	4 3.3	1 0.8	3 2.5	10 8.3	11 9.2	4 3.3	18 15.0	- -	6 5.0	1 0.8	1 0.8	- -	1 0.8
	重度	209 100.0	1 0.5	15 7.2	5 2.4	6 2.9	5 2.4	14 6.7	29 13.9	44 21.1	1 0.5	5 2.4	6 2.9	1 0.5	1 0.5	4 1.9
	最重度	112 100.0	- -	16 14.3	14 12.5	1 0.9	3 2.7	10 8.9	21 18.8	35 31.3	2 1.8	1 0.9	8 7.1	6 5.4	4 3.6	3 2.7
	わからない	33 100.0	1 3.0	3 9.1	3 3.0	1 3.0	1 6.1	2 15.2	3 9.1	8 24.2	2 6.1	- -	1 3.0	- -	- -	- -

		合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤホンなど不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
	全体	599 100.0	9 1.5	35 5.8	38 6.3	73 12.2	11 1.8	83 13.9	110 18.4	84 14.0	11 1.8	265 44.2	11 1.8
Q1-2-2 障害の程度	軽度	113 100.0	1 0.9	8 7.1	2 1.8	16 14.2	2 1.8	10 8.8	9 8.0	18 15.9	1 0.9	65 57.5	1 0.9
	中度	120 100.0	- -	5 4.2	5 4.2	9 7.5	2 1.7	13 10.8	19 15.8	17 14.2	2 1.7	60 50.0	3 2.5
	重度	209 100.0	3 1.4	11 5.3	13 6.2	28 13.4	3 1.4	35 16.7	47 22.5	28 13.4	5 2.4	90 43.1	3 1.4
	最重度	112 100.0	4 3.6	10 8.9	17 15.2	18 16.1	3 2.7	23 20.5	32 28.6	16 14.3	3 2.7	22 19.6	1 0.9
	わからない	33 100.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	2 6.1	1 3.0	2 6.1	3 9.1	4 12.1	- -	20 60.6	- -

(表 3-135) Q2-1 × Q1-2-3 (障害者手帳)

		合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置 (コミュニケーションエイド)	特殊寝台 (マットを含む)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
	全体	599 100.0	2 0.3	40 6.7	21 3.5	15 2.5	22 3.7	46 7.7	61 10.2	113 18.9	5 0.8	13 2.2	18 3.0	8 1.3	5 0.8	8 1.3
Q1-2-3 障害者手帳	手帳を持っている	560 100.0	1 0.2	38 6.8	21 3.8	14 2.5	19 3.4	44 7.9	59 10.5	108 19.3	4 0.7	13 2.3	18 3.2	8 1.4	5 0.9	8 1.4
	手帳を持っていない	29 100.0	- -	1 3.4	- -	1 3.4	2 6.9	2 6.9	2 6.9	2 6.9	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	分らない	8 100.0	1 12.5	1 12.5	- -	- -	1 12.5	- -	- -	3 37.5	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -

		合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤホンなど不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
	全体	599 100.0	9 1.5	35 5.8	38 6.3	73 12.2	11 1.8	83 13.9	110 18.4	84 14.0	11 1.8	265 44.2	11 1.8
Q1-2-3 障害者手帳	手帳を持っている	560 100.0	8 1.4	34 6.1	38 6.8	71 12.7	10 1.8	80 14.3	105 18.8	78 13.9	11 2.0	244 43.6	10 1.8
	手帳を持っていない	29 100.0	1 3.4	1 3.4	- -	2 6.9	1 3.4	3 10.3	4 13.8	4 20.7	- -	16 55.2	- -
	分らない	8 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5	- -	- -	4 50.0	- -

(表 3-136) Q2-1 × Q1-2-4 (療育手帳)

	合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置（コミュニケーションエイドを含む）	特殊寝台（マットを含む）	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
	100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
01-2-4 療育手帳	326	1	31	18	7	8	23	47	78	-	5	12	6	5	7
	100.0	0.3	9.5	5.5	2.1	2.5	7.1	14.4	23.9	-	1.5	3.7	1.8	1.5	2.1
重度（Ａ、Ａ１、Ａ２など）	203	-	5	1	6	10	16	9	22	-	7	5	1	-	1
その他（Ｂ、Ｂ１、Ｂ２、Ｂ３など）	100.0	-	2.5	0.5	3.0	4.9	7.9	4.4	10.8	-	3.4	2.5	0.5	-	0.5
わからない	16	-	1	-	-	1	3	2	4	2	1	1	1	-	-
	100.0	-	6.3	-	-	6.3	18.8	12.5	25.0	12.5	6.3	6.3	6.3	-	-

	合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	バーテュレーション等視覚情報を調整するもの	イヤマフなど不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
	100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.9	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
01-2-4 療育手帳	326	7	19	28	47	6	57	77	44	8	121	5
	100.0	2.1	5.8	8.6	14.4	1.8	17.5	23.6	13.5	2.5	37.1	1.5
重度（Ａ、Ａ１、Ａ２など）	203	1	13	8	24	4	20	25	31	3	107	4
その他（Ｂ、Ｂ１、Ｂ２、Ｂ３など）	100.0	0.5	6.4	3.9	11.8	2.0	9.9	12.3	15.3	1.5	52.7	2.0
わからない	16	-	2	1	-	-	1	1	-	-	11	1
	100.0	-	12.5	6.3	-	-	6.3	6.3	-	-	68.8	6.3

(表 3-137) Q2-1 × Q1-2-4 (身体障害者手帳)

	合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置（コミュニケーションエイドを含む）	特殊寝台（マットを含む）	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
	100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
01-2-4 身体障害者手帳	56	-	14	15	2	1	14	16	39	4	1	5	2	2	3
1級	100.0	-	25.0	26.8	3.6	1.8	25.0	28.6	69.6	7.1	1.8	8.9	3.6	3.6	5.4
2級	15	-	3	-	2	3	5	3	10	-	-	1	1	-	-
	100.0	-	20.0	-	13.3	20.0	33.3	20.0	66.7	-	-	6.7	6.7	-	-
3級	13	1	4	1	-	2	4	3	7	-	-	1	-	-	-
	100.0	7.7	30.8	7.7	-	15.4	30.8	23.1	53.8	-	-	7.7	-	-	-
4級	10	-	2	1	-	2	2	2	3	-	-	2	-	-	-
	100.0	-	20.0	10.0	-	20.0	20.0	20.0	30.0	-	-	20.0	-	-	-
5級	2	-	2	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-
6級	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	1	-
	100.0	-	14.3	-	-	-	-	-	14.3	-	-	14.3	14.3	14.3	-
わからない	93	-	5	1	-	3	6	13	15	-	1	2	2	-	1
	100.0	-	5.4	1.1	-	3.2	6.5	14.0	16.1	-	1.1	2.2	2.2	-	1.1

	合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	バーテュレーション等視覚情報を調整するもの	イヤマフなど不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
	100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.9	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
01-2-4 身体障害者手帳	56	3	6	13	4	1	2	3	1	2	8	-
1級	100.0	5.4	10.7	23.2	7.1	1.8	3.6	5.4	1.8	3.6	14.3	-
2級	15	1	1	3	3	3	1	3	2	-	1	-
	100.0	6.7	6.7	20.0	20.0	20.0	6.7	20.0	13.3	-	6.7	-
3級	13	1	2	1	3	1	4	3	3	-	2	-
	100.0	7.7	15.4	7.7	23.1	7.7	30.8	23.1	23.1	-	15.4	-
4級	10	-	2	2	-	-	-	1	1	-	4	-
	100.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	10.0	10.0	10.0	40.0	-
5級	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6級	7	-	-	1	-	-	3	-	-	-	3	-
	100.0	-	-	14.3	-	-	42.9	-	-	-	42.9	-
わからない	93	3	5	7	11	2	8	18	16	2	45	-
	100.0	3.2	5.4	7.5	11.8	2.2	8.6	19.4	17.2	2.2	48.4	-

(表 3-138) Q2-1 × Q1-2-4 (精神障害者保健福祉手帳)

		合計	義肢	装具	姿勢保持 装置	補聴器	つえ	歩行者・ 歩行車	頭部保護 帽	車いす	電動車い す	意思伝達装 置(コミュニ ケーション エイド)	特殊寝台 (マット を含む)	床ずれ防 止用具	体位変換 器	移動用リ フト
	全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
		100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
Q1-2-4 精神 障害者保健福 祉手帳	1級	8	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-
	2級	15	-	4	3	1	2	3	3	5	-	1	2	-	-	-
		100.0	-	26.7	20.0	6.7	13.3	20.0	20.0	33.3	-	6.7	13.3	-	-	-
	3級	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	137	-	12	7	-	4	11	20	30	2	2	5	4	2	2
		100.0	-	8.8	5.1	-	2.9	8.0	14.6	21.9	1.5	1.5	3.6	2.9	1.5	1.5

		合計	緊急通報 装置	排泄関連 用具	入浴関連 用具	火災警報 器	自動消火 器	視覚支援 に関わる 用具	バーテ ーション等視 覚情報を調 整するもの	イヤマフな ど不快な音 を調整する もの	その他	使ったこ とがない	不明
	全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
		100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.9	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
Q1-2-4 精神 障害者保健福 祉手帳	1級	8	1	1	-	2	-	2	2	2	-	4	-
		100.0	12.5	12.5	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	50.0	-
	2級	15	1	1	2	3	2	3	6	6	1	4	-
		100.0	6.7	6.7	13.3	20.0	13.3	20.0	40.0	40.0	6.7	26.7	-
	3級	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-
	わからない	137	4	9	14	15	4	19	30	22	4	55	-
		100.0	2.9	6.6	10.2	10.9	2.9	13.9	21.9	16.1	2.9	40.1	-

(表 3-139) Q2-1 × Q1-3-1 (住まい)

		合計	義肢	装具	姿勢保持 装置	補聴器	つえ	歩行者・ 歩行車	頭部保護 帽	車いす	電動車い す	意思伝達装 置(コミュニ ケーション エイド)	特殊寝台 (マット を含む)	床ずれ防 止用具	体位変換 器	移動用リ フト
	全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
		100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
Q1-3-1 住ま い	一軒家	230	1	17	11	6	2	13	19	30	3	8	2	1	2	1
		100.0	0.4	7.4	4.8	2.6	0.9	5.7	8.3	13.0	1.3	3.5	0.9	0.4	0.9	0.4
	マンション・ア パート	86	1	9	2	1	1	5	6	14	1	3	2	-	-	1
		100.0	1.2	10.5	2.3	1.2	1.2	5.8	7.0	16.3	1.2	3.5	2.3	-	-	1.2
	グループホーム	105	-	2	-	3	8	10	6	15	-	1	3	1	1	1
		100.0	-	1.9	-	2.9	7.6	9.5	5.7	14.3	-	1.0	2.9	1.0	1.0	1.0
	病院に入院してい る	2	-	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-	1	1	-
		100.0	-	-	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-
	施設に入所してい る	170	-	11	7	4	11	17	29	52	1	1	11	6	1	5
	その他	13	-	1	-	1	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	7.7	-	7.7	-	7.7	7.7	15.4	-	-	-	-	-	-

		合計	緊急通報 装置	排泄関連 用具	入浴関連 用具	火災警報 器	自動消火 器	視覚支援 に関わる 用具	バーテ ーション等視 覚情報を調 整するもの	イヤマフな ど不快な音 を調整する もの	その他	使ったこ とがない	不明
01-3-1 住ま い	全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
		100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.9	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
	一軒家	230	-	2	6	12	1	41	45	51	5	104	5
		100.0	-	0.9	2.6	5.2	0.4	17.8	19.6	22.2	2.2	45.2	2.2
	マンション・ア パート	86	-	1	4	2	-	13	15	10	5	43	2
		100.0	-	1.2	4.7	2.3	-	15.1	17.4	11.6	5.8	50.0	2.3
	グループホーム	105	2	2	3	9	1	8	14	7	-	61	4
		100.0	1.9	1.9	2.9	8.6	1.0	7.6	13.3	6.7	-	58.1	3.8
	病院に入院してい る	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設に入所してい る	170	7	29	25	49	9	22	36	16	-	54	-	
	100.0	4.1	17.1	14.7	28.8	5.3	12.9	21.2	9.4	-	31.8	-	
その他	13	-	1	-	1	-	2	1	3	-	7	-	
	100.0	-	7.7	-	7.7	-	15.4	7.7	23.1	-	53.8	-	

(表 3-140) Q2-1 × Q1-3-2 (同居数)

		合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行器・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置(コミュニケーションエイド)	特殊寝台(マットを含む)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
	全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
		100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
Q1-3-2 回答者含む同居数	ご回答者のみ	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2人	35	1	1	-	2	1	2	2	4	-	1	-	-	1	-
		100.0	2.9	2.9	-	5.7	2.9	5.7	5.7	11.4	-	2.9	-	-	2.9	-
	3人	128	-	7	4	1	1	3	9	14	2	7	3	1	-	2
		100.0	-	5.5	3.1	0.8	0.8	2.3	7.0	10.9	1.6	5.5	2.3	0.8	-	1.6
	4人	93	-	10	6	-	-	8	12	16	1	1	1	-	1	-
		100.0	-	10.8	6.5	-	-	8.6	12.9	17.2	1.1	1.1	1.1	-	1.1	-
	5人	30	-	4	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	13.3	-	-	-	6.7	-	10.0	-	-	-	-	-	-
	6人	13	-	4	3	3	1	3	1	5	-	1	-	-	-	-
		100.0	-	30.8	23.1	23.1	7.7	23.1	7.7	38.5	-	7.7	-	-	-	-
	7人	3	1	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-
		100.0	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
	8人	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	9人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10人以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

		合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤホンなど不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
	全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
		100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.9	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
Q1-3-2 回答者含む同居数	ご回答者のみ	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-
		100.0	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	75.0	-
	2人	35	-	-	1	3	-	4	4	4	-	20	1
		100.0	-	-	2.9	8.6	-	11.4	11.4	11.4	-	57.1	2.9
	3人	128	-	-	5	4	-	27	28	26	8	62	1
		100.0	-	-	3.9	3.1	-	21.1	21.9	20.3	6.3	48.4	0.8
	4人	93	-	1	3	6	1	16	21	19	1	41	3
		100.0	-	1.1	3.2	6.5	1.1	17.2	22.6	20.4	1.1	44.1	3.2
	5人	30	-	1	1	-	-	4	4	7	1	14	1
		100.0	-	3.3	3.3	-	-	13.3	13.3	23.3	3.3	46.7	3.3
	6人	13	-	1	-	-	-	2	3	4	-	1	-
		100.0	-	7.7	-	-	-	15.4	23.1	30.8	-	7.7	-
	7人	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
	8人	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10人以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(表 3-141) Q2-1 × Q1-3-3 (同居者)

		合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行者・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置 (コミュニケーションエイド)	特殊寝台 (マットを含む)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
	全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
		100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
Q1-3-3 同居者	自分ひとりだけで暮らしている	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫や妻 (配偶者)	6	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
		100.0	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-
	子ども (子どもの妻や夫)	4	1	1	1	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
		100.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-
	父、母 (親)	309	1	25	13	7	5	20	25	45	3	10	4	1	2	2
		100.0	0.3	8.1	4.2	2.3	1.6	6.5	8.1	14.6	1.0	3.2	1.3	0.3	0.6	0.6
	自分のおじさん、おばあさん	32	-	1	2	3	-	2	2	5	-	1	-	-	-	-
		100.0	-	3.1	6.3	9.4	-	6.3	6.3	15.6	-	3.1	-	-	-	-
	兄弟・姉妹	137	-	16	9	3	-	13	13	26	1	2	1	-	1	-
		100.0	-	11.7	6.6	2.2	-	9.5	9.5	19.0	0.7	1.5	0.7	-	0.7	-
	その他親せき	7	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-
	友人・知り合い	16	-	-	-	2	3	2	2	3	-	-	1	-	-	1
		100.0	-	-	-	12.5	18.8	12.5	12.5	18.8	-	-	6.3	-	-	6.3
	支援者・施設職員	185	-	12	7	6	14	19	30	50	-	2	12	6	2	6
		100.0	-	6.5	3.8	3.2	7.6	10.3	16.2	27.0	-	1.1	6.5	3.2	1.1	3.2
	その他	139	-	5	-	1	4	9	7	22	1	2	4	2	1	-
		100.0	-	3.6	-	0.7	2.9	6.5	5.0	15.8	0.7	1.4	2.9	1.4	0.7	-

		合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器	視覚支援に関わる用具	パーテーション等視覚情報を調整するもの	イヤホンなど不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
	全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
		100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.9	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
Q1-3-3 同居者	自分ひとりだけで暮らしている	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-	10	-
		100.0	-	-	-	15.4	-	-	-	-	-	76.9	-
	夫や妻 (配偶者)	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-
		100.0	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	66.7	-
	子ども (子どもの妻や夫)	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	父、母 (親)	309	1	3	11	13	2	55	63	63	11	139	7
		100.0	0.3	1.0	3.6	4.2	0.6	17.8	20.4	20.4	3.6	45.0	2.3
	自分のおじさん、おばあさん	32	-	1	1	-	-	7	10	10	-	12	-
		100.0	-	3.1	3.1	-	-	21.9	31.3	31.3	3.1	37.5	-
	兄弟・姉妹	137	-	3	6	7	1	19	22	28	1	60	3
		100.0	-	2.2	4.4	5.1	0.7	13.9	16.1	20.4	0.7	43.8	2.2
	その他親せき	7	-	-	-	1	-	1	2	1	-	3	-
		100.0	-	-	-	14.3	-	14.3	28.6	14.3	-	42.9	-
	友人・知り合い	16	1	-	1	2	1	2	4	1	-	9	-
		100.0	6.3	-	6.3	12.5	6.3	12.5	25.0	6.3	-	56.3	-
	支援者・施設職員	185	8	16	24	40	10	26	42	19	-	69	1
		100.0	4.3	8.6	13.0	21.6	5.4	14.1	22.7	10.3	-	37.3	0.5
	その他	139	1	17	4	26	5	16	18	9	-	69	1
		100.0	0.7	12.2	2.9	18.7	3.6	11.5	12.9	6.5	-	49.6	0.7

(表 3-142) Q2-1 (不明含む) × Q1-2-4 (身体障害者手帳、不明含む)

	合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行器・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置 (コミュニケーションエイド)	特殊寝台 (マットを含む)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
	100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
Q1-2-4 身体障害者手帳	56	0	14	15	2	1	14	16	39	4	1	5	2	2	3
1級	100.0	0.0	25.0	26.8	3.6	1.8	25.0	28.6	69.6	7.1	1.8	8.9	3.6	3.6	5.4
2級	15	0	3	0	2	3	5	3	10	0	0	1	1	0	0
	100.0	0.0	20.0	0.0	13.3	20.0	33.3	20.0	66.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0
3級	13	1	4	1	0	2	4	3	7	0	0	1	0	0	0
	100.0	7.7	30.8	7.7	0.0	15.4	30.8	23.1	53.8	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
4級	10	0	2	1	0	2	2	2	3	0	0	2	0	0	0
	100.0	0.0	20.0	10.0	0.0	20.0	20.0	20.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
5級	2	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6級	7	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
わからない	93	0	5	1	0	3	6	13	15	0	1	2	2	0	1
	100.0	0.0	5.4	1.1	0.0	3.2	6.5	14.0	16.1	0.0	1.1	2.2	2.2	0.0	1.1
不明	364	0	7	3	10	8	13	21	31	0	11	6	2	2	4
	100.0	0.0	1.9	0.8	2.7	2.2	3.6	5.8	8.5	0.0	3.0	1.6	0.5	0.5	1.1

	合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器 ※画像はモリタ宮田工業より	視覚支援に 関わる用具 (スクリーン管理など)	バーション等 視覚情報を調整するもの	イヤマフなど 不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
	100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.8	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
Q1-2-4 身体障害者手帳	56	3	6	13	4	1	2	3	1	2	8	0
1級	100.0	5.4	10.7	23.2	7.1	1.8	3.6	5.4	1.8	3.6	14.3	0.0
2級	15	1	1	3	3	3	1	3	2	0	1	0
	100.0	6.7	6.7	20.0	20.0	6.7	20.0	13.3	0.0	6.7	6.7	0.0
3級	13	1	2	1	3	1	4	3	3	0	2	0
	100.0	7.7	15.4	7.7	23.1	7.7	30.8	23.1	23.1	0.0	15.4	0.0
4級	10	0	2	2	2	0	0	1	1	1	4	0
	100.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0	40.0	0.0
5級	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6級	7	0	0	1	0	0	3	0	0	0	3	0
	100.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
わからない	93	3	5	7	11	2	8	18	16	2	45	0
	100.0	3.2	5.4	7.5	11.8	2.2	8.6	19.4	17.2	2.2	48.4	0.0
不明	364	0	18	11	48	3	62	77	55	6	181	10
	100.0	0.0	4.9	3.0	13.2	0.8	17.0	21.2	15.1	1.6	49.7	2.7

(表 3-143) Q2-1 (不明含む) × Q1-2-4 (精神障害者保健福祉手帳、不明含む)

	合計	義肢	装具	姿勢保持装置	補聴器	つえ	歩行器・歩行車	頭部保護帽	車いす	電動車いす	意思伝達装置 (コミュニケーションエイド)	特殊寝台 (マットを含む)	床ずれ防止用具	体位変換器	移動用リフト
全体	599	2	40	21	15	22	46	61	113	5	13	18	8	5	8
	100.0	0.3	6.7	3.5	2.5	3.7	7.7	10.2	18.9	0.8	2.2	3.0	1.3	0.8	1.3
Q1-2-4 精神障害者保健福祉手帳	8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
1級	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
2級	15	0	4	3	1	2	3	3	5	0	1	2	0	0	0
	100.0	0.0	26.7	20.0	6.7	13.3	20.0	20.0	33.3	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0
3級	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	137	0	12	7	0	4	11	20	30	2	2	5	4	2	2
	100.0	0.0	8.8	5.1	0.0	2.9	8.0	14.6	21.9	1.5	1.5	3.6	2.9	1.5	1.5
不明	395	1	22	11	13	13	30	35	72	2	9	11	4	3	6
	100.0	0.3	5.6	2.8	3.3	3.3	7.6	8.9	18.2	0.5	2.3	2.8	1.0	0.8	1.5

	合計	緊急通報装置	排泄関連用具	入浴関連用具	火災警報器	自動消火器 ※画像はモリタ宮田工業より	視覚支援に 関わる用具 (スクリーン管理など)	バーション等 視覚情報を調整するもの	イヤマフなど 不快な音を調整するもの	その他	使ったことがない	不明
全体	599	9	35	38	73	11	83	110	84	11	265	11
	100.0	1.5	5.8	6.3	12.2	1.8	13.8	18.4	14.0	1.8	44.2	1.8
Q1-2-4 精神障害者保健福祉手帳	8	1	1	0	2	0	2	2	2	0	4	0
1級	100.0	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0
2級	15	1	1	2	3	2	3	6	1	4	4	0
	100.0	6.7	6.7	13.3	20.0	13.3	20.0	40.0	40.0	6.7	26.7	0.0
3級	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0
わからない	137	4	9	14	15	4	19	30	22	4	55	0
	100.0	2.9	6.6	10.2	10.9	2.9	13.9	21.9	16.1	2.9	40.1	0.0
不明	395	2	23	22	51	4	56	67	46	6	178	10
	100.0	0.5	5.8	5.6	12.9	1.0	14.2	17.0	11.6	1.5	45.1	2.5

(4) ヒアリング調査結果

次ページに記載

[illegible]

(5) アンケート調査用紙

知的に障害のある方の支援機器に係るアンケート調査

1. 調査の目的

当協会では、厚生労働省から補助を受けて「知的障害者の支援機器に係るニーズ情報の収集・提供の在り方に関する調査研究」を実施しているところですが、この度、本事業の一環として、知的に障害のある方を対象にアンケート調査を実施することと致しました。

本調査では、得られた情報をもとに知的障害者(知的障害児を含む。)の支援機器等に関するニーズとして整理分析することとし、知的障害者が日常生活で抱える潜在的な困難を顕在化し、真に必要なとされる支援機器の開発及び普及の促進を図ることを目的と致します。

2. 調査対象

知的に障害のあるご本人(ただし、代理による回答も差支えありません)。

3. 調査方法

知的に障害のあるご本人又は、ご家族や施設・事業所の職員等の支援を受けながらご本人が回答してください。

ただし、ご本人の回答が困難な場合には、ご本人の立場から代理で回答することも差し支えありません。

4. 回答期限

令和6年10月31日(木)まで

5. 調査で得られた情報の取り扱い

調査で得られた情報は、本調査の目的以外の用途で使用することはありません。

6. 調査の実施体制

本調査は、公益財団法人テクノエイド協会が株式会社シード・プランニングに委託して実施するものです。

○に✓をお願いします

F1 あなたは、障害者本人ですか。

- ☐ はい ⇒F3 までお進みください
- ☐ いいえ

F2 前の問いで「いいえ」を選択された方にお尋ねします。あなたは、アンケートの対象者の方との関係を教えてください。

- ☐ 母親
- ☐ 父親
- ☐ 兄、弟
- ☐ 姉、妹
- ☐ 学校の教員
- ☐ 施設職員
- ☐ その他()

F3 アンケートの回答方法^{かいとうほうほう}を教えてください。

- ☐ 障害者本人^{しょうがいしゃほんにん}が回答^{かいとう}する
- ☐ 障害者本人^{しょうがいしゃほんにん}と支援者^{しえんしゃ}で回答^{かいとう}する
- ☐ 支援者^{しえんしゃ}(代理人^{だいにん})^{かいとう}が回答^{した}する ⇒ 下の回答者情報^{かいとうしやじょうほう}を記入^{きにゆう}ください

代理で回答される場合、お手数ですが以下の項目を記入ください。

アンケート回答者情報 (本人以外が記入する場合)	所属団体	
	住所	(〒 —)
	電話	
	担当者所属	
	担当者氏名	
	E メールアドレス	

※本人以外が記入する場合は、本人の立場でご回答ください。

アンケートの記入開始

□または○に✓をお願いします。選択肢の□は複数回答可、○は択一です。

問1-1 あなたは何歳ですか。

- ☐ 10歳未満
- ☐ 10代
- ☐ 20代
- ☐ 30代
- ☐ 40代
- ☐ 50代
- ☐ 60代
- ☐ 70代以上

問1-2-1 あなたの障害者区分を教えてください。

- ☐ 区分1
- ☐ 区分2
- ☐ 区分3
- ☐ 区分4
- ☐ 区分5
- ☐ 区分6
- ☐ 非該当
- ☐ わからない

問1-2-2 あなたの障害の程度を教えてください。

- ☐ 軽度
- ☐ 中度
- ☐ 重度
- ☐ 最重度
- ☐ わからない

問1-2-3 あなたは障害者手帳を持っていますか。

- ☐ 手帳を持っている
- ☐ 手帳を持っていない ⇒ 選択された方は問1-2-5 へお進みください

○ わからない ⇒ 選択された方は問1-2-5 へお進みください

問1-2-4 あなたが持っている障害者手帳で当てはまるものを全て選んでください。

療育手帳	☐ 重度(A、A1、A2など) ☐ その他(B、B1、B2、B3など) ☐ わからない
身体障害者手帳	☐ 1級 ☐ 2級 ☐ 3級 ☐ 4級 ☐ 5級 ☐ 6級 ☐ わからない
精神障害者保健福祉手帳	☐ 1級 ☐ 2級 ☐ 3級 ☐ わからない

問1-2-5 あなたが2種類以上の障害を持つ場合は、その障害名(これまでに判定又は診断されたもの)を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

☐ ASD(自閉スペクトラム症) ☐ 抑うつ ☐ ダウン症 ☐ その他(具体的に: ☐ わからない	☐ ADHD(注意欠如多動症) ☐ 双極性障害(双極症)	☐ LD(学習障害) ☐ 全般性不安障害(全般不安症)
--	---	--

問1-3-1 あなたがいま、住んでいるお家について教えてください。

☐ 一軒家 ☐ 病院に入院している ☐ グループホーム(障害のある方が一緒に生活するアパートなど) ☐ その他(具体的に:	☐ マンション・アパート ☐ 施設に入所している	「一軒家」「マンション・アパート」以外 を選択された方は問1-3-3 へ お進みください。
--	---	---

問1-3-2 あなたのお家には、あなたを含め何人で住んでいますか。

- ☐ ご回答者のみ
- ☐ 2人
- ☐ 3人
- ☐ 4人
- ☐ 5人
- ☐ 6人
- ☐ 7人
- ☐ 8人
- ☐ 9人
- ☐ 10人以上

問1-3-3 あなたのお家に一緒に住んでいる人は誰ですか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | | |
|---|---|---------------------------------------|
| ☐ 自分ひとりだけで暮らしている | ☐ 夫や妻(配偶者) | ☐ 子ども(子どもの妻や夫) |
| ☐ 父、母(親) | ☐ 自分のおじいさん、おばあさん | ☐ 兄弟・姉妹 |
| ☐ その他親せき | ☐ 友人・知り合い | ☐ 支援者・施設職員 |
| ☐ その他(具体的に: | |) |

問1-4-1 あなたは仕事をしていますか。

- ☐ 仕事をしています
- ☐ 仕事をしていない ⇒ 選択された方は問2-1 へお進みください

問1-4-2 あなたはどんな仕事をしていますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|--|--|
| ☐ 正社員・正職員として働いている | ☐ パート・アルバイト・日雇いで働いている |
| ☐ 障害のある方が通う施設で、ものを作ったり作業したりしている | |
| ☐ 家の仕事の手伝い(自営業) | |
| ☐ その他(具体的に: |) |

問1-4-3 どのような仕事ですか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| ☐ 事務職 | ☐ 販売業 | ☐ サービス業 |
| ☐ 運輸業 | ☐ 製造・加工業 | |
| ☐ その他(具体的に: | |) |

問1-4-4 あなたはどのような方法で通勤していますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- ☐ ひとりで公共交通機関(バス・電車)を使用して通勤している
- ☐ ひとりで歩いて通勤している
- ☐ ひとりで車を運転して通勤している
- ☐ 家族に送迎してもらっている
- ☐ ひとりで自転車で通勤している
- ☐ 誰かと一緒に公共交通機関(バス・電車)を使用して通勤している
- ☐ 勤務先のバス等で通勤している
- ☐ 家で働いているため通勤はしていない
- ☐ その他(具体的に: _____)

問2-1 あなたが使ったことのある支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるものを教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | | |
|---|---|----------------------------------|
| ☐ 義肢 | ☐ 装具 | ☐ 姿勢保持装置 |
| ☐ 補聴器 | ☐ つえ | ☐ 歩行器・歩行車 |
| ☐ 頭部保護帽 | ☐ 車いす | ☐ 電動車いす |
| ☐ 意思伝達装置(コミュニケーションエイト) | ☐ 特殊寝台(マットを含む) | ☐ 床ずれ防止用具 |
| ☐ 体位変換器 | ☐ 移動用リフト | ☐ 緊急通報装置 |
| ☐ 排泄関連用具 | ☐ 入浴関連用具 | ☐ 火災警報器 |
| ☐ 自動消火器 | ☐ 視覚支援に関わる用具(スケジュール管理など) | |
- ☐ パーテーションなど視覚情報を調整するもの
- ☐ イヤマフなど不快な音を調整するもの
- ☐ その他(具体的に: _____)
- ☐ 使ったことはない ⇒ 選択された方は問3-1-1 へお進みください

問2-2 問2-1 で答えた支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるもので、現在も使用しているものを教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | | |
|---|---|----------------------------------|
| ☐ 義肢 | ☐ 装具 | ☐ 姿勢保持装置 |
| ☐ 補聴器 | ☐ つえ | ☐ 歩行器・歩行車 |
| ☐ 頭部保護帽 | ☐ 車いす | ☐ 電動車いす |
| ☐ 意思伝達装置(コミュニケーションエイト) | ☐ 特殊寝台(マットを含む) | ☐ 床ずれ防止用具 |
| ☐ 体位変換器 | ☐ 移動用リフト | ☐ 緊急通報装置 |
| ☐ 排泄関連用具 | ☐ 入浴関連用具 | ☐ 火災警報器 |
| ☐ 自動消火器 | ☐ 視覚支援に関わる用具(スケジュール管理など) | |
- ☐ パーテーションなど視覚情報を調整するもの
- ☐ イヤマフなど不快な音を調整するもの
- ☐ その他(具体的に: _____)
- ☐ 現在は使用していない ⇒ 選択された方は問2-5 へお進みください

問2-3 現在使用している支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるものに対して、改良して欲しい点がありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- ☐ 使い方が難しい、分かりづらい ☐ 価格が高い
☐ 使い方や調整などの支援してくれる人がおらず、うまく使えないこと
☐ 安全に使えない
☐ その他(具体的に:)
☐ 特になし

問2-4 問2-1 で答えた支援機器や、環境を改善するために使ったことのあるもので、使わなくなったものがあれば教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | | |
|---|---|----------------------------------|
| ☐ 義肢 | ☐ 装具 | ☐ 姿勢保持装置 |
| ☐ 補聴器 | ☐ つえ | ☐ 歩行器・歩行車 |
| ☐ 頭部保護帽 | ☐ 車いす | ☐ 電動車いす |
| ☐ 意思伝達装置(コミュニケーションエイト) | ☐ 特殊寝台(マットを含む) | ☐ 床ずれ防止用具 |
| ☐ 体位変換器 | ☐ 移動用リフト | ☐ 緊急通報装置 |
| ☐ 排泄関連用具 | ☐ 入浴関連用具 | ☐ 火災警報器 |
| ☐ 自動消火器 | ☐ 視覚支援に関わる用具(スケジュール管理など) | |
- ☐ パーテーションなど視覚情報を調整するもの
☐ イヤマフなど不快な音を調整するもの
☐ その他(具体的に:)
☐ 使わなくなった機器はない ⇒ 選択された方は問3-1-1 へお進みください

問2-5 使わなくなった理由を教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|---|--|
| ☐ 販売中止になった | ☐ 使うのが難しかった |
| ☐ 使うのがめんどくさかった | ☐ あまり効果を感じられなかった |
| ☐ 使用時に必要な支援が受けられなかった | ☐ 使用するために必要な周りの理解が得られなかった |
| ☐ その他(具体的に:) | |

問3-1-1 あなたは、携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)を持っていますか。

- ☐ 自分専用の携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)がある
☐ 誰かと共有している携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)
☐ 携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)を持っていない ⇒ 選択された方は問3-2-1 へお進みください

問3-1-2 携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)を使用するのはどのような時ですか。(当てはまるものを全て選んでください)

☐ 仕事で使う ☐ 趣味で使う ☐ その他(具体的に:	☐ プライベートで調べ物をするとき)
--	---

問3-1-3 携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)で使っている(使ったことのある)機能を教えてください。また、使っている機能はどの程度使っていますか。

	いちにち 1日に何回 も	1日に数回	1日に1回程度	数日に1回 程度	あまり使わ ない
電話	☐	☐	☐	☐	☐
メール	☐	☐	☐	☐	☐
ライン ユーチューブ LINEやYouTube、イ ンスタグラム	☐	☐	☐	☐	☐
ゲーム	☐	☐	☐	☐	☐
地図	☐	☐	☐	☐	☐
カメラ・ムービー	☐	☐	☐	☐	☐
時計	☐	☐	☐	☐	☐
アラーム(タイマー)	☐	☐	☐	☐	☐
スケジュール	☐	☐	☐	☐	☐
インターネット(検索)	☐	☐	☐	☐	☐
計算機	☐	☐	☐	☐	☐
音楽再生	☐	☐	☐	☐	☐
メモ	☐	☐	☐	☐	☐
ボイスメモ(録音)	☐	☐	☐	☐	☐
テレビ電話	☐	☐	☐	☐	☐
コミュニケーションイ ド	☐	☐	☐	☐	☐
その他()	☐	☐	☐	☐	☐

問3-2-1 あなたはパソコンを持っていますか。

☐ 自分専用のパソコンを持っている ☐ 誰かと共有しているパソコンがある ☐ パソコンを持っていない ⇒ 選択された方は問4-1-1 へお進みください

問3-2-2 パソコンを使用するのはどのような時ですか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|------------------------------------|--|
| ☐ 仕事で使う | ☐ プライベートで調べ物をするとき |
| ☐ 本を読む | ☐ 本を読み上げてもら |
| ☐ 学習で使う | ☐ 趣味で使用する |
| ☐ その他(具体的に: |) |

問3-2-3 パソコンを使ってどんなことをしていますか。また、使用している機能はどの程度使っていますか。

	いちにち なんと 一日に何度も	いち すうかい 1日に数回	いち かいていど 1日に1回程度	すうじつ かいていど 数日に1回程度	あまり使わない
インターネット(検索)	☐	☐	☐	☐	☐
メール	☐	☐	☐	☐	☐
ライン ユーチューブ LINEやYouTube、イ ンスタグラム	☐	☐	☐	☐	☐
オンラインミーティング	☐	☐	☐	☐	☐
ゲーム	☐	☐	☐	☐	☐
ワード・エクセル・ パワーポイント	☐	☐	☐	☐	☐
電子図書	☐	☐	☐	☐	☐
読み上げ機能	☐	☐	☐	☐	☐
その他()	☐	☐	☐	☐	☐

問3-2-4 1日のうち何時間ぐらいパソコンを使っていますか。

- ☐ 1時間未満
☐ 1時間以上～4時間未満
☐ 4時間以上～7時間未満
☐ 7時間以上～10時間未満
☐ 10時間以上

問3-3-1 携帯電話(スマートフォン・タブレットを含む)を使用していて、使用しづらかったり不便に思うことはありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|---|---|
| ☐ 操作方法が難しい、分からない | ☐ 使い方を支援してくれる人がいない |
| ☐ トラブルが起きた時に対応できない | ☐ 無料か有料かを判断しづらい |
| ☐ 特にな | |
| ☐ その他(具体的に: |) |

問3-3-2 パソコンを使用して、使用しづらかったり不便に思うことはありますか。
(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|---|---|
| ☐ 操作方法が難しい、分からない | ☐ 使い方を支援してくれる人がいない |
| ☐ トラブルが起きた時に対応できない | ☐ 無料か有料かを判断しづらい |
| ☐ 特にない | |
| ☐ その他(具体的に: |) |

問4-1-1 ふだんの生活で、不便だと思うことはありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ☐ 食事をするとき | ☐ トイレに行くとき |
| ☐ 着替えをするとき | ☐ お風呂・シャワーのとき |
| ☐ 洗顔・歯磨きのとき | ☐ 起きるとき/寝るとき |
| ☐ お金の管理をするとき | ☐ 薬を管理するとき |
| ☐ 外出するとき | ☐ 買い物をするとき |
| ☐ 家事をするとき | ☐ 人とコミュニケーションを取るとき |
| ☐ その他(具体的に: |) |
| ☐ 特にない | |

問4-1-2 それは、具体的にどのようなことですか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|---|--|
| ☐ お金の支払いが難しい | ☐ 公共交通機関(バス・電車)に乗るのが難しい |
| ☐ 公共施設(役所・公民館・図書館)を使うのが難しい | ☐ 医療費が多くかかる |
| ☐ 周りの人の理解が少ない | ☐ 自分の言いたいことが伝わらない |
| ☐ トイレのタイミングが伝えられない、わからない | ☐ 手伝ってくれる人がいない |
| ☐ 生活費が足りない | |
| ☐ その他(具体的に: |) |
| ☐ 特にない | |

問4-1-3 ふだんの生活で、最も困ったことや不便なことを教えてください。(自由記述)

問4-2-1 仕事について、困ったと思ったことはありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|---|--|
| ☐ 自分に合ったお仕事がわからない | ☐ 自分にとって働きやすいところがない |
| ☐ 仕事をさがすとき | ☐ 仕事を見つけたとき |
| ☐ 面接をするとき | ☐ 就労時の手続きのとき |
| ☐ 仕事に行くとき/帰るとき | ☐ 工作中 |
| ☐ 仕事を変えたいとき | ☐ 何か困った時に相談できる場所がない |
| ☐ その他(具体的に: _____) | |
| ☐ 特になし | |

問4-2-2 困ったと思ったのはどんなことでしたか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|--|--|
| ☐ 書類の内容が分かりづらい | ☐ 相談相手がない |
| ☐ WEBミーティングの使い方がわからない | ☐ コミュニケーションを取りづらい |
| ☐ 作業内容が分かりづらい | ☐ 障害のことを理解した支援を受けることができない |
| ☐ その他(具体的に: _____) | |
| ☐ 特になし | |

問4-3-1 おたのしみの時間で困る・不便な「場面」はありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|--|--|
| ☐ 旅行へ行くとき | ☐ スポーツをするとき |
| ☐ 地域の行事や活動に参加するとき | ☐ テレビ・ビデオ・ゲーム等をするとき |
| ☐ 映画・コンサート・美術館・カラオケ等に行くとき | ☐ 友人などとの日程調整ができない |
| ☐ その他(具体的に: _____) | |
| ☐ 特になし | |

問4-3-2 おたのしみの時間で困る・不便な「内容」はありますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | |
|--|--|
| ☐ お店に入りづらい | ☐ 支援してくれる人がいない |
| ☐ サービス・ルール等の内容が分かりづらい | ☐ 施設の設備の使い方がわからない |
| ☐ いろいろな情報を手に入れにくい | ☐ 障害のことを理解した支援を受けることができない |
| ☐ その他(具体的に: _____) | |
| ☐ 特になし | |

問5-1 どのような助けがあればいいと思いますか。(当てはまるものを全て選んでください)

- | | | |
|------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ☐ コミュニケーション | ☐ 移動 | ☐ 食事 |
|------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|

☐ 入浴 にゆうよく	☐ 排泄 はいせつ	☐ スケジュール管理 かんり
☐ 時間の管理 じかん かんり	☐ お金の管理 かね かんり	☐ ICT機器の利用 アイシーティー きき りよう
☐ その他(具体的に: た ぐたいてき)		

問5-2-1 環境改善や支援機器を使ってやりたいこと/出来るようになりたいことはありますか。
(当てはまるものを全て選んでください)

☐ 他の人いろいろな話をしてみたい ほか ひと はなし	☐ スムーズに移動したい いどう
☐ お金を管理したい かね かんり	☐ 落ち着いて生活や仕事がしたい お っ せいかつ しごと
☐ こんな仕事がしてみたい(具体的に: しごと ぐたいてき)	
☐ その他(具体的に: た ぐたいてき)	

問5-2-2 どのような環境改善や支援機器があると良いと思いますか。(自由記述)

問 5-2-3 ロボットやICT(情報通信技術)、AI(人工知能)を活用した環境改善や支援機器に期待することを教えてください。(当てはまるものを全て選んでください)

☐ 日常生活が便利になる にちじょうせいかつ べんり	☐ 働きやすくなる はたら
☐ 好きなことにもっと挑戦できる す ちようせん	
☐ その他(具体的に: た ぐたいてき)	

問5-2-4 環境改善や支援機器において、重視する特徴は何でしょう。(当てはまるものを全て選んでください)

☐ 操作が簡単になる そう さ かんたん	☐ 持ち運びしやすい大きさ も はこ おおき	☐ かっこいい
☐ 安い やす	☐ こわれにくい	
☐ その他(具体的に: た ぐたいてき)		

問6 その他、ご意見やご要望がございましたらご記入ください。(自由記述)

以上

ご協力ありがとうございました。これですべてのアンケートは終了です。

(6) ヒアリング調査用紙

知的障害者の支援機器に係るニーズ情報の収集・提供の
在り方に関する調査研究 ヒアリング調査

1. 調査の日時及び場所、訪問者

調査日	令和6年 月 日 ()
場 所	
訪問者 (予定)	公益財団法人テクノエイド協会 企画部 ○○○○
	株式会社シード・プランニング ○○○○
メールアドレス	
電話番号	03-3266-6883 (テクノエイド協会)

2. ヒアリング調査の対象 ※アンケート調査より取得

所属団体	—
住所	—
電話	—
ご担当者所属	—
ご担当者氏名	—
メールアドレス	—

3. ご本人の基本情報 ※アンケート調査より取得

年齢、障害区分等	—
----------	---

4. ヒアリング内容 ※お応え可能な範囲で差支えありません。担当者からインタビューさせていただきます。

(1) 日常生活全般にかかること

日常生活での困りごと	
本人の希望	
支援のあり方	

(2) 支援機器等の開発に係るニーズ、期待や想いについて ※下記から選択またはすべて

① コミュニケーションや意思決定・支援について

困った場面	
困った場面への対応状況	

今後の期待	
-------	--

②情報収集・理解、文化芸術・リクレーション等に関すること

困った場面	
困った場面への対応状況	
今後の期待	

③お金の管理に関すること

困った場面	
困った場面への対応状況	
今後の期待	

④福祉用具・環境改善の開発改良に関すること

課題・要望	
期待	
配慮事項	

(3) その他、

本調査へのご協力、誠にありがとうございました。

Ⅱ．福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの運用

1. 事業概要

(1) 事業の目的

当協会では、2009年（平成21年）度、厚生労働省から開発費の補助を受けて、障害者や介護者の生の声と福祉用具の開発者や研究者を結ぶ「福祉用具ニーズ情報収集・提供システム（以下、本システム）」を開発し、運用しているところである。

(<https://www7.techno-aids.or.jp/>)

本システムは、障害のある方や介助されている方等から、よりよい福祉用具を作るためのご意見やご要望、日常のお困り事などの情報を収集し、メーカーや研究者へ橋渡しするためのものである。

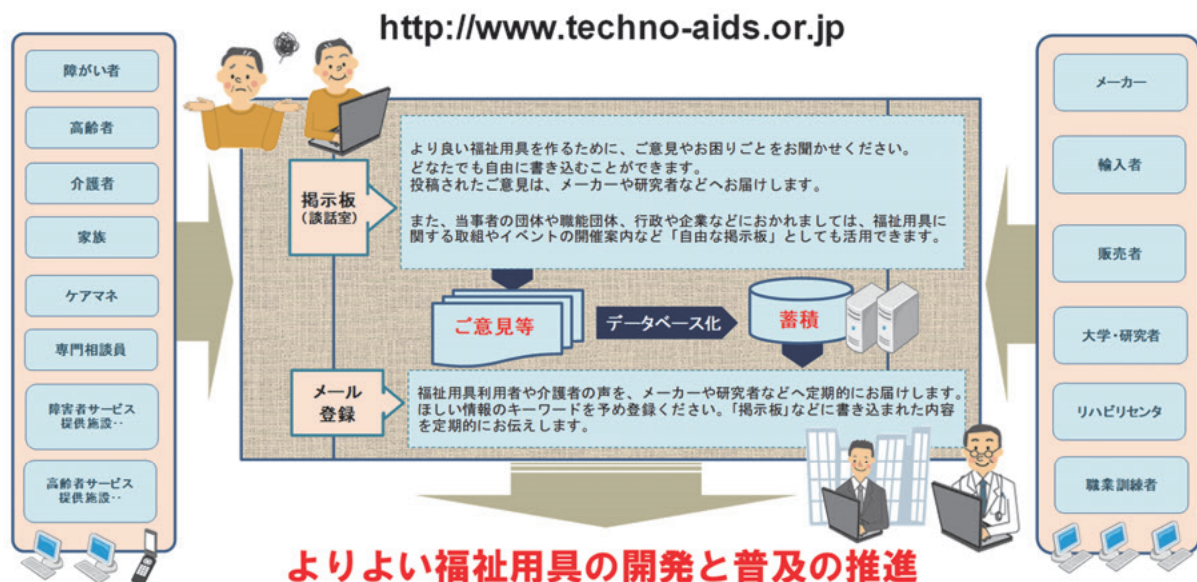
ニーズ・シーズマッチング交流会において本システムの周知を行い、ニーズ及びシーズの収集に努めた。

検討経過及びシステム概要

年度	主な事項
平成21年度	○「福祉用具ニーズ情報収集・提供システム」の開発
平成22年度	○福祉用具有識者会議の設置（本システムの活用方策を検討）
平成23年度	○福祉用具有識者会議による検討 ・これまでに寄せられたご意見等の整理、分類の体系化 ・本システムの一部改良 ・本システムの課題と今後の方向性についての取り纏め
平成24年度	○「生活便利用具（自助具）情報提供システム」の開発を検討 ○本システムの改良（「ご意見」と「掲示板」の統合）
平成25年度	○「生活便利用具（自助具）情報提供システム」の運用を開始 ○団体等の協力を得て、家族会等の場においてニーズ収集
平成26年度	○「生活便利用具（自助具）情報提供システム」の改良 （管理機能の拡充） ○シーズ・ニーズマッチング交流会にてニーズ収集
平成27年度	○本システムの大幅改修 ・操作及び利便性の向上、デザインの変更 ・スマートフォンからのニーズ投稿を可能とするシステム改修
平成28年度	○シーズ・ニーズマッチング交流会と連携し、障害当事者団体の協力により作成したニーズ集の内容を本システムに掲載
平成29年度	○シーズ・ニーズマッチング交流会と連携し、障害当事者団体の協力により作成したニーズ集の内容を本システムに掲載

年度	主な事項
平成30年度	○シーズ・ニーズマッチング交流会と連携し、障害当事者団体の協力により作成したニーズ集の内容を本システムに掲載 ○「生活便利用具(自助具)情報提供システム」の改良 (メール配信機能の追加等)
令和元年度	○時代のニーズに即した本システムの在り方に関する検討 (投稿状況のビジュアル表示、メール配信機能の追加等)
令和2年度	○シーズ・ニーズマッチング交流会等のイベントにて、本システムを周知
令和3年度	○本システムの一部改良 ・年度末集計ツールの作成 ・既存データ及びマスターの追加 ・操作ガイドの改訂
令和4年度	○ニーズ・シーズマッチング交流会等のイベントにて、本システムを周知
令和5年度	○システムのデザインを一新
令和6年度	○ニーズ・シーズマッチング交流会等のイベントにて、本システムを周知

福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの概要



本システムを通じて

- 福祉用具に係わる掲示板として、どなたでも手軽に活用できます。
- 投稿されたご意見やご要望は、福祉用具のメーカーや開発者へ、定期的に届けられます。
- よりよい福祉用具の開発研究に役立てます。
- 障害者自立支援機器等開発促進事業の開発テーマとして活用できます。

(2) 主な実施内容

本システムに寄せられたご意見等の分類・整理、体系化を実施

(3) ニーズの収集状況

障害者のニーズを踏まえた福祉用具の開発・普及を推進するため、平成22年度から運用している本システムにこれまで寄せられた、「要望・アイデア・課題」、「新製品や技術」、「お知らせ」の3項目について、直近5年間の累計投稿件数は以下のとおりである。

令和6年度は、前年から37件増加し、1046件の投稿件数となった。

○累計投稿件数（直近5年間）※令和7年3月25日現在

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
累計 投稿件数	885件	932件	960件	1009件	1046件

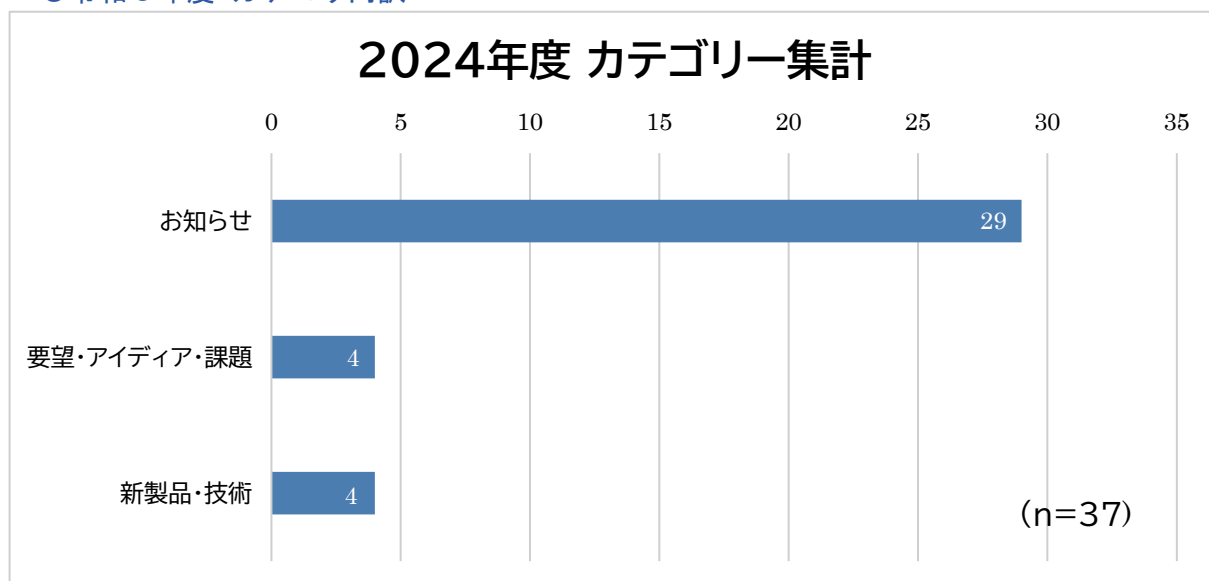
○投稿カテゴリの内訳（直近5年間）※令和7年3月25日現在

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
要望 アイデア 課題	14	7	7	9	4
新製品 技術	9	12	5	13	4
お知らせ	25	28	16	27	29
総計	48件	47件	28件	49件	37件

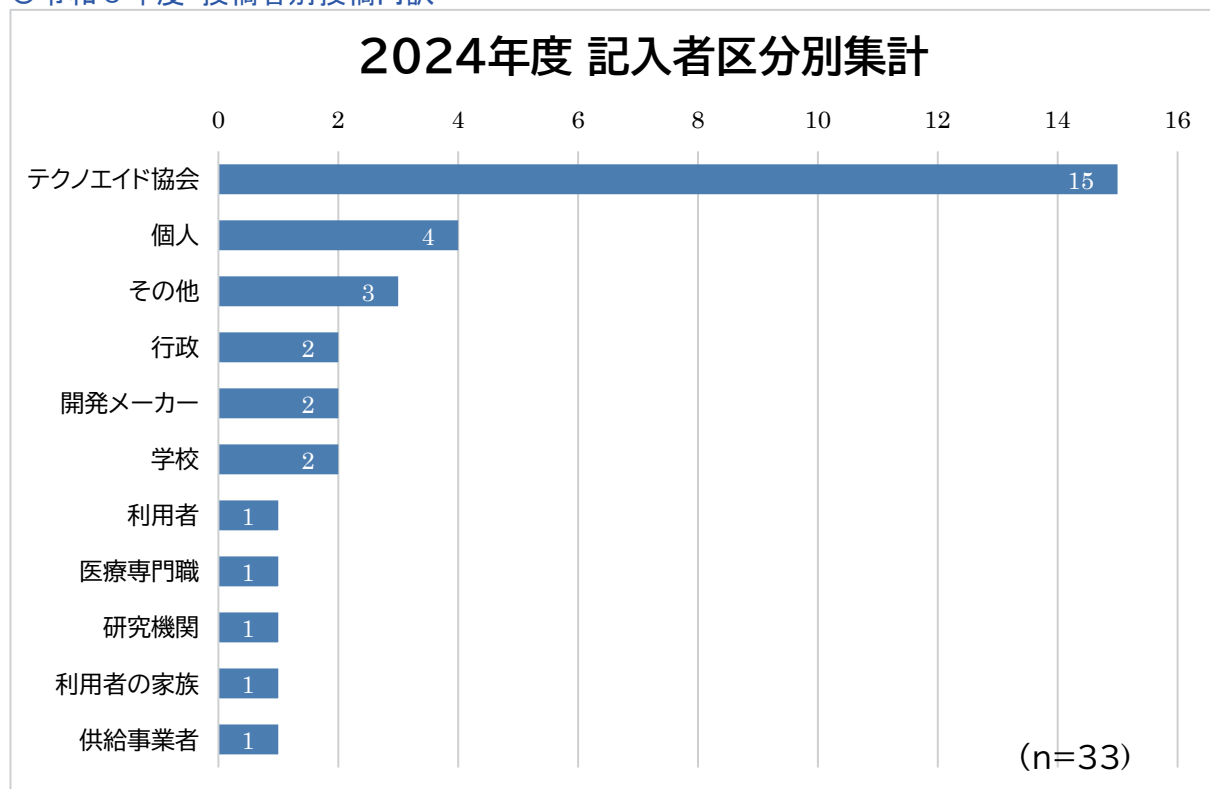
(4) ニーズの集計・傾向

以下、集計した結果をカテゴリ別、投稿者別、利用対象者別、キーワード別にグラフ化したものを記す。

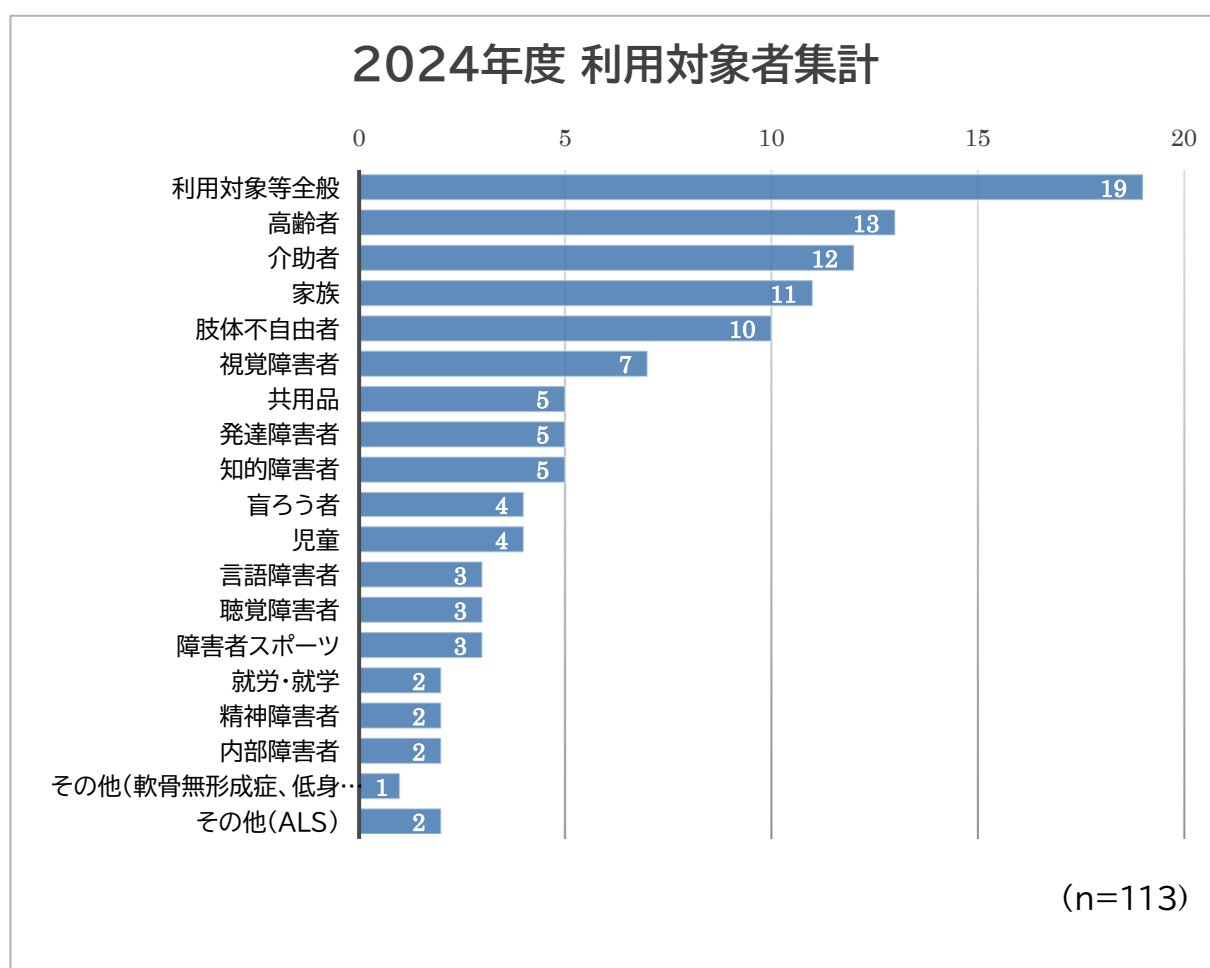
○令和6年度 カテゴリ内訳



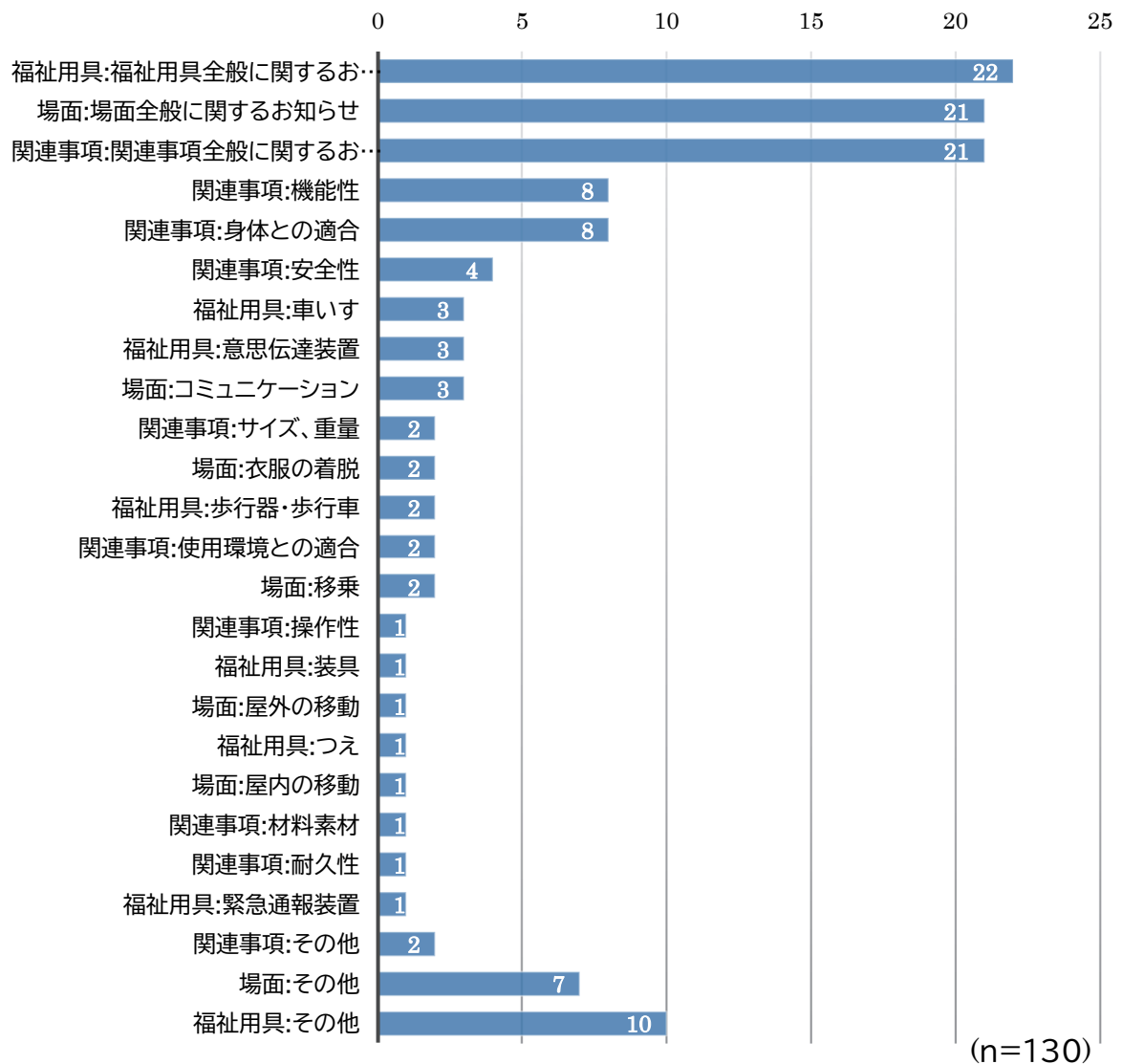
○令和6年度 投稿者別投稿内訳



○令和6年度 利用対象者別投稿内訳



2024年度 キーワード(場面、福祉用具、関連事項)集計



(5) 主な投稿内容について（令和6年度の新規投稿）

今年度の主な「要望・アイデア・課題」の投稿内容については以下のとおりである。

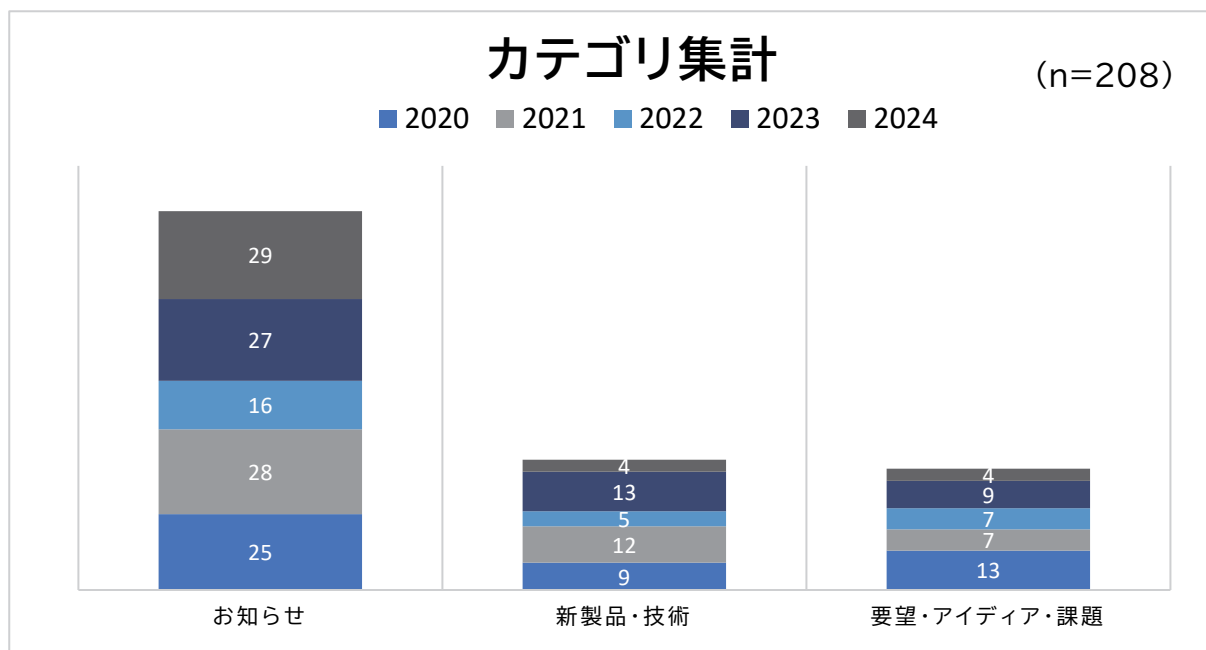
キーワード	名称・機能	内容
移乗 福祉用具全般に関するお知らせ 安全性 機能性 身体との適合	筋トレで使われるトレーニングベルトを介護の現場で活用	フリーウェイトトレーニングで使われるトレーニングベルトを介護現場で活用できないかと考えております。トレーニングベルトを使用することで腹圧が高まり、体幹の固定力を高め怪我の防止や筋力発揮能力の効果を発揮します。 そこで、介護業務を含む保健衛生業において、発生する業務上疾病の約8割が腰痛であり、動作別腰痛発生割合の約8割は人の移乗となっています。トレーニングベルトを施設や病院で使えるようなデザインで作成使用と考えております。いかがでしょうか。
移乗 その他(福祉用具)コルセット 安全性 機能性 耐久性	取って付きコルセット	コルセットにフレキシハグベルトのような取っ手をつけることで、腰痛を予防しながら移乗介助を行えると考えています。
屋内の移動 つえ 歩行器・歩行車 身体との適合	公共施設での貸出補助具の拡大 (上肢不自由)	小型のキャリーケースを、杖や手すり 兼 カバン として持ち歩いています。 ヘルプマークを付けていても、美術館や劇場でロッカーやクロークに預けるよう案内されることが多いです。 でも、貴重品と杖を出す、など物の出し入れが上肢不自由者にはかなり手間です。 せめて、車椅子やベビーカー同様、歩行器や杖（トレッキングポール）の館内貸出ができれば。と思います。
その他(場面) 日常 装具 安全性 機能性 サイズ、重量	眼押しチック防止軽量ヘルメット	製作頂けるのか解りませんが、二十歳になる障害（視覚障害：右目失明、左目裸眼 0.01/ADHD, Tourette 症候群、強迫性障害、癲癇）のある娘がおりますが、眼を押すトゥレット症が現在出ておりわずかに残る視力を守るためにバイク用フルフェイスヘルメットを被せてガムテープを貼り付け首側から顔に手が

キーワード	名称・機能	内容
		届かないよう固定しております。しかしこれではまともに外を歩けないため軽量で尚且つしっかりした隙間のないヘルメットが欲しいのですが、どこかでこのようなカスタム装具を作って頂けないものか探しております。

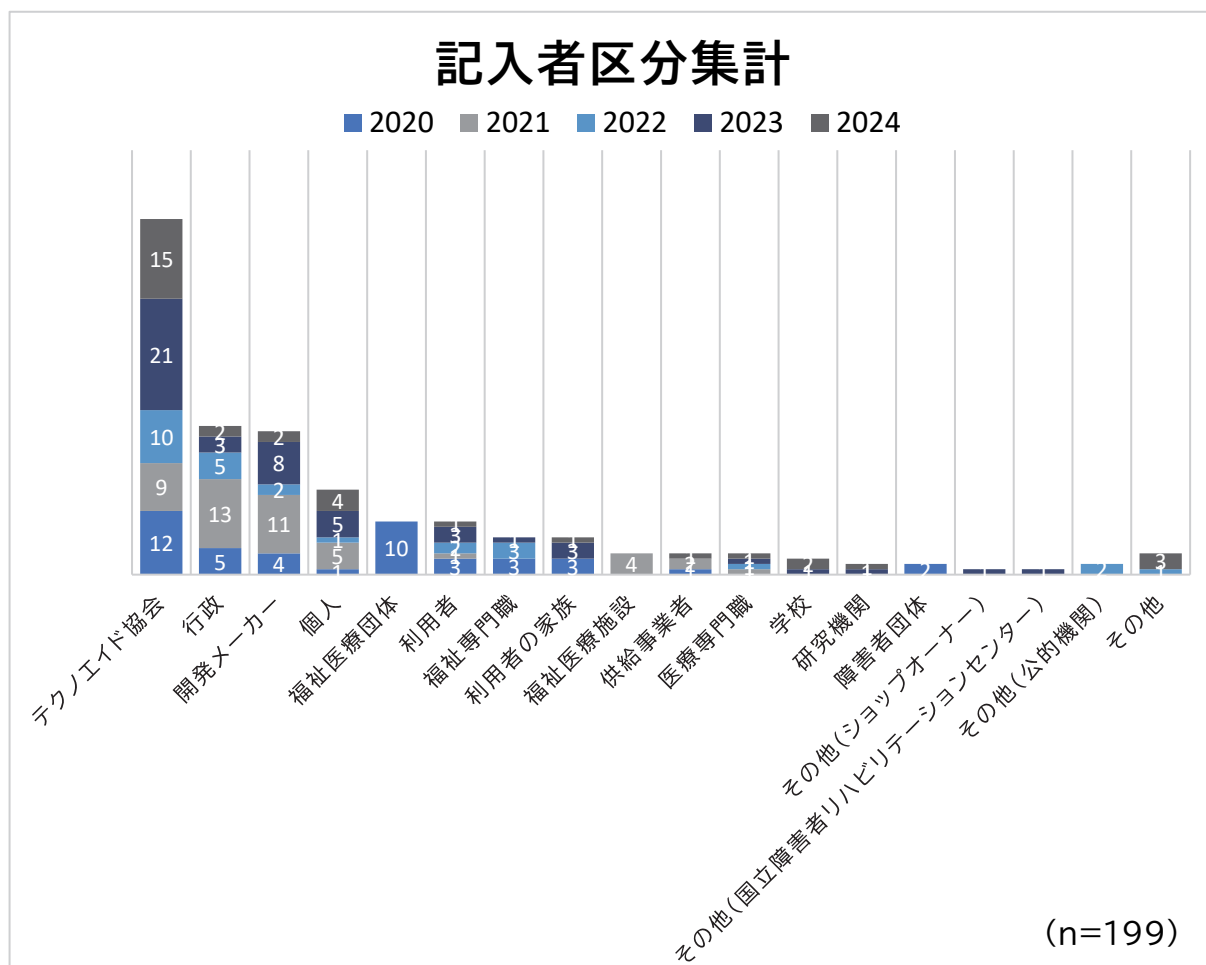
2. 別添資料

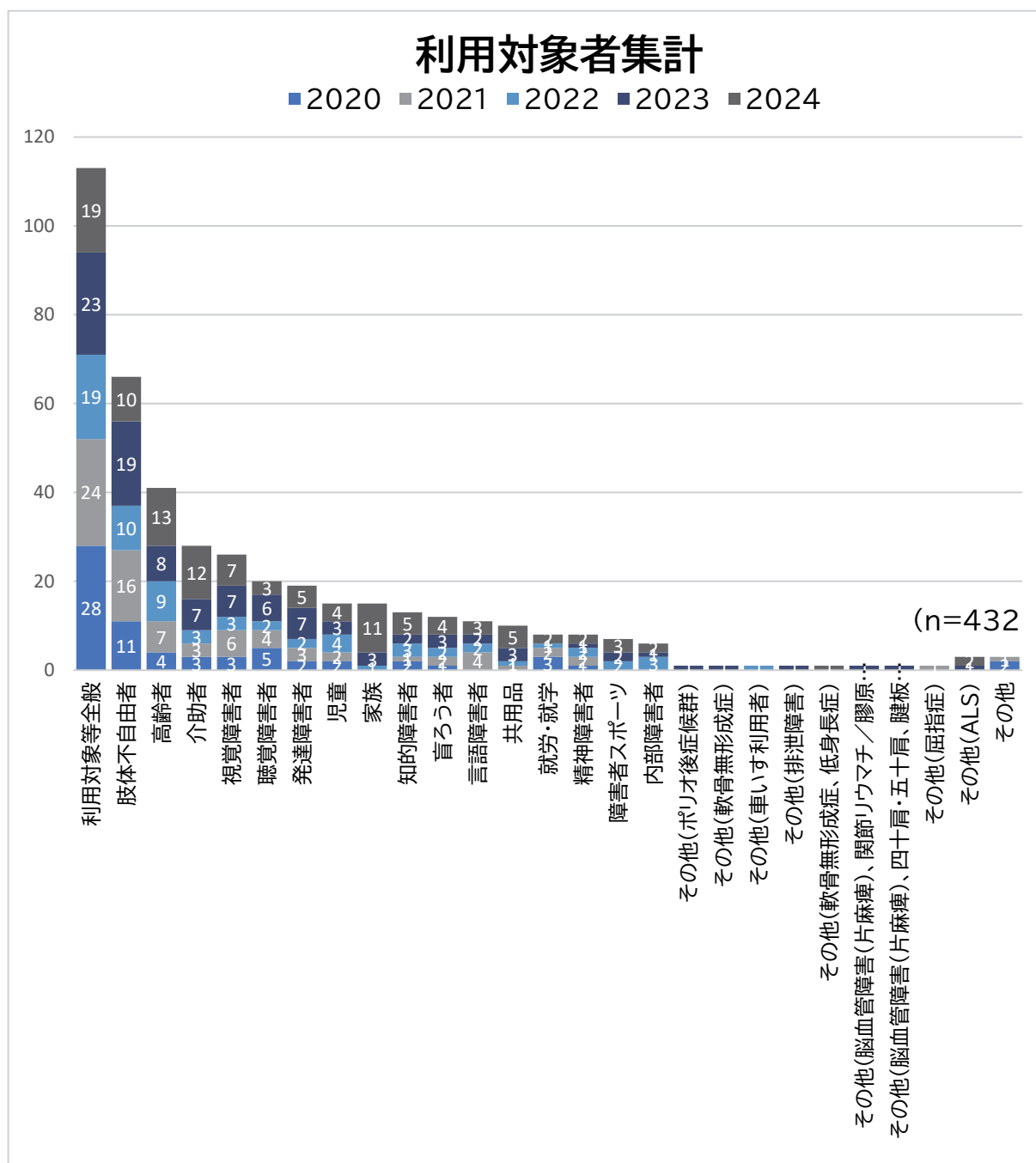
(1) 過去5年間における福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの投稿状況

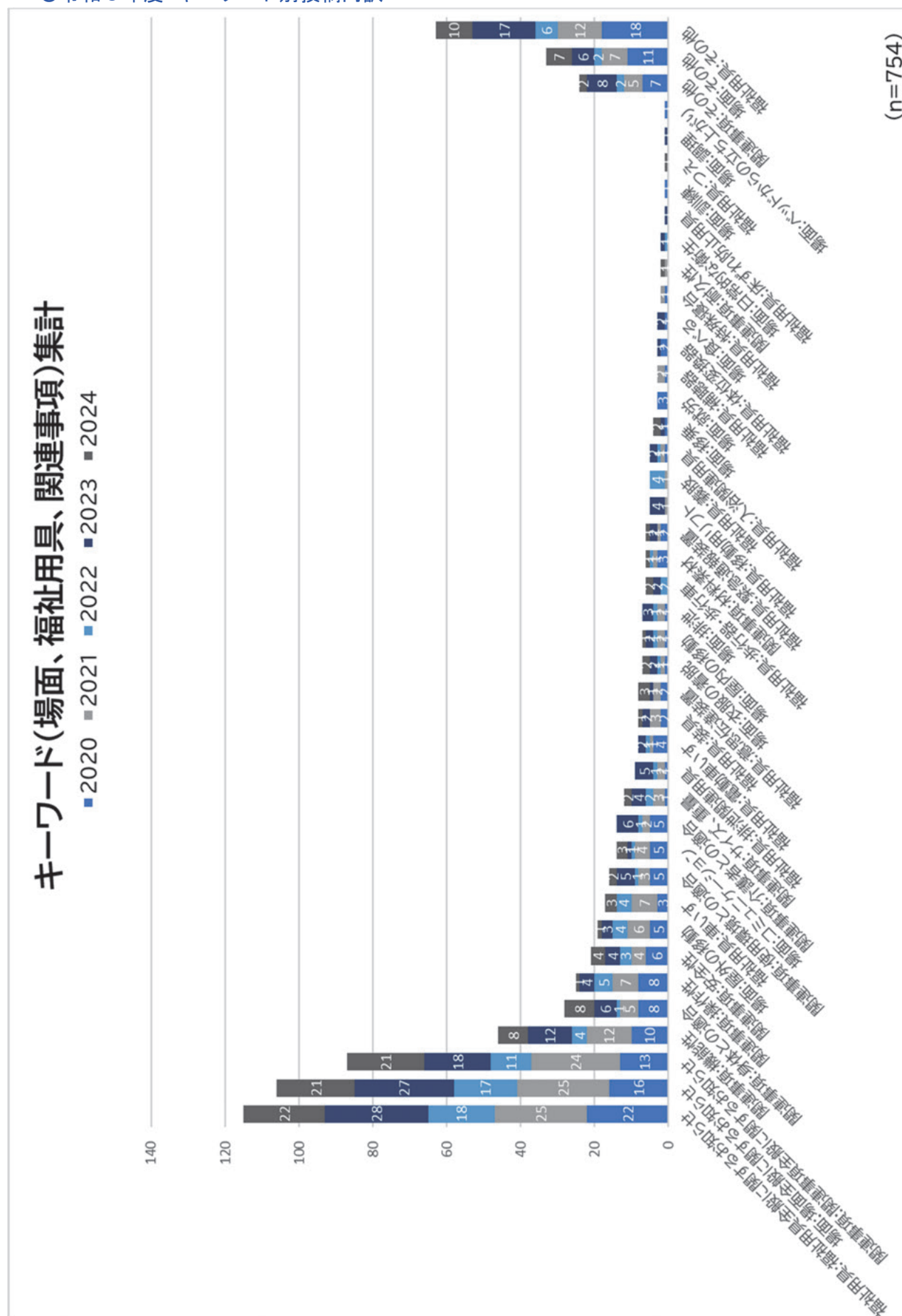
○令和6年度 カテゴリ内訳



○令和6年度 投稿者別投稿内訳







(2) 過去5年間における福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの投稿内容

過去5年間における福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの投稿内容

投稿No.	年度	カテゴリ	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
1073	2024	要望・アイデア・課題	その他(場面) 日常	装具	記入者の家族	眼押しチップ防止軽量ヘルメット	視覚障害者 知的障害者 発達障害者	お世話になります。製作頂けるのが解りませんが、二十歳になる障害者(視覚障害：右目失明、左目視認001/ADHD、Tourette症候群、強性性障害、癲癇)のある娘がおりますが、眼を押すトゥレット症が現在出ておりわずかに残る能力を守るためにハイク用フルウェーヘルメットを被せてカムテープを貼り付け首制から顔に手が届かないよう固定しております。しかしこれではまだ目にも外を歩けないため軽量化で尚且つしっかりした隙間のないヘルメットが欲しいのですが、どこかでこのようなカスタム装具を作って頂けないものか探しております。
1078	2024	新製品・技術	その他(場面) 場面全般	その他(福祉用具) 衣類、洋服	テクノエイド協会	軟骨無形成症、低身長の方のための洋服製作のプロジェクトが始動	その他(軟骨無形成症、低身長症)	事務局より入力を代行いたします。 私は軟骨無形成症(指定難病276)の子を持つ母親で、GAGO-276-という軟骨無形成症、低身長症向けの洋服製作をしております。南條万紀子と申します。この度、2回目のクラウドファンディングをどうぞ、よろしくお願いいたします。 【軟骨無形成症という病気について】 軟骨無形成症は2万人に1人の出生といわれ、全国に5,000～6,000人いると言われています。骨系統疾患の中では代表的な疾患で、遺伝子の変異が認められ、骨の成長に関わる軟骨の異常による病気です。特徴としては、頭が大きく低身長(成人の女性の平均が125cm前後、男性の平均が130cm前後)、四肢や指の短縮、背骨の反り返り、大きなお尻や太い太もも、そして年齢とともに上半身と下半身のバランスの悪さがより目立ってくるということがあげられます。 【プロジェクトを立ち上げたきっかけ】 軟骨無形成症の洋服は市販の服では、ヒックリと差られるサイズはありません。市販の服を着るためには袖丈や裾丈のサイズの変更はもちろんです。デザインの変更も必要となる場合があり、時間や費用もかかります。 【今回のプロジェクトで実現したいこと】 軟骨無形成症の特徴ある体形に合った素材のパンツ、気になる体形を緩和し、履き心地の良いパンツを製作していきま。今回は前回のパンツより強りのあるカジュアルパンツにする予定です。 対象は制作費の割合上ワンサイズとなり、我が子を含めた120cm前後のパンツの予定で。今回は制作費のおおのびのびなデザインが生かせることが出来ればとも考えております。 詳しくは下記(別サイトに移行します)をご参照ください。 READYFOR https://readyfor.jp/projects/GAGO-276-CF2

投稿No.	年度	カテゴリー	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
1082	2024	新製品・技術	コミュニケーション	意思伝達装置	医療専門職	意思伝達アプリ「sboard JP」	肢体不自由者 視覚障害者 聴覚障害者 言語障害者	「sboard JP」は、PCでの文字入力に難しい場合に、スキャンキー、あるいは自動フリックで日本語の文字を入力できるWindows用アプリです。コミュニケーションに困難を抱える方々の、日常生活における意思伝達の障壁を取り除き、利用者が自分の考えや感情を簡単に表現できるようサポートします。簡易の意思伝達装置として使用してください。また、操作支援スイッチを使って操作したい場合にもお使いください。 主機能： ・キーボードフリック(スキャンキー機能) ・マウス操作（自動クリック、滞留機能） 主な特徴： スキャンキーや自動クリックを使って文字を入力し、キーボードやマウスの操作を補助します。主な機能には、文字入力のスキャンキー機能、自動フリック、メール送信機能、テキストのフリックポートコピーなどがあります。さらに、カスタマイズ可能なスキャンキー速度やフリック時間の設定も可能です。 ■直感的なインターフェース： シンブルで使いやすいデザインにより、初めての方でもすぐに使いこなせます。 （最初はスペースキーでスタートします。まずは、スペースキーのみで入力してみてください。） ■多言語対応： 日本語版と英語版があります。 ■音声出力機能： テキストを音声に変換する機能を備えており、声を出せない方でも意思を伝えることが可能です。 ■視覚障害者対応： 音声機能により、視覚障害のある方々も利用できる設計になっています。 ■無料で利用可能： 「sboard JP」は無料でダウンロードして利用できます。意思伝達装置が使えるかどうか、試してみたい時に使用してください。 利用シーン： ■日常生活： 家族や友人とのコミュニケーションが円滑になり、より充実した生活を送ることができます。 ■医療現場： 医療スタッフとの意思疎通がスムーズになり、適切なケアを受けるための手助けとなります。 ■教育現場： 学校や学習支援施設での利用により、教育の機会を広げることができます。 問題点や課題： メール設定や詳細なカスタマイズなど、一部の操作には介護者やサポートスタッフの助けが必要となる場合があります。また、定型文はサポートしていないので、文字入力に時間がかかる場合があるかもしれません。） 「sboard JP」は、コミュニケーションのバリアを取り除き、利用者が自立して生活するためのツールです。より多くの方々がご使用できるよう、サポート支援をお願い申し上げます。 ■ホームページ https://plainstudio.org/ 開発者： Accessibility Design 理学院法士 桂 工朗
1083	2024	要望・アイデア・課題	屋内の移動	つえ 歩行器・歩行車	利用者	公共施設での貸出補助員の拡大（上肢不自由）	肢体不自由者	小型のチャリゲーズを、杖や手すり 兼 カバン として持ち歩いています。 ヘルプマークを付けていても、美術館や劇場でロッカーやクロークに預けるよう案内されることが多いです。 でも、貴重品と杖を出す、など物の出し入れが上肢不自由者にはかなり手間です。 せめて、車椅子やベビーカー同様、歩行器や杖（トレッキングポール）の館内貸出ができれば、と願います。

投稿No.	年度	カテゴリ	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
1087	2024	新製品・技術	屋外の移動	車いす	開発メーカー	【車いす利用者用レインウェア】正式販売開始のご案内	肢体不自由者 障害者スポーツ 高齢者 児童 家族 介護者 共用 品 利用対象等 全般	昨年こちらで投稿しアイデアも頂戴しました【車いす利用者用レインウェア】が無事に開発を終え、正式販売を開始しました。弊社ウェブサイトで、アマゾン、ヤフー、マクアケストアでご購入いただけます。 【ひざ掛け】【ジャケット】は別々でも、セットでもご購入できます、これまでの販売状況をみますと、ひざ掛けのご購入者が約70%を占めます。 医療・介護系法人向け（法人購入および法人から対象者様のご紹介）には、特別な割引もご提供しておりますので気軽にお問い合わせください。 新聞にも掲載されました。 https://www.tokyo-nip.co.jp/article/337121 《ご購入サイト》 ▼弊社ウェブサイト https://www.carewill.co.jp/products/wheelchair-raincoat ▼アマゾン https://amzn.to/4fN5yp ▼ヤフー https://store.shopping.yahoo.co.jp/carewill/b0e1cec1c9.html ▼マクアケストア https://www.makuae.com/project/carewill3/ コルセットにフレキシバグベルトのような取っ手をつけることで、腰痛を予防しながら移動介助を行えると考えています。
1094	2024	要望・アイデア・課題	移乗	その他(福祉用具)コルセットコルセット	学校	取って付きコルセット	内部障害者 高齢者 家族 介護者	
1096	2024	要望・アイデア・課題	移乗	福祉用具全般に関するお知らせ		筋力と使用されるトレーニングベルトを介する環境で活用	介護者	フリーウェイトトレーニングで使用されるトレーニングベルトを介護現場で活用できないかと考えております。トレーニングベルトを使用することで筋力が上がり、体幹の安定性を高め怪我の防止や筋力発揮能力の効果を発揮します。そこで、介護業務を含む保健衛生職において、発生する業務上疾病の約8割が腰痛であり、動作別腰痛発生割合の約8割は人の移乗となっており、トレーニングベルトを施設や病院で使用できるようなデザインで作成使用とさせていただきます。いかがでしょうか。
1104	2024	新製品・技術	コミュニケーション	聴覚伝達装置	供給事業者	口述筆記「読心録（ごしんろく）」	聴覚障害者 言語障害者 高齢者	「読心録（ごしんろく）」は、医療現場からの要望を基に開発されたシステムです。リアルタイムで音声を入力し、指やタッチペンを介して画面上に直接文字を書き込めるペイント機能を持っています。目の不自由な方が日常生活で直面する聴覚伝達の壁を取り除き、円滑なコミュニケーションをサポートします。また、オフライン環境での文字起こしに対応しているため、会議が外部に漏れる心配がなく、セキュリティ面でも安心してご利用いただけます。 主な機能： ・リアルタイムで音声を入力して起こす機能 ・指やタッチペンを介して画面上に直接文字を書き込めるペイント機能 主な特徴： オフライン環境での文字起こしに対応しているため、利用時にLTEやWi-Fiなどの通信環境を必要としません。そのため、音声を入力して起こす際の情報が端末の外部に漏れる心配がなく、セキュリティ面でも安心してご利用いただけます。また、現場で必要とされる機能に絞り込むことで、直感的な操作が可能となり、どなたでも簡単にお使いいただけます。 利用シーン： ・病院での問診 ・窓口でのやり取り ・デイケアのコミュニケーション 実証実験にてご利用者様の声をお聞きしております。 ・宇都市 ・五反田リハビリテーション病院 ・山口大学附属病院 ホームページ： https://www.medicany.co.jp/
1022	2023	新製品・技術	屋外の移動	その他(福祉用具)歩行支援アプリ	テクノエイド協会	「スマホでAIが音声通案内」視覚障がい者歩行支援アプリEye Naviの提供開始	視覚障害者	Eye Naviは、スマートフォンひとつで、道案内と障害物検出、歩行レコーダー機能を備えた歩行支援アプリです。 目的地までの方向や経路、周辺施設、進路上の障害物、歩行者信号の色、点字ブロック等を音声で知らせます。誰もがどこへでも自由なく移動できる社会の実現を目指しています。 開発元：株式会社コンピュタサイエンス研究所 視覚障がい者歩行支援アプリEye Navi https://eyenavi.jp/ https://www.computer-science.co.jp/website/news20230412.php

投稿No.	年度	カテゴリ	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
1024	2023	要望・アイディア・課題	場面全般に関するお知らせ	緊急通報装置 排泄用具(福祉用具)	医療専門職	在宅で寝たきりの方へ用肩付きセンサーを介護保険で取り扱うて欲しい	肢体不自由者 高齢者 児童 介護者	認知症で一人で起き上がったり、難床したりするセンサーはありますが、寝たきりの状態でいけ拍数や呼吸や脈、排便などのセンサーがいくつかの箇所で使われています。自宅で寝たきりでいる方が状態が変化したりに別室や自宅外へ安全に付けられるようなセンサーと通信機器が介護保険でレンタル可能であったり日常生活用具給付対象であればもう少し安心して在宅介護を行えるように思っています。
1027	2023	新製品・技術	食べる	その他(福祉用具)生活雑貨	開発メーカー	〃形状変形可能な自動肩(くうほの)の販売を開始しました。	日用品 共用品	ユニチカトレディング株式会社は形状変形可能な自動肩(くうほの)の販売を開始しました。 本製品は3Dプリンターで作成した3タイプのカタラー固定具で、簡単な加熱で使いやすい形状に調整できるのが特徴です。 製品の詳細は「くうほの」専用webサイトに掲載しておりますのでぜひご覧ください。 https://kupononitrade.co.jp/
1032	2023	要望・アイディア・課題	排泄	排泄関連用具	研究機関	家族の負担なしの在宅介護システム	肢体不自由者	自励具「くうほの」は皆様からのご意見やご要望をもとに製品改良や新商品の開発に取り組み、更に安全で使いやすい商品をお届けできるよう努めて参ります。 くうほの弱って自力ではトイレに行くことができず、トイレ付帯で寝たきりの人の場合➡ 「夕食は何にしますか?」⇒「中華料理とビール一杯がいい!」⇒「いつもの○○軒のエビチリ定食とビールです!」⇒「そうです。」⇒(○○軒から前庭証派遣センターに連絡をし)「○○時に口毛に18時に届けるので、配膳とビールを送る!食事が終わるまで話し相手になり、その後食器を流して、玄關先に出しておいて欲しい、という電話連絡を入れる。」⇒時間が間に合う、近くに住む(小学生を遊ぶ)誰かが派遣される仕組み。 添付図のように、極楽ベッドの上にトイレを必要としない場合のシステムも、子供を含め世界の若者男女が欲しくなるものと考えています。なぜなら! 極楽ベッドでぐっすり眠り、(朝は目覚ましアラームではなく)ベッドがリクライニング椅子に自動的に変わると同時に、窓人を多少準化したキャラのアバターが、(昨夜の会話等で、本人の手元が分かったの)「おはよう、今日は午前中は会議で、午後からは○○外出ですね。午後から雨が降る可能性があるのでは後を忘れたいね。」等の会話をしてくれて、出がけには「早くかえってきてね。」と窓人のような会話をしてくれると考えています。 すなわち、心の中で一緒に生きている感があり、寂しくならない、「遠化したペット」のような位置づけになるかと考えています。 詳しくは「木造人工島」で検索され、ガーデンフィールドのホームページの「カフェサキシステム」をクリックされ、資料をご参照下さい。 ご購入だけでしたら、いかにご連絡をいただければと助かります。 川崎市宮前区：ガーデンフィールド株式会社 代表 廣田花次 ホームページ：https://www.garden-field.com/ メール：hirota.vulff@garden-field.com 電話：090-5203-8627
1034	2023	要望・アイディア・課題	排泄	床ずれ防止用具 福祉用具全般に関するお知らせ	利用者	ニューファミリア介護システム	肢体不自由者	寝返り不要の極楽ベッドと同じのない洗トイレ及びロボットウォッシュレットを組み合わせたハード技術にて、おむつ交換を排除した「軽介護」を実現し、施設者に比べ介護する人を2〜3倍に減らすためのファミリーを構築し、チャットGPT(AI)で、各人の軽介護のスケジュール管理をこまめに代行、顔認証システムで安全な人のみが入れるシステムにし、食事の宅配システムを構築に利用する、ニューファミリアシステム企業いたします。詳しくは、「木造人工島」で検索され、ガーデンフィールドのホームページの「家族の負担Oの在宅介護システム」をウィックされた、資料をお読みください。
1035	2023	要望・アイディア・課題	移乗	移動用リフト	個人	車椅子からの移し替え作業について	肢体不自由者 高齢者 介護者	投稿内容は車椅子の“移し替作業”についてですが、先日あるきっかけで興味を持ち、少し変わったアイデアが浮かんだことにより、書面を作成して周囲の方々の協力の下で、先日一軒持ち出し見学させて頂きました。6/28の修正と追加個人で考えた内容であるため、専門家立場での声を直接伺う機会を設けて頂ければと思います。また可能でありましたら、開閉スイッチや足踏などをお知らせをお願いします。
1037	2023	要望・アイディア・課題	場面全般に関するお知らせ	その他(福祉用具)聴覚過敏関連用具	利用者の家族	聴覚過敏対策	聴覚過敏者	アイデアの要点を簡単に申し上げますと、車椅子の座椅子部分と台車部分を別の機械(昇降機)で分離させる機能を持つことで、他の介護医療用品への移し替え業務の負担が大幅に軽減される内容(車椅子の座面が電圧移し変わる方法)になります。画像の一部(全面席についた「軽介護」を達成し、施設者に比べ介護する人を2〜3倍に減らすためのファミリーを構築し、チャットGPT(AI)で、各人の軽介護のスケジュール管理をこまめに代行、顔認証システムで安全な人のみが入れるシステムにし、食事の宅配システムを構築に利用する、ニューファミリアシステム企業いたします。詳しくは、「木造人工島」で検索され、ガーデンフィールドのホームページの「家族の負担Oの在宅介護システム」をウィックされた、資料をお読みください。 施設内は車椅子の“移し替作業”についてですが、先日あるきっかけで興味を持ち、少し変わったアイデアが浮かんだことにより、書面を作成して周囲の方々の協力の下で、先日一軒持ち出し見学させて頂きました。6/28の修正と追加個人で考えた内容であるため、専門家立場での声を直接伺う機会を設けて頂ければと思います。また可能でありましたら、開閉スイッチや足踏などをお知らせをお願いします。
1038	2023	新製品・技術	その他(場面)聴覚過敏	その他(福祉用具)耳栓	利用者	聴覚過敏	聴覚障害者	私は就労所を営んでいました。12年前に機械から発せられる音に対して生理的に体が受け付けない事になり、機械に近づく事を出来なくなりました。対策としてイヤークラスを掛け、耳との間隔に綿・ゴム等、色々な物を試しに入れ、少しでも遮音効果が出ないかと思いましたがなんとかなり仕事を続けられるようになりました。その後、気がつく交通量の多い道路を歩いていると、耳の中(外耳道)がビリビリと震えなくなり、カーという音が聞こえなくなり、着付けやバス・トランク・車庫・オートバイ等の区別もつかなくなり、テレビの音・掃除機・洗濯機の音も聞き取れなくなり、又、日暮生活でも聞く高周波波長に知れず音が響き、体に染み込むように不快感を伴って聴こえるようになり、私は音に耐えられなくなり、感じることがなくなり、貴族に耳柱を寄せるようになってしまいました。試行錯誤の結果、「耳に吸着型を付ける」という発想になりました。エネルギーを持った音を直接に伝えるのではなく、耳と耳の穴(外耳道)と鼓膜だけで形成した吸着型を作り耳柱を形成するゴム板(吸着板)だけ通った音を鼓膜に伝えて聴く事です。外部の音はゴム板(吸着板)を通して耳柱によってエネルギーを伝達し、結果、音の響きを伝達させる事によって無償モニターとしてご協力して頂ける方を探しています。耳栓をお願い致します。耳栓の効果を希望します

投稿No.	年度	カテゴリ	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
1040	2023	新製品・技術	その他(備前)聴覚過敏	その他(福祉用具) 耳栓	利用者	聴覚過敏	聴覚障害者	7月14日に聴覚過敏で投稿した者です。先日投稿の折、耳栓装着の状態の写真的掲載をしてなかったので送らせてもらいました。耳栓の名称は、吸音型透過式耳栓です。 この耳栓の装着時に注意してほしい事は、 ・自分の声が聴こえます。 ・耳栓装着時に顔がほてっていると感じる事があります。 ・この耳栓は、補聴器ではなく、防音性もある為75dB等音が小さく聴こえます。 ・この耳栓は、補聴器の人が聴いて75dB小さい音に気づきますが、普通に本来の音が聴き取れます。 ・聴覚不良の人が聴いても普通の音で75dB防音された音で聴こえます。 テクノエイド協会より代理で投稿させていただきます。 「原袋 とれそーくん 男性集尿装置」ですが、部品を仕入れている業者の撤退等により、製造していただける企業様を募集しております。 製品詳細は、以下をご確認ください (テクノエイド協会 福祉用具情報システムTASより) https://www.techno-aids.or.jp/ServiceWelfareGoodsDetail.php?RowNo=0&YouguCode1=01443&YouguCode2=0000001
1043	2023	新製品・技術	排泄	装具 排泄関連用具	テクノエイド協会	尿袋 とれそーくん 男性集尿装置を製造していただける企業様をさがしています	肢体不自由者 内部障害者 その他(排泄障害)	ご興味のある方は、テクノエイド協会企画部 宇田川 電話03-3266-6883 までご連絡をください。 世界中で販売されているObi Robotがこの理由で日本に上陸しました。Obi Robot (オビーロボット) はユーザーさんの自立心、社会に積極的に参加し、自ら食事をする喜びを促します。 Obi Robotは操作スイッチをセンサー (社外品) など様々なタイプに交換し使用することができるので上肢が使えなくてもユーザー1つ何が食べたいかを自分で判断して食事を済ませることが出来ます。現在日本での販売に向けて取り組んでおり、お取り扱い企業及び販売協力企業の募集を行っております。 Obi Robot youtube サイト https://www.youtube.com/@Meetobirobot
1044	2023	新製品・技術	食べる	その他(福祉用具) 食事補助 福祉用具 全般に関するお知らせ	開発メーカー	Obi Robot (オビーロボット) 日本上陸	肢体不自由者	ご興味のある方は、テクノエイド協会企画部 宇田川 電話03-3266-6883 までご連絡をください。 世界中で販売されているObi Robotがこの理由で日本に上陸しました。Obi Robot (オビーロボット) はユーザーさんの自立心、社会に積極的に参加し、自ら食事をする喜びを促します。 Obi Robotは操作スイッチをセンサー (社外品) など様々なタイプに交換し使用することができるので上肢が使えなくてもユーザー1つ何が食べたいかを自分で判断して食事を済ませることが出来ます。現在日本での販売に向けて取り組んでおり、お取り扱い企業及び販売協力企業の募集を行っております。 Obi Robot youtube サイト https://www.youtube.com/@Meetobirobot
1046	2023	要望・アイデア・課題	屋内の移動	歩行器・歩行車 非 池座連用具	利用者の家族	屋内移動用の機器	肢体不自由者 家族 介助者	家族の介護をしています。ほぼ寝たきの状態です。入浴、トイレ、病院への外出の為の移動など家用の車いすもありますが、もっと簡単に移動させられたい、外用の車いすへの乗り換えなどが簡単にできる物はないでしょうか？福祉機器展でみましたが、高額だった、大きくかさばったりして家庭内で使いやすい物ではありませんでした。
1047	2023	要望・アイデア・課題	調理	その他(福祉用具)	学校	「重さ」のわかりやすい「見える化」	視覚障害者 知的 障害者 児童	重さを測るときに目盛の上を動く指針を見るのが一般的ですが、動いた指針に合わせたリボン状のものが色が変わるとわかりやすいと思い部品を揃えましたが見つけられませんでした。そんな商品ごらんありますか？時計の文字盤より直線で針が動くものの方が、顔に色線などを貼り付けて見本にしやすいかと考えています。
1049	2023	新製品・技術	衣服の着脱	装具 体位変換器	開発メーカー	三角巾と一体化した衣服『アームスリング グケープ』	肢体不自由者 高齢者 その他 脳血管障害 (片麻痺)、四肢 (片麻痺)、四十 十層・五十層、 膝関節・膝板 損傷、四肢麻痺、 骨折、リウマチ 骨折、利用対象 等 全般	■概要 ・2023年9月末時点で国内外のご購入者が280名を超えました！ ・公益財団法人日本デザイン振興会主催「2021年度マッドデザイン賞」を受賞 https://www.g-mark.org/gallery/winners/9e4331c9-803d-11ed-af7e-0242a0130002 ・令和四年度 川崎市「かわさき基業 (KIS) 認知福祉製品」に認定 https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000149817.html ・令和四年度 東京都中小企業振興公社「障害者向け製品等の販路開拓支援事業」に採択 https://www.kyokyo-koshin.jp/support/kisyo/mmeba10000000d0dd-att/R4_shogaishashien.pdf ・令和四年度 東京都立産業技術センター共同研究 https://www.ttr-tokyo.jp/site/ttr-news/202305-01-kenkyu.html ■製品概要 ・アームスリング (三角巾、アームホルダー) と一体化したケープです。美しく見えるデザインを追求しました。内袋に腕をゆだねながら、安心して日常生活を送ることが出来ます。傷病回復後もそのまま着用することが可能なリハビリウェアです。 ・この製品は、作業療法士、看護士、看護師による監修のもと、脳血管障害 (片麻痺)、四十層・五十層、膝関節・膝板損傷、骨折、リウマチがある23名の対象者へヒアリングを繰り返すなかで生まれました。 ■主なご購入者様 ・対象者：五十層・四十層 (肩関節周囲炎)、膝関節・損傷、膝板炎、頸椎症候群、骨折 (上腕・前腕・肘・手首・指)、四肢麻痺、片麻痺、肩関節、重度の肩痛、関節リウマチ/膠原病などにより、肩や腕がつかない、だるい方、三角巾やアームスリング (アームホルダー) といった補助員をお使いの方、腕の固定にゆとりが求められるリハビリ期の方、 ・そのような方とともにリハビリや介護を行う、ご家族、作業療法士、理学療法士、看護士、介護士、看護師の方々。 ■7つの特徴 【首を痛めない】服の生地全体で腕の重さを支えているので首を痛めません 【破れない】背中や肩に重さを分散するので、長時間着用しても肩や腕が疲れない構造です 【肩と腕があたらない】秋冬、夏の気候対策に肩と腕をしっかりと保護します。冷感性の方にもおススメです 【ゆとりがめたる】内袋に腕をゆだねることが出来ます。両肩と手や指を出せる開口部により、腕が安定します 【片手で着る】かぶり式でボタン等が無く片手で10秒-1分秒で着脱出来ます 【長く着れる】内袋を使わなければ、傷病回復後もオシャレなケープとして着ることが出来ます 【ポケットとして使える】内袋は物を入れるポケットにも使えます ■ご購入 以下よりご購入いただけます。 《ケアウィルブランドサイト》https://www.carewill.co.jp/ 《アマゾン》https://amzn.to/3yaSk4C 《ヤフー》https://bit.ly/3SYz0PB 《ふるさと納税》https://furusav.jp/product_detail.aspx?pid=896861 ■製品データ ・メイン素材: ポリエステル 95% ポリウレタン 5% ・素材構成: 95% ポリエステル 5% ポリウレタン

投稿No.	年度	カテゴリ	場面	福祉用具	記入者の家族	話題名	利用対象者等	投稿内容
1059	2023	要望・アイデア・課題	場面全般に関するお知らせ	その他(福祉用具) イヤーマフ 福祉用具全般に関するお知らせ	利用者の家族	自閉症 聴覚過敏 専用のイヤーマフの開発希望	発達障害者	2023年7月に聴覚過敏専用のイヤーマフの開発希望で投稿をしました。日常生活に苦手な音が多く急に鳴る大きな音や声を聞いた、苦手な音がある場面ではハニックをおこしてしまったり自閉症でイヤーマフが無いと外出できないので使用しています。具体的には、バイクの走行時のマフラー音、建設工事現場の金属音やドリルや重機の音、風船が破れる音、こもの泣き声、緊急車両のサイレンなどです。聴覚過敏を保護して日常生活でハニックにならない自閉症専用と謳われているイヤーマフを使用します。多くの市販の耳栓は音の遮断効果が低くまたうるさい。(音の遮断効果はほとんどない)自閉症専用と謳われているイヤーマフでも遮音効果が低くパソコンの打鍵音などが聞こえたり雨降りの音がききすぎる音が軽減される程度であり苦手な音は遮断されなかった。NRR30の工業用イヤーマフを購入したところ何とか遮断効果があったが、NRR30でも道路工事や建設工事などの騒音の音の遮断効果が足りなくもう少し遮断効果が欲しいです。イヤーマフ自体はインターネットでたくさん売っているが、福祉用具では適切なものがなく不便を感じている。 ここにちは、衣服のオーダーを、企画販売をしている studio fukuの店舗です。 重いすで運動されている方から、雨の日に足元 (高価な革靴の装具) が濡れないよう、膝掛けを作ってほしいとのご要望が溢りました。 約1年間の試作、試用を経て、雨風の強い日にもめくれにくいひざ掛けが完成しました。 (このお客様は、市販のレインコート (上衣のみ) とひざ掛けを組み合わせて使用されます) 「雨の日のひざ掛け」が完成するまでの経緯はこちら https://note.com/studio_fuku/n/n41f8d6f892eed 「雨の日のひざ掛け」の仕様まではこちら https://note.com/studio_fuku/n/n42f1117b15c4 重いす用のレイングッズの選択肢のひとつとして、便利に使っていただければ幸いです。 studio fukuでは「雨の日のひざ掛け rain blanket」の製作を承ります。明本帳のなから、お好きな色をお選びいただけます。 また、連うデザインでの製作、衣服に関する「こんなものが欲しい」というご相談も承ります。 どうぞお気軽にご連絡ください。
1063	2023	新製品・技術	屋外の移動	その他(福祉用具) 衣服	開発メーカー	雨の日のひざ掛け rain blanket の オーダーを承ります	肢体不自由者 高齢者	メール kazuko@written.jp ホームページ https://www.studiofuku.jp 松葉杖と重いすの間の隙を埋める、クッションを付けた片足歩行補助員です。 体重をサドルに預けるので破れず、プレーキ付きハンドルで安全に小回りができます。 室内でも野外でも使えます。 https://youtube/M1DxVHNKk-A 連絡先: morieka.akira@outlook.jp マット型の体重計の開発を検討しています。ベッドと寝たきりの方の方に体位を変えながらマットを敷き、空気を入れて膨らますことにより空気圧により体重計測を行う装置です。 在宅や、介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 、介護老人保健施設等で、寝たきりの方 (要介護4や5) の体重測定をすることはあるでしょうか? ニーズがある場合は、どのような目的でしょうか? 日常の健康管理や、経営栄養の方の体重増減管理、着取り時の指標等でしょうか? また、既存の解決策として、重いす用の体重計があると伺いますが、そちらで解決できているのではないかと考えておりますが、いかがでしょうか? 皆さんの意見をいただければ幸いです。 ここにちは、衣服のオーダー、企画販売をしているstudio fukuの店舗です。 今回は「やわらかブーツ」をご紹介します。 みなさんは靴をどのように履き分けていますか? 服とのコーディネートや外出目的、外出先、そしてお天気などでしょうか。 今回、二分指による下肢運動障害があり、ふだんは短下肢装具を着用して重いすで外出される方からご相談をいただきました。週末などのリラックスした家族との外出では装具を外して出かけるそうなのですが、市販の靴を履いていると時間が経つうちに当にって痛みがでるそうなのです。 そこで、リラックスした外出用の、足が当たらない「やわらかい靴」が欲しいとご相談を受け、「やわらかブーツ」を製作いたしました。 製作の経緯と主な仕様はこちらでご覧いただけます。 https://note.com/studio_fuku/n/n5073e6bf8b29 studio fukuでは「やわらかブーツ」の製作を承ります。 また、衣服に関する「こんなものが欲しい」というご相談も承ります。 どうぞお気軽にご連絡ください。 メール kazuko@written.jp ホームページ https://www.studiofuku.jp
1064	2023	新製品・技術	屋内の移動	歩行器・歩行車	個人	片足歩行支援員	肢体不自由者	
1067	2023	新製品・技術	その他(場面) 体重測定	その他(福祉用具)	開発メーカー	寝たまま体重測定	肢体不自由者	
1068	2023	新製品・技術	屋外の移動	その他(福祉用具) 衣服	開発メーカー	「やわらかブーツ」 をご紹介します	肢体不自由者 高齢者	
1071	2023	要望・アイデア・課題	場面全般に関するお知らせ	排泄関連用具	福祉専門職	福祉用具貸与の品目 について	高齢者 家族 介護者	認知症徘徊予防施設という名称は利用者様や家族様に説明や提案時には良い印象は受けにくく不適切だと捉えられるケースもあります。 見守りセンサーや一歩き防止機器など名称の変更を検討してもいいのではないかと考えます。

投稿No.	年度	カテゴリー	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
994	2022	新製品・技術	コミュニケーション	その他(福祉用具) スマートフォンホルダー	開発メーカー	片手だけでも使い易いスマートフォンホルダー	肢体不自由者	elasticX (えらすちっく) の特長 スマートフォンが片手で使える画期的ホルダー！ 片手しか使えない身体障害者のために開発したスマートフォンホルダーです。身体障害者だけでなく健常者でもスマートフォンを片手使いしている方に最適なホルダーです。 特長 ▶片手でスマートフォンを使える。 ▶スマートフォンを素早く、そしてしっかりと保持できる ▶スマートフォンを片手で使っても、誤って落下させる心配が全く無い ▶スマートフォン画面上で親指を広い範囲で動かせる ▶フラットで簡素な構造であり、極めて薄くて軽い。スマートフォンに取り付け後もバッグやポケットからの出し入れのこぎしゃまにならない ▶ワイヤレス充電ができる ▶スマートフォンの裏側の自由な位置に貼り付けるだけ 価格は1,000円／個です。 YOUTUBEの動画で "elasticX" をご紹介しています⇒ https://youtu.be/_2gvgVEHlv4 お問い合わせは、sinlehand@mbrnifty.com へどうぞ。
1002	2022	要望・アイデア・課題	場面全般に関するお知らせ	福祉用具 全般に関 するお知らせ	医療専門職	意思表示の出来ない方とのコミュニケーション	利用対象等全般	以前に投稿したのですがその後が自分も改めて発展させられていないためため再投稿します。 ヒトの感情について 身体動作や仕草、表情で感情を全く表さない方とのコミュニケーションを図るときに家族、ご友人、介護者等の“機測”に基づいてコミュニケーションをされることも多いと思います。その“機測”の手助けになるような機器はないか。あつたらいはないと知られている方も少なからずいると思います。イヌではそのような機器があるのかもしれませんが、その信頼性も併せてヒトに対応した同じような機器はないのか、ヒトでは難しいのか、応用できないのか、お伺いできればと思います。
1004	2022	要望・アイデア・課題	屋外の移動	歩行者・歩行車	福祉専門職	歩行者 (ミガーレ) の使用方法について	高齢者	ケアマネジャーです。 話し方がいまいちいまいましいので、教えて頂きたいです。 高齢男性 (若め) が外出時に歩行者 (ミガーレ) を使用しています。バスや電車にも乗車します。 乗車中の揺れで、前輪が動いてまっすぐに不安と不満をお持ちです。 ①前輪がロック可能な理由は、下り坂で、前輪ロックがかかることと後輪が持ち上がりそうの為。 ②乗り物に持ち上がり際の、固定の為の工夫 (座席に座っている時、立っている時それぞれ)。 ※業者さんからは個別の相談の対応がなされず、ペデランの理学療法士に個別訪問をしてもらい、今一度、評価とアウトバリエーションを依頼しようと思っていますが・・・
1008	2022	要望・アイデア・課題	屋外の移動	歩行者・歩行車	福祉専門職	冬の屋外移動手段	高齢者	通病等、知恵の方は(経済上無い方) 雪が降るまでは歩行車移動でできますが雪が降ると使用できない歩行車ばかりで、冬知歩行車が簡単に取付けられる冬用品があればと思っています。 ぜひ知恵のある方宜しくお願いします。
1010	2022	要望・アイデア・課題	屋外の移動	電動車いす	利用者	電動車椅子 バックモニター 1万円以内で付ける。	肢体不自由者	こんなの買っちゃいました！！！！ 私も付けています。快適です。後ろが見えないってホント怖いってすからね。 https://blog.goo.ne.jp/hkousi/e/c2169b647644f4b6bc3b42b7b2b4aacb8 バックモニター付き車椅子 初号機！ https://blog.goo.ne.jp/hkousi/e/ce316f54b547e21aff7cf17beb0dccb 車椅子専用バックモニター4号機設置！
1011	2022	新製品・技術	衣服の着脱	その他(福祉用具)	その他	ファスナーつまみ販売を開始しました	肢体不自由者 高齢者 児童	衣服のオーダーを承ったり、企画販売をしている studio fuku の廣瀬です。 手の動きが不自由だと、ファスナーの開け閉めに苦労することがあります。そんなとき、ファスナーの引き手に取り付けて、操作をやすくする「ファスナーつまみ」の販売を始めました。 指先で掴みやすい大きさ、形のものに二重環を取り付けてあります。この二重環をファスナーの引き手に取り付けて、使用していただくものです。 ファスナーつまみの本体はプラスチックです。取り付け部に金属や布を使用しています。ラウンド型とリボン型の2種類があります。ラウンド型は、顔色・水色・紺色の3色、リボン型はピンク色の1色です。 ファスナーつまみをつけることで、ファスナーの開け閉めがしやすくなったり、助けを借りずに自分で操作できるようになれば、と思います。どうぞご検討ください。 ファスナーつまみ (ラウンド型) https://kazuko086.stores.jp/items/63689e5fab035c31c773b34e ファスナーつまみ (リボン型) https://kazuko086.stores.jp/items/63689a01ac15c56e967e6413
1012	2022	要望・アイデア・課題	屋内の移動	その他(福祉用具) 手すり	行政	移動式手すり	高齢者 利用対象等全般	家族に障害者もあって、部屋中に簡易式の手すりを20個も置いていたような状態の利用者さんが居ます。転倒防止の為の手すりでは転倒ということも起こりますので、例えば室内の壁にシール状の移動で自由な動きができる手すりを設置するといったシールがある範囲で自由に動かせる手すりがあるといいように思います。
1013	2022	要望・アイデア・課題	屋外の移動	福祉用具全般に関するお知らせ	利用者	かばんマイです！	利用対象等全般	https://blog.goo.ne.jp/hkousi/e/69f9e2a446d8181ebd75d43e7550537e これを買って私はベージュ+深緑を作りました。

投稿No.	年度	カテゴリ	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
950	2021	新製品・技術	衣服の着脱	装具 その他(福祉用具) 装着補助員	開発メーカー	腰をかかなくてもハンソックがはける(はけた輪) 装着補助員をご紹介します。	高齢者	足腰に障害のある友達や高齢の母の介護で、かがむ事が困難なためハンソックをはくのに大変苦労されている。事の出来を知り、そこで簡単ににはける補助具を考案・特許取得し製造しております。 ◇腰痛、加齢、ケガ等諸事情で、かがむ事が困難な時、簡単にハンソックがはける便利な装着補助員です。 ◇軽くてコンパクトなので、旅行等外出にも持参でき日常生活の行動範囲が広がります。 ◇介護される方が、要介護の方のハンソックをはく作業をサポートできます。 ・・・・・・ イズ等に懸けてお使い下さい。・・・・・・ 右の URL から使用方法の動画をご覧いただけます。https://haketawe.jindofree.com/ 車椅子の肘掛けの上に取り付けて、搭乗者が肘と肘を自然な角度で離せて休めることができ、更に簡易なテーブルの機能を持ち、コーヒーカップを置いたり、読書ができれば、タブレットPCやスマートホンの操作が可能で、着脱が容易に出来る、折りたたみ式の、車椅子肘掛け補助装置を考案しました。 https://youtube.com/watch?v=TWagGJH5Q
952	2021	新製品・技術	屋外の移動	車いす	個人	車椅子アームレスト	肢体不自由者	右の URL から使用方法の動画をご覧いただけます。https://haketawe.jindofree.com/ 車椅子の肘掛けの上に取り付けて、搭乗者が肘と肘を自然な角度で離せて休めることができ、更に簡易なテーブルの機能を持ち、コーヒーカップを置いたり、読書ができれば、タブレットPCやスマートホンの操作が可能で、着脱が容易に出来る、折りたたみ式の、車椅子肘掛け補助装置を考案しました。 https://youtube.com/watch?v=TWagGJH5Q
953	2021	新製品・技術	屋内の移動	車いす	個人	車椅子タイヤ上履き	肢体不自由者	外出から帰ってきた車椅子のタイヤに付着している泥を屋内に持ち込まないため、簡単に装着できる、車椅子タイヤ上履きを考案しました。前輪と後輪に合成樹脂製の輪状カバーをカバットはめ込み、タイヤを一回転させることで装着完了です。外出時に装着すれば外履きというわけです。 https://youtube.com/watch?v=Wkx-XLlccO
954	2021	新製品・技術	屋外の移動	車いす	個人	ヒルクライム	肢体不自由者	車椅子が登る勾配を、ゆっくりに、休み休み登ることを可能にする車椅子後退防止装置を考案しました。取り付けが容易で、また、平坦地では後退防止機能をワンタッチ操作でoffにすることが出来ます。 https://youtube.com/watch?v=QVDnNOKD-E
955	2021	要望・アイディア・課題	屋内の移動	その他(福祉用具) 手すり	供給事業者	ますり用「スキマー」	高齢者 その他	福祉用具レンタルのあがりかまち用手すりを設備の壁、上がってすぐには壁がなかったり、下は壁がある場合、首を曲がらなければならぬ発生することがあります。一人暮らし、ましてや身体能力に不自由な来訪し、認知症のある方の場合、非常にリスクが高くなります。それを踏まえ、メーカーには、狭み込み対応を考えてもらいたいものです。事故が生じる前に、ちなみに、私の会社は、オリジナル「スキマー」を作成し、リスクの高い住環境に対応しております。 前置ベッド兼シェルトター 「前置ベッド兼シェルトター」生き残るために、一番大切な認知症対策は！ ①家を丸ごと耐震補強できないひとと部屋だけでも、地震で壊れないように補強しましょう。②前置ベッドやシェルトターを検討しましょう。就寝中、地震から命を守ります!!こんな方にお薦めです!。③前置ベッドの方④小さなお子様⑤身体に障害をお持ちの方⑥要介護の方⑦介護施設 <店名> MAMORU No1 『巨額試験』前田重1.4ton 公共技術総合センターにて、試験済み(下記に成績表あり。 実用新案登録済 第3232784号 【製造元】三佳テック(株) ミヨシテック (カ組み立て式です。 詳細は こちら https://miyoshi-tec.co.jp/bed/YOUTUBE動画こちら https://www.youtube.com/watch?v=O9l2Nl6scdg 車椅子両面遊力機・両面遊りでも外出ができる車椅子用隔(両カバ)のご提案です。 詳細 HPアドレス https://miyoshi-tec.co.jp/machine/pat/
959	2021	新製品・技術	その他(備面) ベッド	特殊寝台	開発メーカー	前置ベッド兼シェルトター	肢体不自由者 高齢者	前置ベッド兼シェルトター」生き残るために、一番大切な認知症対策は！ ①家を丸ごと耐震補強できないひとと部屋だけでも、地震で壊れないように補強しましょう。②前置ベッドやシェルトターを検討しましょう。就寝中、地震から命を守ります!!こんな方にお薦めです!。③前置ベッドの方④小さなお子様⑤身体に障害をお持ちの方⑥要介護の方⑦介護施設 <店名> MAMORU No1 『巨額試験』前田重1.4ton 公共技術総合センターにて、試験済み(下記に成績表あり。 実用新案登録済 第3232784号 【製造元】三佳テック(株) ミヨシテック (カ組み立て式です。 詳細は こちら https://miyoshi-tec.co.jp/bed/YOUTUBE動画こちら https://www.youtube.com/watch?v=O9l2Nl6scdg 車椅子両面遊力機・両面遊りでも外出ができる車椅子用隔(両カバ)のご提案です。 詳細 HPアドレス https://miyoshi-tec.co.jp/machine/pat/
965	2021	要望・アイディア・課題	屋外の移動	車いす	開発メーカー	車椅子両面遊力機	肢体不自由者	前置ベッド兼シェルトター」生き残るために、一番大切な認知症対策は！ ①家を丸ごと耐震補強できないひとと部屋だけでも、地震で壊れないように補強しましょう。②前置ベッドやシェルトターを検討しましょう。就寝中、地震から命を守ります!!こんな方にお薦めです!。③前置ベッドの方④小さなお子様⑤身体に障害をお持ちの方⑥要介護の方⑦介護施設 <店名> MAMORU No1 『巨額試験』前田重1.4ton 公共技術総合センターにて、試験済み(下記に成績表あり。 実用新案登録済 第3232784号 【製造元】三佳テック(株) ミヨシテック (カ組み立て式です。 詳細は こちら https://miyoshi-tec.co.jp/bed/YOUTUBE動画こちら https://www.youtube.com/watch?v=O9l2Nl6scdg 車椅子両面遊力機・両面遊りでも外出ができる車椅子用隔(両カバ)のご提案です。 詳細 HPアドレス https://miyoshi-tec.co.jp/machine/pat/
971	2021	要望・アイディア・課題	排泄	排泄関連用具	供給事業者	貯水池みないな(イメーシ) 原取りハット	高齢者	前置ベッド兼シェルトター」生き残るために、一番大切な認知症対策は！ ①家を丸ごと耐震補強できないひとと部屋だけでも、地震で壊れないように補強しましょう。②前置ベッドやシェルトターを検討しましょう。就寝中、地震から命を守ります!!こんな方にお薦めです!。③前置ベッドの方④小さなお子様⑤身体に障害をお持ちの方⑥要介護の方⑦介護施設 <店名> MAMORU No1 『巨額試験』前田重1.4ton 公共技術総合センターにて、試験済み(下記に成績表あり。 実用新案登録済 第3232784号 【製造元】三佳テック(株) ミヨシテック (カ組み立て式です。 詳細は こちら https://miyoshi-tec.co.jp/bed/YOUTUBE動画こちら https://www.youtube.com/watch?v=O9l2Nl6scdg 車椅子両面遊力機・両面遊りでも外出ができる車椅子用隔(両カバ)のご提案です。 詳細 HPアドレス https://miyoshi-tec.co.jp/machine/pat/
975	2021	要望・アイディア・課題	その他(備面) 車	補聴器 緊急通報装置 その他(福祉用具) 電子音	個人	車のウィンカー・バックの音	聴覚障害者	前置ベッド兼シェルトター」生き残るために、一番大切な認知症対策は！ ①家を丸ごと耐震補強できないひとと部屋だけでも、地震で壊れないように補強しましょう。②前置ベッドやシェルトターを検討しましょう。就寝中、地震から命を守ります!!こんな方にお薦めです!。③前置ベッドの方④小さなお子様⑤身体に障害をお持ちの方⑥要介護の方⑦介護施設 <店名> MAMORU No1 『巨額試験』前田重1.4ton 公共技術総合センターにて、試験済み(下記に成績表あり。 実用新案登録済 第3232784号 【製造元】三佳テック(株) ミヨシテック (カ組み立て式です。 詳細は こちら https://miyoshi-tec.co.jp/bed/YOUTUBE動画こちら https://www.youtube.com/watch?v=O9l2Nl6scdg 車椅子両面遊力機・両面遊りでも外出ができる車椅子用隔(両カバ)のご提案です。 詳細 HPアドレス https://miyoshi-tec.co.jp/machine/pat/
980	2021	要望・アイディア・課題	屋外の移動	装具 車いす 移動用リフト	開発メーカー	◆車いすを楽に車へ搭載出来るリフター装置◆	介助者	前置ベッド兼シェルトター」生き残るために、一番大切な認知症対策は！ ①家を丸ごと耐震補強できないひとと部屋だけでも、地震で壊れないように補強しましょう。②前置ベッドやシェルトターを検討しましょう。就寝中、地震から命を守ります!!こんな方にお薦めです!。③前置ベッドの方④小さなお子様⑤身体に障害をお持ちの方⑥要介護の方⑦介護施設 <店名> MAMORU No1 『巨額試験』前田重1.4ton 公共技術総合センターにて、試験済み(下記に成績表あり。 実用新案登録済 第3232784号 【製造元】三佳テック(株) ミヨシテック (カ組み立て式です。 詳細は こちら https://miyoshi-tec.co.jp/bed/YOUTUBE動画こちら https://www.youtube.com/watch?v=O9l2Nl6scdg 車椅子両面遊力機・両面遊りでも外出ができる車椅子用隔(両カバ)のご提案です。 詳細 HPアドレス https://miyoshi-tec.co.jp/machine/pat/
983	2021	要望・アイディア・課題	場面全般に関するお知らせ	意思伝達装置	医療専門職	意思表示のできない方の感情が知りたい	肢体不自由者 言語障害者 知的障害者 精神障害者 発達障害者 介護者	前置ベッド兼シェルトター」生き残るために、一番大切な認知症対策は！ ①家を丸ごと耐震補強できないひとと部屋だけでも、地震で壊れないように補強しましょう。②前置ベッドやシェルトターを検討しましょう。就寝中、地震から命を守ります!!こんな方にお薦めです!。③前置ベッドの方④小さなお子様⑤身体に障害をお持ちの方⑥要介護の方⑦介護施設 <店名> MAMORU No1 『巨額試験』前田重1.4ton 公共技術総合センターにて、試験済み(下記に成績表あり。 実用新案登録済 第3232784号 【製造元】三佳テック(株) ミヨシテック (カ組み立て式です。 詳細は こちら https://miyoshi-tec.co.jp/bed/YOUTUBE動画こちら https://www.youtube.com/watch?v=O9l2Nl6scdg 車椅子両面遊力機・両面遊りでも外出ができる車椅子用隔(両カバ)のご提案です。 詳細 HPアドレス https://miyoshi-tec.co.jp/machine/pat/

投稿No.	年度	カテゴリ	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
984	2021	新製品・技術	場面全般に関するお知らせ	その他(福祉用具) 衣服	開発メーカー	レッグウォーマーの販売を始めた	肢体不自由者	衣類の企画やオーダーを承っている、studio tukuです。 この度、重いすて過ごす時間が長い方向けに、レッグウォーマーの開発を始めました。 電動車いすで過ごされているから、「冬に出かけると、足指がふくはきがきかても冷える」とご相談を受けたのがきっかけです。オーダーでお納めしたところ、とても暖かいと喜んでいただき、よりシンプルに使いやすい形で製品化いたしました。 - 膝下から足首までを包む長さで、ブーツを履いているようなデザインです。 - 裏地は暖かい厚手のウールを使用しています。 - ご自身や介助する方が簡単に着脱できるよう、面ファスナーをつけました。 すでにご利用された方から「ほかほかです」と まだまだ寒い日が続きます。皆様のお役に立てれば幸いです。 既製品はこちらで販売しています https://kazuko086.stores.jp/items/61e901140020f0452168e60a https://kazuko086.stores.jp/items/61e8ff58fd2e732ec22cd903 ご自身や家族が手作りされる場合はこちら（ハターンを販売しています） https://kazuko086.stores.jp/items/6188987e0c98466a0c795df9 ご希望のデザインや色でオーダーを承ることもできます。お気軽にお問い合わせください。 kazuko@written.jp
985	2021	新製品・技術	コミュニケーション	その他(福祉用具) 床頭台、PCデスク、テレビ台	開発メーカー	床頭台仕様の大型ディスプレイスタンド	肢体不自由者 高齢者 認知障害者 聴覚障害者 高齢者	病院や介護施設等で使用される床頭台に、大型ディスプレイを取付けられるよう強度や重量バランスを確保しました（特許出願中）。タブレットやノートパソコンの画面が小さい、設備・固定が難しい、電源コードやケーブルが増えるで元の安全を確保できないといった課題を解消します。 電源コンセント（外装：USBx2+コンセントx1、内装：コンセントx6）を装備しており、様々な周辺機器、電子機器を利用、収容できます。 利用例として、ポータブル電源を使うことで壁コンセントからの電源供給が不要となり、ベッドサイド等へ自由に移動してデスクトップパソコンを大型ディスプレイで利用することができます。 下段の扉、棚板の取り外しができるので、床頭台としての一般的な利用や小型冷蔵庫を収容することも可能です。 注文製作のため、色や木目、サイズ等の仕様を自由に指定いただけます。 ※ディスプレイアームやディスプレイ、電源等の機器類は、本床頭台に含まれません。 【お問合せ】株式会社14za（じゅうよんざ） HP： https://14zaco.jp メール： info@14zaco.jp
990	2021	新製品・技術	屋外の移動	その他(福祉用具) 靴を履く時	個人	シューズーと書く靴に付ける靴べらを発明しました	高齢者 児童 用品	靴に付ける靴べらを発明しました。開発のきっかけは知り合いの靴工が介護をする方の靴を自分の指を使って履かせる事がよくあると聞いた事からです。自分達もよくする事だと思いますが、今のローソクの時代非装しよくが求められる時、人の靴を自分の指を使って履かせる事は同じとは思いませんよね。これは重度の方では有りませんが、お年寄りやまだ靴を上手に履けない方々の足指、一歩の健康者も簡単に履くには利用が難しいと思います（例えば引越した業者）など幅広い利用者がいると思われ、これを何とか世に出したいと思ったのですが、個人の力では力不足で中々前に進んで行かないので、このシューズーに興味がある方がいましたら、お力を貸して頂きたいと思って投稿致しました。 事務局より入力を代行いたします。
991	2021	新製品・技術	その他(福祉用具) 歩行	その他(福祉用具) 足底支持具	福祉医療施設	リハビリ用部品の認定に向けた、足底支持具の開発	その他(拒指症)	拒指症は、脳卒中や脳性麻痺、脊椎損傷による半身麻痺や足に合わない靴を履くことによって発症します。そういう拒指症による痛みで困っている人を元気にしたいと思う気持ちで製品の開発を決めました。 【プロジェクトの内容】 足底支持具は、足の指が曲がった状態を矯正することを目的に開発している器具です。スマートフォンアプリで撮影した足の画像をソフトで解析し、CADソフトで設計した後、3Dプリンターで製作します。現在、足底支持具は開発の最終段階にあり、医療機器としての承認を目指しています。また、広くリハビリの現場で活用していただくため、リハビリ用部品の申請の準備を進めています。ただ、申請の際には医療機関における様々なテストが必要です。医療機関でテストをするため、クラウドファンディングにチャレンジします。 詳しくは下記（別サイトに移行します）をご参照ください。 READY FOR https://readyfor.jp/projects/88034 終了日：5月8日23時
895	2020	要望・アイデア・課題	就労	福祉用具全般に関するお知らせ	福祉専門職	障害者による障害者支援について	利用対象者全級	元々、介護職として福祉業界に関わっており神経難病を患い四肢麻痺の障害を負いました。そのなかで障害者と障害者の福祉用具に対する認識にギャップを感じました。屋内での手すりの素材や設備場所など住宅改修・改造から杖先ゴムなど細かいものまで、健康者の時に便利だと感じて動いていたものが実はご利用者にとっては逆効果だったかもしれないなど、色々と考えてしまいました。 健康者の方のモニタリングは確かにご利用者の状態、家の構造、過去の事例などからある程度割り添うことはできます。しかしそれは補助であって本当の難病で埋め立てられないかもしれません。 障害者だからこそ分かる不便さや福祉用具の利点もあると思うのですが、こういった考えを仕事に活かしていきたいと思っても福祉用具専門知識の障害者雇用が地方ではほとんどありません。こういった状況でも非正規雇用のモニタリング職員などで働けるような職場環境を作りたいです。 正社員でなくても非正規雇用のモニタリング職員が「ラ・クリップは日常生活動作を介助無しで自分の力で可能にすることを目標に開発した新発想の福祉用具です。お世話型介護から自立支援介護へ」ラ・クリップは日常生活動作を介助無しで自分の力で可能にすることを目標に開発した新発想の福祉用具です。介護される側も介助する側も大きな負担となっていたベッドからの起立、車椅子への移乗が要介護者の「引く力」を利用して容易に立ち上がる事が可能となりました。もう疲れさせない！要介護者も介助者も」 ストレスの原因が少しでも減り、平穏な日常生活に戻る事を願っています。
896	2020	新製品・技術	ベッドからの立ち上がり	その他(福祉用具) 移乗	開発メーカー	自立起立補助具「ラ・クリップ」	肢体不自由者 介助者	

投稿No.	年度	カテゴリ	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
898	2020	要望・アイデア・課題	屋外の移動	重いす 電動車いす 福祉用具全般に関するお知らせ	利用者の家族	車椅子につけるキッズステップ脚座について	肢体不自由者 高齢者 児童 介護者 利用対象等全般	車椅子背後子どもが乗ることができる物キッズステップ、ボード、ベルトの製品化(商品化)を願っています。どんな車椅子にも取り付けられるユニバーサルデザインで、車椅子で幼子を運搬できる物があればと私と家族の経験から思っております。ベビーカーにはベビーカーステップは無い私の側へは範囲です。ため、我が家は車椅子にベビーカーステップやベルト式のおんがね商品を取り付けています。安全な移動上の経験があります。楽に移動できる物の手立てがあれば、車椅子利用者も付き添い者もQOL向上になると思います。緊急避難にも役立つのではと考えます。ご意見いただけたら幸いです。
900	2020	新製品・技術	その他(場面)	入浴間運用員 その他(福祉用具)	開発メーカー	製品リコール情報を伝えるのに活用可能なスマホアプリの紹介	利用対象等全般	株式会社リコールでは、製品リコール情報の周知するに活用可能なスマホアプリのリコジェを公開しています。法人に付与されている法人番号をキーとして、アプリの利用者にリコール情報を通知することができます。このアプリをベースに、認知症徘徊者を探そうお手伝いに活用可能なスマホアプリのオンラインリコジェのバージョンアップを開発予定でです。リコジェで検索いただくアプリの説明をしている弊社のサイトが見つかります。
901	2020	新製品・技術	その他(場面) 脱落・紛失 防止	補聴器	開発メーカー	耳掛け型補聴器の、脱落・紛失防止ホルダーができました。	聴覚障害者	『中小企業庁のつくり補助金事業』の増設を受け、新開発したものです。(特許取得済み) メガネを掛けている方で、耳掛け型補聴器や人工内耳プロセッサを使い始めた方、脱落・紛失不安を解決します。 特徴： 1. めがねを外した時、補聴器はつげたままで、簡単に「メガネだけ」外せます。 取り付け： 誰でも取り付けはできますが、補聴器販売店にご相談すると、具合良く使えます。 このチラシを持って、補聴器販売店にご相談するのが良いでしょう。
902	2020	新製品・技術	コミュニケーション	その他(福祉用具) 字幕、人手不足	開発メーカー	ウェアラブル型ディスプレイモニターのご紹介	肢体不自由者 聴覚障害者 聴覚障害者 介護者 就労・就学	「肩や首」と「かけ心地」の良いウェアラブル型ディスプレイモニターを開発・販売しております。視力矯正眼鏡の上からでも違和感なく装着できます。HDM規格で映像が取得できれば基本的に何でもディスプレイに映す、という今までの福祉用具とは違う、新しいコンセプトの商品です。スマホやパソコン、ビデオカメラ等との組み合わせにより、様々な使い方が可能です。例えば、スマホの字幕アプリをディスプレイに表示することで、舞台等を手探しながら字幕も読めます。ビデオカメラと接続することで、肩づらに遠くの文字等を拡大して目の前に投影します。施設介護者にもご利用いただくことで、人手不足改善の手助けとしてのご利用も期待できます。更なるユーザーケースのご紹介も別途可能ですので、ご興味ありましたらご連絡ください。
903	2020	要望・アイデア・課題	屋外の移動	その他(福祉用具) 目の保護	テクノエイド協会	全盲の方の目を保護するメガネ	聴覚障害者 その他	聴覚障害(全盲)の方が路上を歩く際、杖や目の高さの障害物などから、目を保護する日常生活用具はあるのでしょうか。 医療用の保護メガネはあるみたいですが。 ミドリ安全 (株) HP → https://www.midori-medproducts.jp/product/p12/
905	2020	要望・アイデア・課題	屋内の移動	その他(福祉用具) 自費ベッド	供給事業者	自費対応用「モタベッド」(背上げ)	高齢者	介護保険の特定事業者が、要支援1・2、要介護1の方は介護保険での特定事業者がレンタルでできないため、各社独自で自費対応ベッドの展開を求めているかと思えます。既に要介護1タイプのベッドを提供する場合、外フレームタイプのベッドが殆どのため、ベッド脇により立ち座り動作が不安定な座る置き置きタイプのものを設置すると、コブシン受けと化粧板の分だけ、間隔が空いてしまします。家具間ベッドのフレームが下であれば、より手すりやが体に近接し、手すり使い易くなるかと思えます。
908	2020	新製品・技術	屋外の移動	緊急伝達装置 その他(福祉用具)	個人	小島式運動補助装置『ペダタルアシスト』について	肢体不自由者	重度障害者自ら設計開発の運動補助装置です。市販の装置では自分の認知でできる装置を設計開発しました。現在全ての車はアクセル・ブレーキペダルは左右の踏み踏む操作です。私は左右の踏み踏む操作はできません。なので、足前後に動かす装置を考案、前に動かせばブレーキ、その足を後ろに動かせばアクセル、足前後の操作でアクセル・ブレーキ。人の緊急時等のバニク時の足のツッパリはブレーキ入力、踏み踏むことで動きは皆無、かつ、常に足がブレーキペダルに接しているの、変速距離減速、ブレーキ反動時、他車よりはるかに少なく安全です。重度障害者の方や高齢者等の踏み踏む防止に有効な装置です。
909	2020	要望・アイデア・課題	屋外の移動	電動車いす	福祉専門職	介護保険制度	利用対象等全般	介護保険が要介護2でないと電動カーが使用できません。要介護1以上の方が電動カーで屋外移動は少ないと思います。要支援1・2、要介護1の方が自立しての屋外移動が出来るなら。 その障害者は就学中、補聴器類をはずして履いています。 その状態では通学が難し、避難行動等が必要になっても、音声の警報では気が付かない可能性が高いです。 昨年の台風19号でも、逃げ遅れることが生命や財産に影響、なくなれた方もいます。
911	2020	要望・アイデア・課題	場面全般に関するお知らせ	緊急通報装置	障害者団体	就学中の聴覚障害者に緊急伝達するアプリ	聴覚障害者 盲ろう者	睡眠中に居るには、振動式のデバイスが最も有効だと思っています。100%確実ではありませんが、アップルウォッチ的な、すでに市販されている腕時計型の端末が受信端末の候補として考えられます。 スマホ上で緊急警報などを発信したら、情報を選択し、これらの端末に通知するアプリがあればと思います。 寝ていても振動で気づく可能性が高まります。 私の子供はダウン症で重度知的障害者です。洋服の前後や裏表などの理解ができず、下着なども含め、前後、裏表の区別がない衣服があればいいなあ、と思います。製品の開発、どうか宜しくお願い致します。
913	2020	要望・アイデア・課題	衣服の着脱	その他(福祉用具)	利用者の家族	衣服	知的障害者 発達障害者	私の子供はダウン症で重度知的障害者です。洋服の前後や裏表などの理解ができず、下着なども含め、前後、裏表の区別がない衣服があればいいなあ、と思います。製品の開発、どうか宜しくお願い致します。
914	2020	新製品・技術	訓練	重いす 電動車いす その他(福祉用具) 運動装置	利用者	重いすユーザー、ト肢麻痺者の筋力強化のための運動的運動装置の開発	肢体不自由者 利用対象等全般	頸椎損傷による四肢麻痺者です。容積が、腰部からつま先までの筋力強化に悩んだ末、「動かす」ことにより筋力が維持することになり、気づき友人の筋力強化のものと「足関節運動補助装置」を独自に開発しました。重いすでの移動中でも運動できる重いす搭載可能なコンバクトタイプと足置、膝、股関節を回転運動できる置き置きタイプの2機種があります。開発以来10年以上、毎日12時間ほど使用を続けており、主眼でまずが後継と価格が割割と減少しました。また、足置の状態や関節可動域なども良好な状態を保っております。小さなモーターひとつによるゆとりな回転運動によって無理なく長時間の運動が可能です。
916	2020	要望・アイデア・課題	移乗	特殊運台	利用者の家族	介護ベッドのサイドレールについて	高齢者	通所して介護ベッドを使い始めたのですが移乗しだした際にサイドレールが邪魔になり毎回取り外して利用していましたが屋外で取り外し動作が負担になってしまっています。病院などにある付けたままでも斜めに倒れて平にならずにサイドレールは在宅用で利用ができないものかと思っています。業者さんに尋ねてもいいものの所在宅用ではないとの事でした。今後在宅介護の負担軽減の為に利用できるようにはならないのでしょうか
917	2020	要望・アイデア・課題	コミュニケーション	緊急通報装置	利用者	施設・交通機関での助力依頼用QRコード活用について	肢体不自由者 聴覚障害者	聴覚障害者です。 コロナウイルス感染拡大防止の観点で、今春からソーシャルディスタンスが言われています。 人との接触機会が減ったときにサポートを要するようになることにつながるかと懸念しています。 人や設備のないところで、QRコードがあれば必要なく緊急通報できるようにしたいと考えています。 一例ですが、鉄道の無人駅で、次のような目的で緊急に連絡を取りたい場合。 1) 駅員と文字チャットでコミュニケーションを取りたいとき 2) 犯罪が起きたとき 3) 事故が起きたとき など、緊急時や困難に直面して様々なQRコードを用意する方法であれば、安面に対応手段を用意できるのではないかと考えています。 聴覚障害者以外にも役立つのでは。 高速道路の非常電話にある、「会話の自由な方向けボタン」の「QRコード版」のイメージです。 QRコードのプレート等を用意するだけで、電気工事等不要で安面に用意可能です。

投稿No.	年度	カテゴリー	場面	福祉用具	記入者の区分	話題名	利用対象者等	投稿内容
919	2020	要望・アイデア・課題	屋外の移動	その他(福祉用具) 優先席	利用者	優先席に聴覚過敏者向けの座席が欲しい	精神障害者、発達障害者、就労・就学	聴覚過敏があります。優先席の前や真横で大声で喋られると苦痛です。優先席くらいしか逃げ場所がありません。耳栓なども使用していますが、ここでは勝たないでしょう。という逃げ場所があると助かる障害者はたくさんいると思います。どこかの国ではスーパ―に音を立てない時間を設けるという配慮のあるところもあるそうです。電車の中の一か所でも良いので、是非作って欲しいと思います。また、バスの運転手さんのアパウンスも音がとても大きいことがあり、スピーカーの側に座らないように気をつけています。難しい問題だとは思いますが、公共交通機関を使わないと事業所へ行けないため、是非逃げ場を作っていたらと希望します。
922	2020	要望・アイデア・課題	排泄	排泄関連用具	福祉専門職	ポータブルトイレのレンタル化について	肢体不自由者 高齢者	ポータブルトイレの、排泄物を受けるバケツと座面クッション以外の本体部分は、レンタルに出来ないものではないでしょうか。一般的には臭いが染み込むなどの問題で買い取りとなっていますが、実際の介護現場では、ポータブルトイレの使用期間が短い事例が多くと想われます。もちろん夜間だけ長时使用されている方などもおられますが、がん末期の方などでは2〜3回の使用で終了ということも多々あります。レンタルであれば購入に躊躇されることもなくなるかも知れません。また本体ごと廃棄する作業も負担となっているのが現状です。
928	2020	要望・アイデア・課題	その他(備面)	福祉用具全般に関 するお知らせ	テクノエイド協会	てんかんの発症を予知する機器を探して おります	その他	てんかん発症を予知するような頭時計やTシャツなど有るとお聞きしました。 ご存じの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。
932	2020	新製品・技術	食べる	その他(福祉用具) 飲食補助	福祉医療団体	両手が不自由でも コップの飲料をコク リと飲みます	肢体不自由者	両手が動かなくなり自力での食事が叶わなくなったALSの友人を紹介していて、考えた作品です。介護者によるスプーンからではなく、自分の胸へコップの熱い珈琲をすり、あるいは冷えたビールをコクをコクと飲みほしたいという願いを叶えようとする物です。ご希望の方に頒布いたします。 https://www.facebook.com/SendaAbilityNetwork/videos/725157684655735/ (実用新案登録済みですが、こちらのメーカーさんが引き取って下されば幸いです)
933	2020	新製品・技術	その他(備面)姿勢維持	装置 体位変換器	福祉医療団体	首下がり底の方の頭 を額を支える装置、 チンナップ	肢体不自由者	ALSなどのために、頭を首で支えられなくなり頭が下がってしまいう症状を救うために、頭の重みを額にあてて皿で受け止め、その重みを肩と胸と背中分担して受け止める装置を考案しました。 https://youtube.com/3kSbhtG7pZso ご希望の方にお作りいたします。
934	2020	新製品・技術	その他(備面)姿勢維持	装置 体位変換器	福祉医療団体	首下がり底の方の頭 を支える装置、ハッ トアスナップ	肢体不自由者	ALSなどのために、頭を首で支えられなくなり頭が下がってしまいう症状を救うために、頭を後方に引っ張り、その重みを背中を通して腹でささえる装置を考案しました。先に紹介しました「チンナップ」とは、患者さんの症状によって使い分けが良いと思います。 ご希望の方にお作りいたします。
941	2020	要望・アイデア・課題	コミュニケーション	意思伝達装置 其 他(福祉用具)ハッ コン用品	障害者団体	マウスについて	肢体不自由者 知覚障害者、聴 覚障害者 知的 障害者	重症や身体障害者も扱いやすいマウスの情報を探しています。例えば、レバーのようなマウス、微弱な力でもクリックできるマウス、球形の形が好きなマウス、クリックするとクリックしたことがわかるような音の出るマウス・・・など。既製品の情報や工夫などの情報を含め教えてください。

令和6年度
視覚障害者用図書事業等委託費（福祉機器開発普及等事業）
事業報告書

発 行 令和7年4月（令和6年度）
発行者 公益財団法人テクノエイド協会
〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階
TEL 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885
